

令和7年度 第2回与謝野町総合計画審議会 次第

日時：令和7年10月29日（水）

19：00～

場所：与謝野町立生涯学習センター知遊館

2階 研修室1～3

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 令和7年度住民アンケート調査結果について（事前配布資料1）

(2) 第2次与謝野町総合計画の評価検証について（当日配布資料）

(3) その他

○今後のスケジュール（予定）（事前配布資料2）

4. 閉会（副会長あいさつ）

与謝野町総合計画審議会 委員名簿

任期：令和7年8月25日～令和10年8月24日まで

(委員は50音順・敬称略)

区分	所属	役職等	氏名	摘要
委員	福知山公立大学 地域経営学部	教授	谷口 知弘	会長
	与謝野町区長連絡協議会	会長	坂中 紀文	副会長
	与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり推進委員会	委員	足立 英子	
	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社与謝野地域本部	地域本部長	安達 幸三	
	峰山公共職業安定所 宮津出張所	出張所長	石倉 直記	
	与謝野町社会教育委員会	委員	大泉 珠希	
	与謝野町都市計画審議会	委員	尾上 亮介	
	与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会	委員長	川勝 健志	
	よさの百年の暮らし委員会	会長	小山 富美代	
	福知山公立大学 情報学部	学生	津波 璃生	
	与謝野町社会福祉協議会	事務局長	中田 麻由美	
	与謝野町教育委員会	教育長職務代理者	樋口 潔	
	与謝野町商工会	副会長	松田 政一	
	つながる丹後	副代表	味田 佳子	
	与謝野町農業委員会	会長職務代理者	宮本 浩司	
与謝野町子ども・子育て会議	会長	山添 謙三		

オブザーバー	京都府丹後広域振興局 地域連携・振興部	部長	徳田 裕之	
--------	---------------------	----	-------	--

事務局	与謝野町企画財政課	課長	山口 崇	
	与謝野町企画財政課ふるさと応援促進室	室長	小室 光秀	
	与謝野町企画財政課	主幹	大江 聡	
	与謝野町企画財政課	係長	井上 朱里	
	与謝野町企画財政課	係長	渡邊 稔之	
	与謝野町企画財政課	係長	松本 潤也	

「第3次与謝野町総合計画」策定に関する
住民アンケート調査
結果報告書

【速報版】

令和7年10月
与謝野町

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II アンケート調査結果.....	2
1 あなたのことについて.....	2
2 与謝野町のまちづくりへの参加について.....	5
3 行動・意識について.....	12
4 与謝野町の住み心地について.....	16
5 与謝野町のまちづくりについて.....	31
6 若者世代に見る和謝野町のまちづくりについて.....	40
7 与謝野町のデジタル化等の取り組みについて.....	63
8 与謝野町の災害対策の取り組みについて.....	66

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度から8年間の町政運営の羅針盤となり、10年後のまちの将来像を描く計画づくり「第3次与謝野町総合計画」の策定にあたって、住民のみなさんからの多様なご意見を募集し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査概要

項目	住民調査
調査対象者	町内在住の15歳以上の方（無作為抽出）
調査期間	令和7年8月25日（月）～9月5日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式及びWEB回答
配布数	2,000件
有効回収数	645件
有効回収率	32.3%

3 報告書の見方

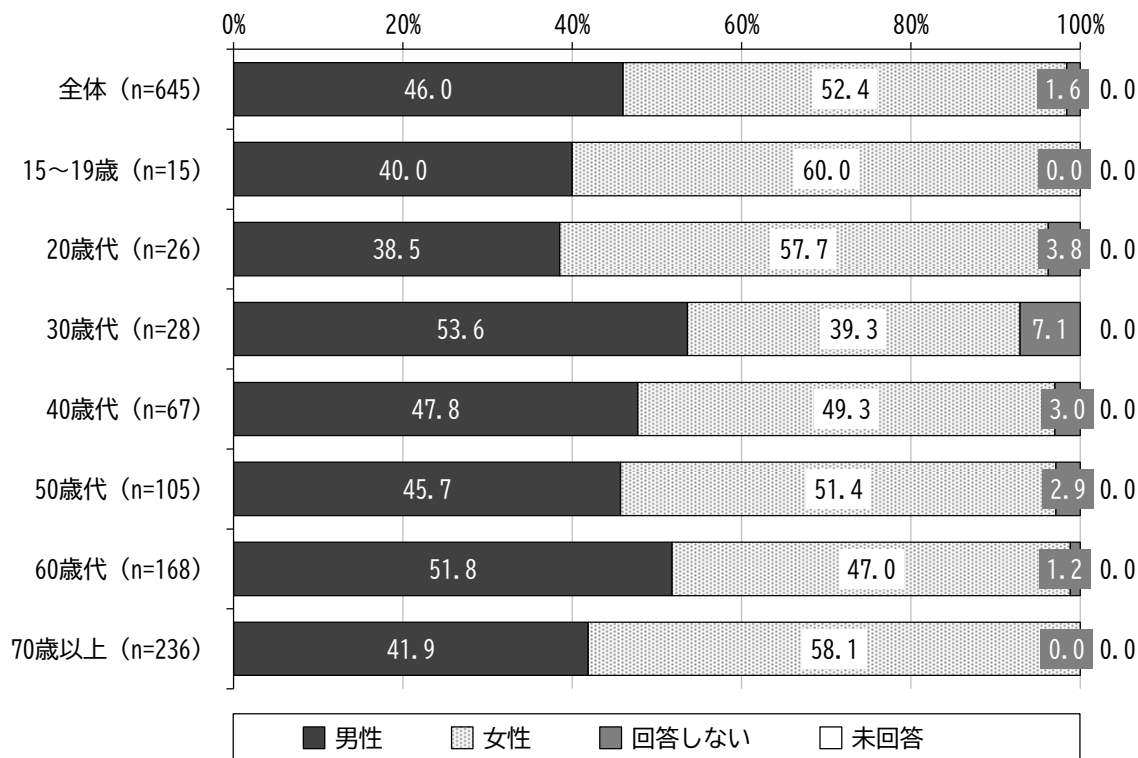
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ アンケート調査結果

1 あなたのことについて

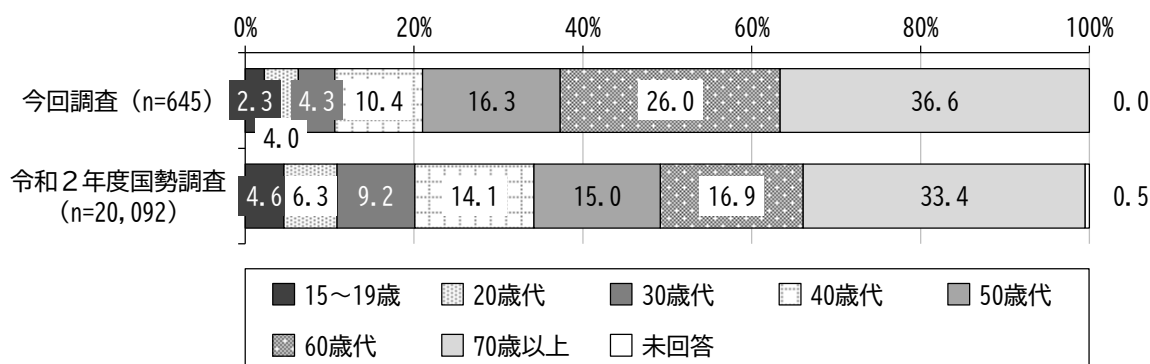
問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

「女性」が52.4%、「男性」が46.0%、「回答しない」が1.6%となっています。



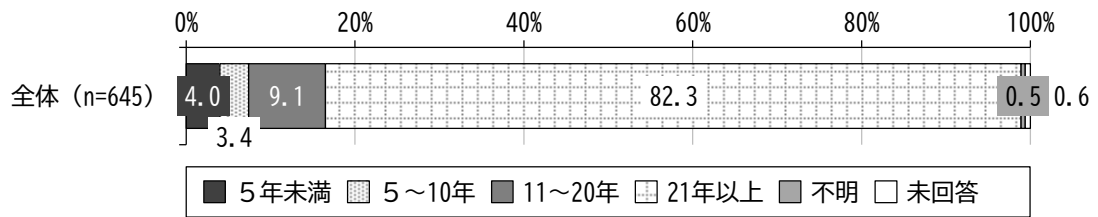
問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。(○は1つ)

「15～19歳」が2.3%、「20歳代」が4.0%、「30歳代」が10.4%、「40歳代」が16.3%、「50歳代」が26.0%、「60歳代」が36.6%、「70歳以上」が4.0%となっています。



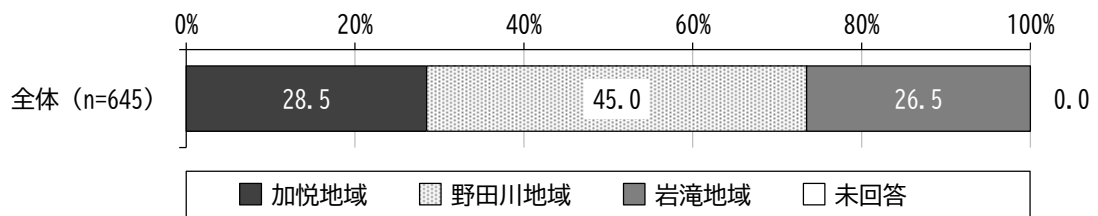
問3 与謝野町でのこれまでの居住年数の合計を教えてください。(○は1つ)

「21年以上」が82.3%と最も多く、次いで「11～20年」が9.1%、「5年未満」が4.0%となっています。



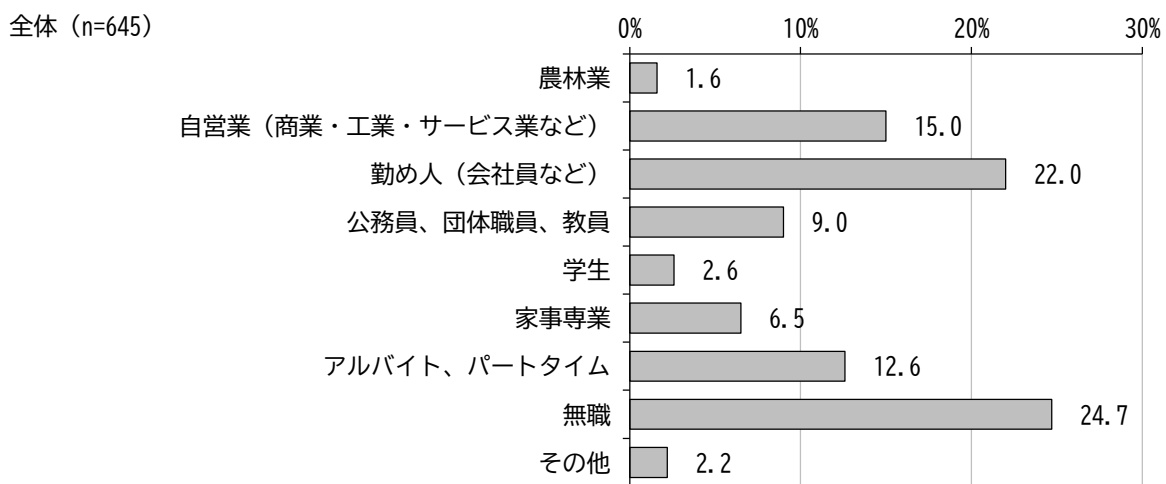
問4 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

「野田川地域」が45.0%と最も多く、次いで「加悦地域」が28.5%、「岩滝地域」が26.5%となっています。



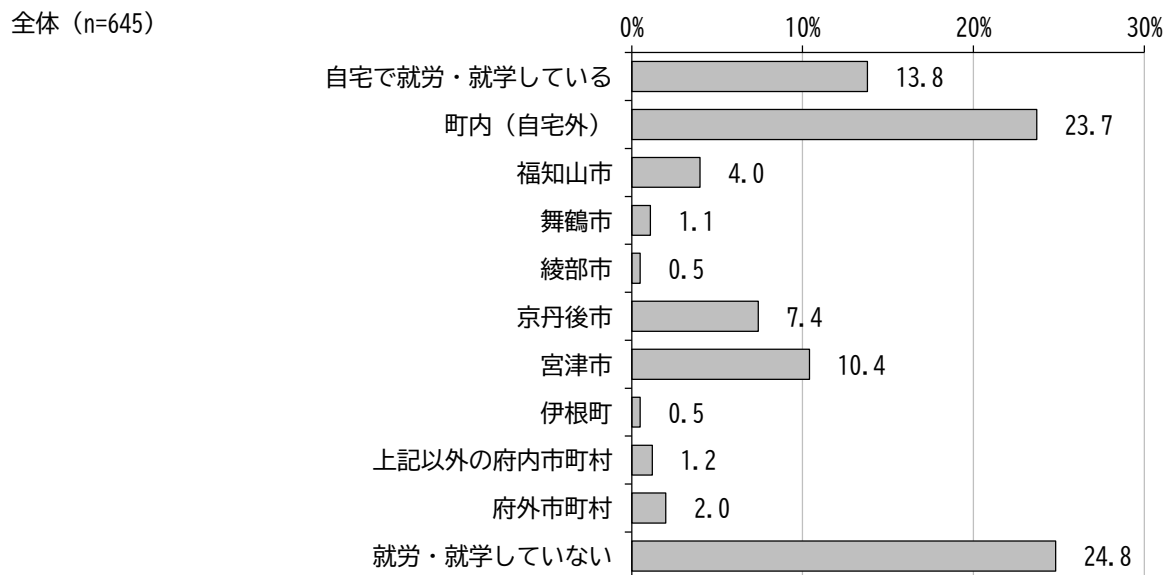
問5 あなたの職業はどれにあたりますか。(○は1つ)

「無職」が24.7%と最も多く、次いで「勤め人 (会社員など)」が22.0%、「自営業 (商業・工業・サービス業など)」が15.0%となっています。



問6 あなたの通勤・通学先を教えてください。(○は1つ)

「就労・就学していない」が24.8%と最も多く、次いで「町内(自宅外)」が23.7%、「自宅で就労・就学している」が13.8%となっています。

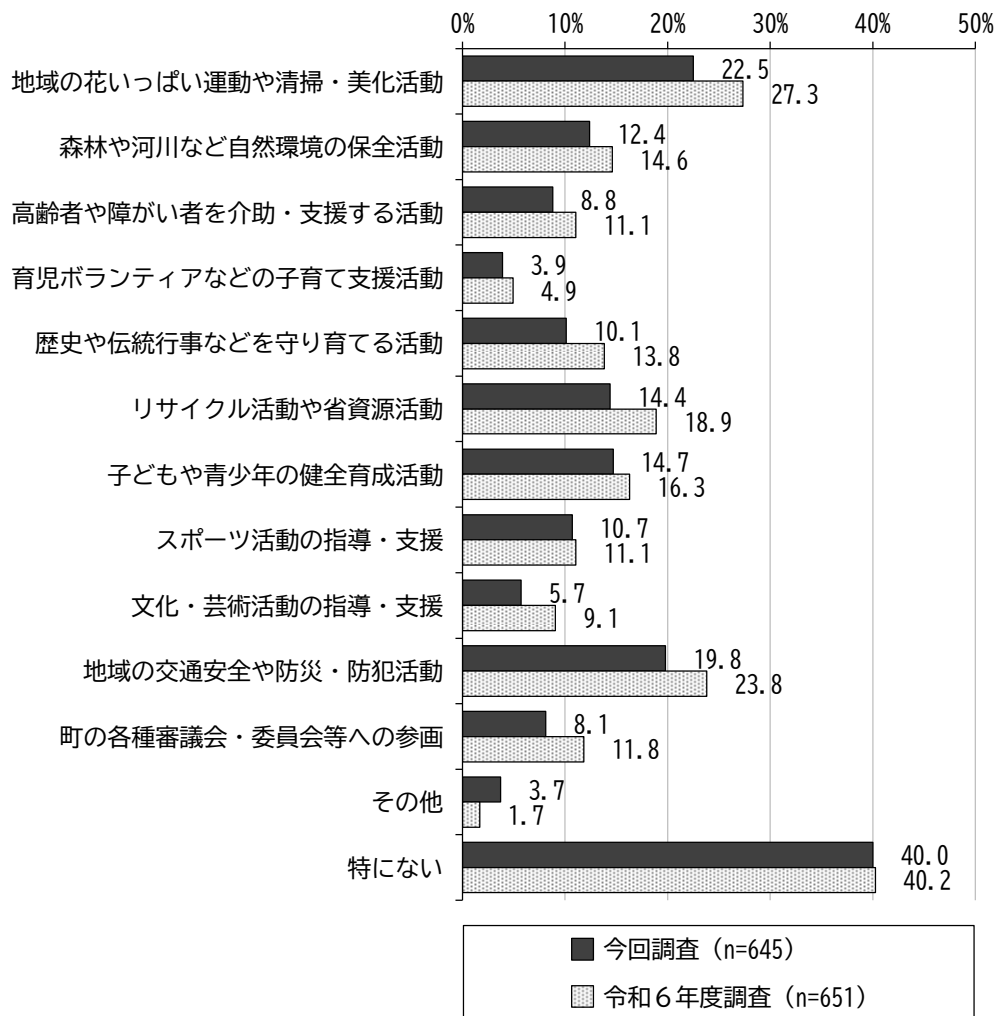


2 与謝野町のまちづくりへの参加について

問7 「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。
(参加したことがあるものすべてに○)

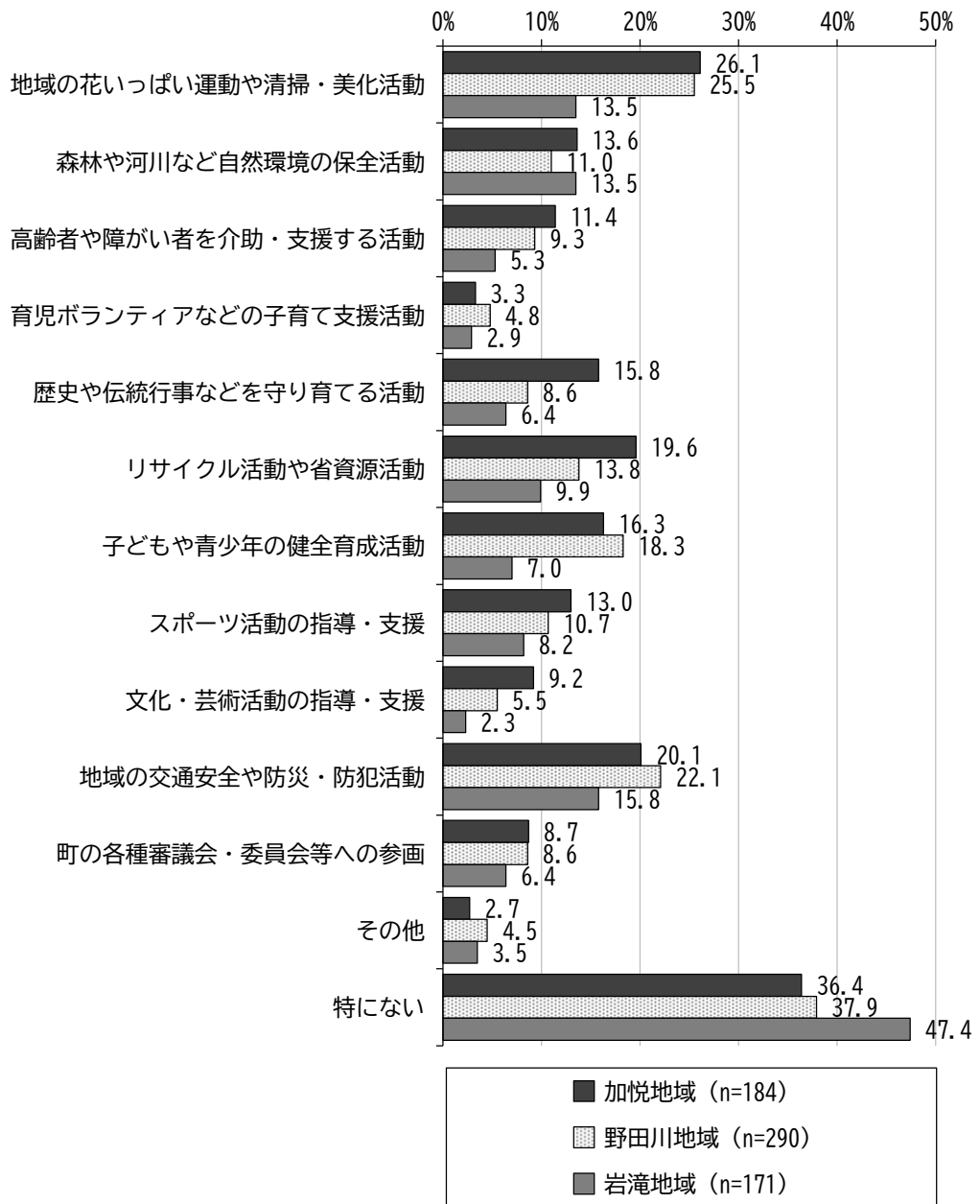
「特にない」が40.0%と最も多く、次いで「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が22.5%、「地域の交通安全や防災・防犯活動」が19.8%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな差はみられません。



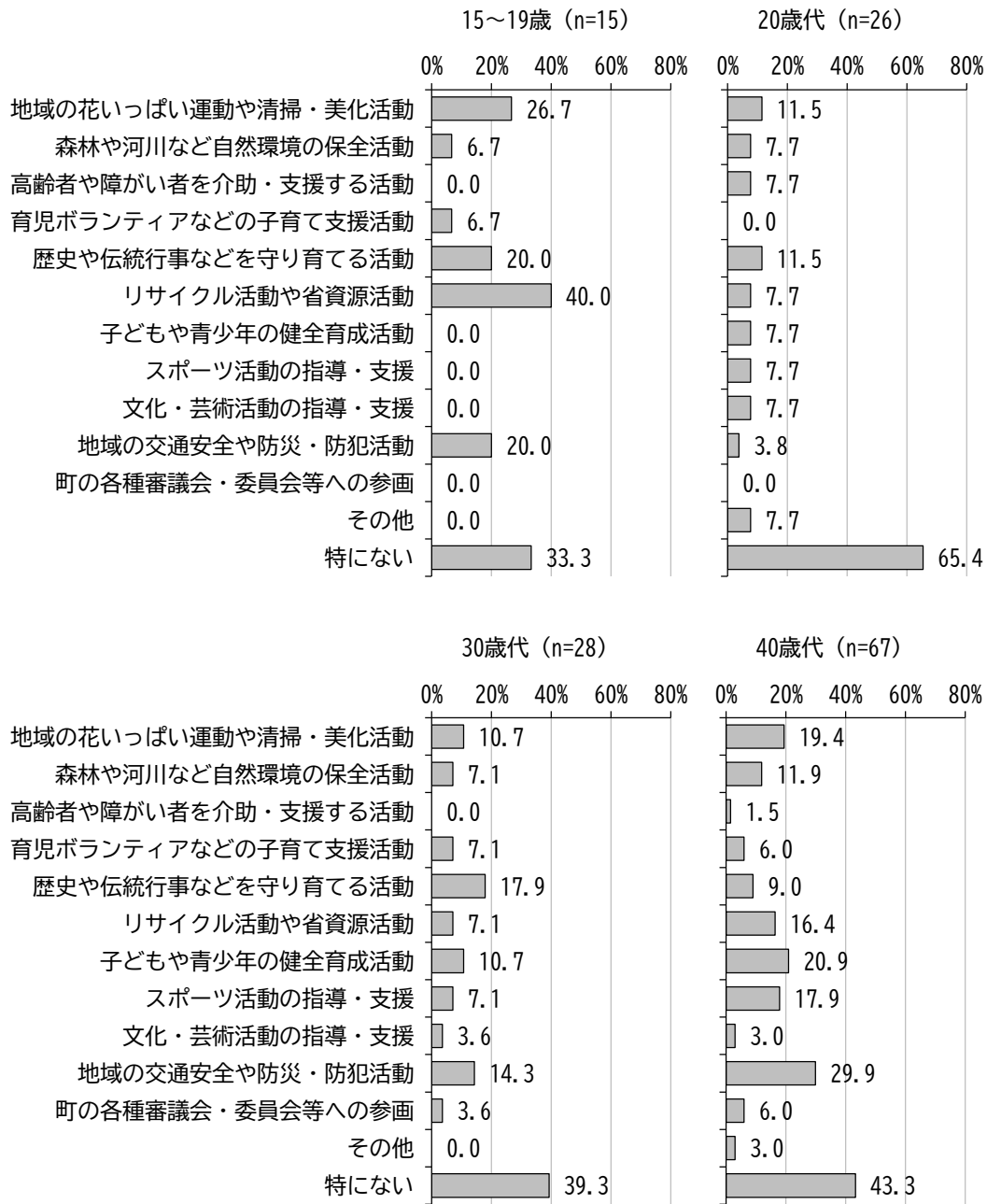
◆地域別

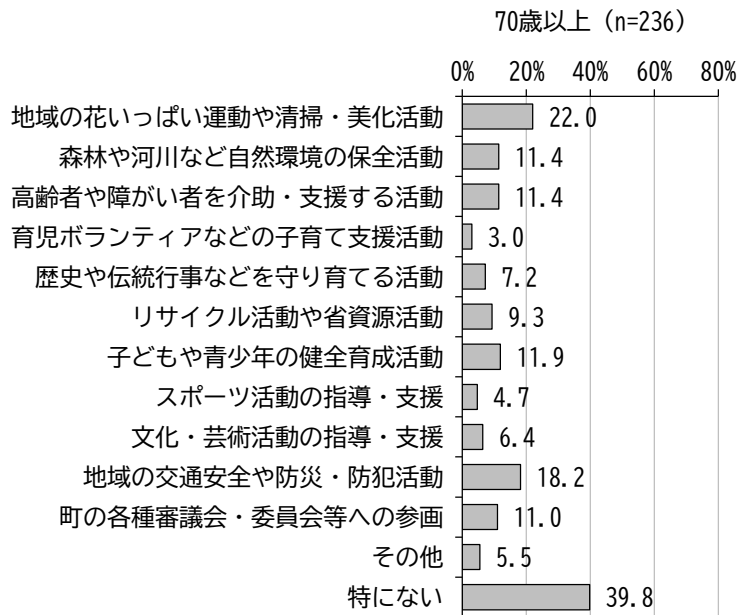
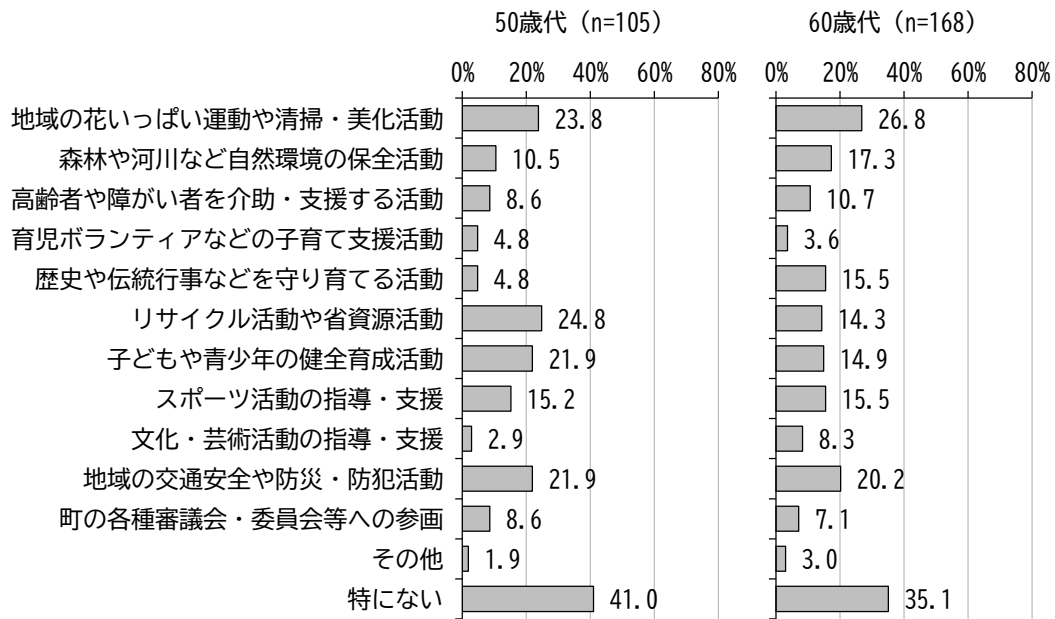
地域別にみると、〔岩滝地域〕では「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」「子どもや青少年の健全育成活動」がその他の地域と比べて低くなっています。



◆年齢別

年齢別にみると、〔15～19歳〕では「リサイクル活動や省資源活動」、その他の年齢では「特にない」が最も多くなっています。

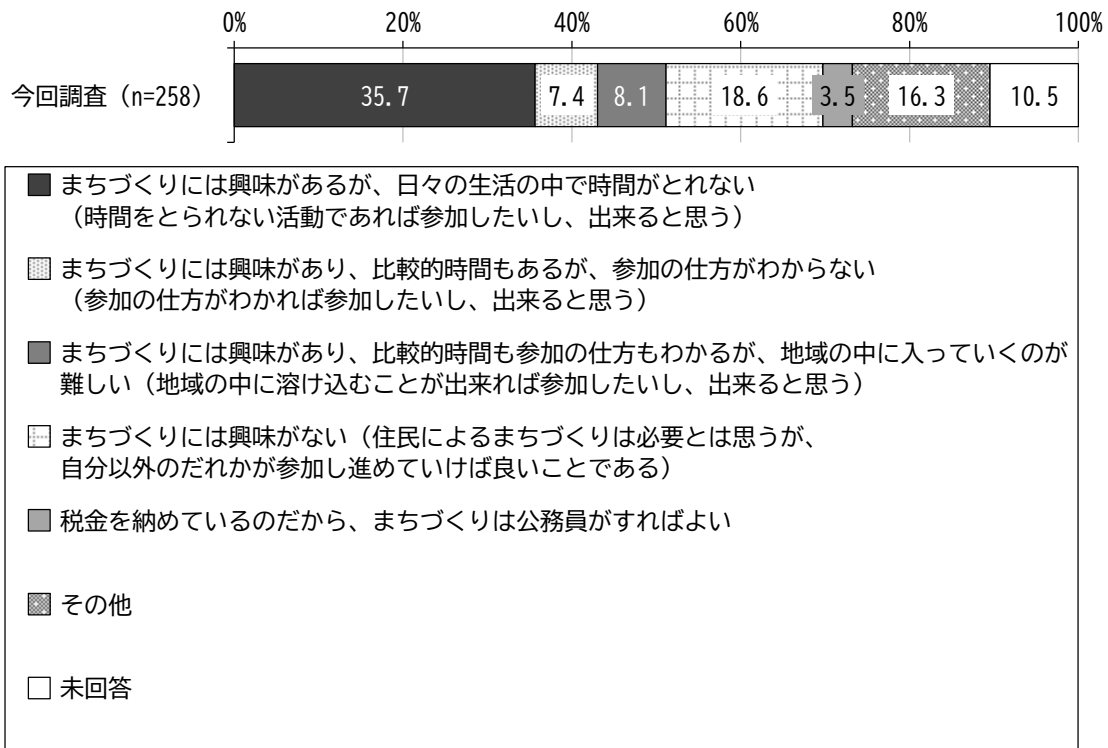




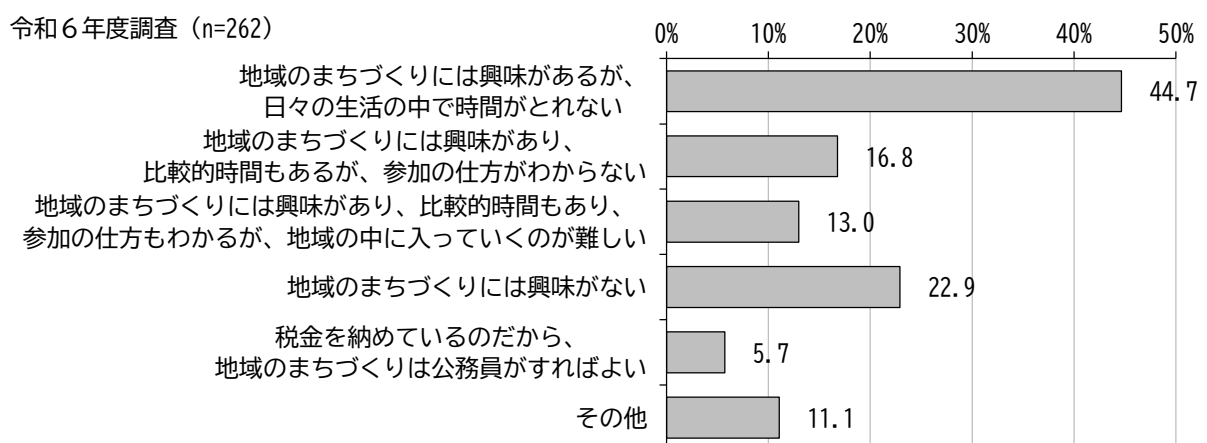
問7で「特にない」と回答された方

問8 あなたが参加しなかった（できなかった）理由は何ですか。（○は1つ）

「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとれない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が35.7%と最も多く、次いで「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思いますが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が18.6%、「まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入っていきるのが難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）」が8.1%となっています。

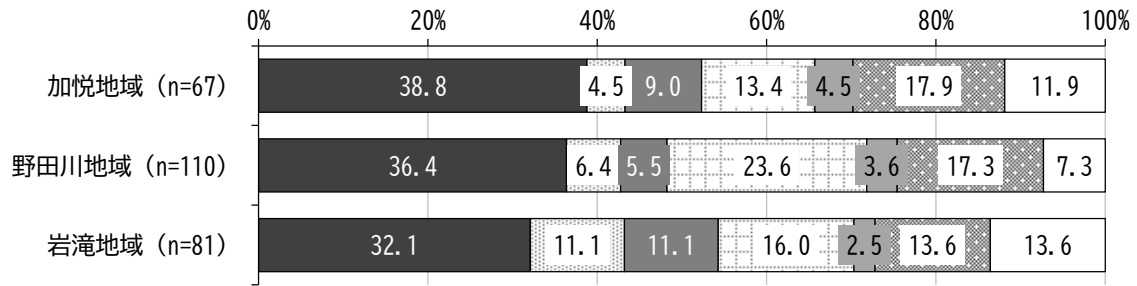


※参考 『地域のまちづくりに参加』しなかった（できなかった）理由（3つまで）



◆地域別

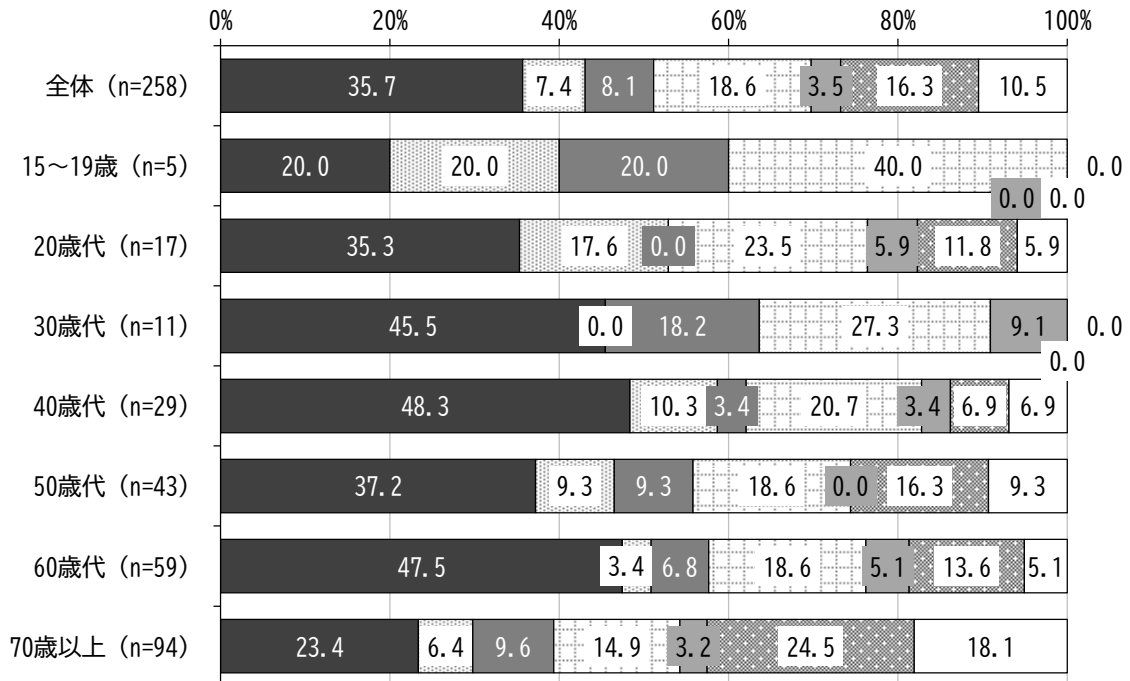
地域別にみると、いずれの地域も「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が最も多くなっています。



- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない
(時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う)
- ▨ まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方がわからない
(参加の仕方がわかれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入っていくのが
難しい(地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う)
- ▨ まちづくりには興味がない(住民によるまちづくりは必要とは思いますが、
自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである)
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- ▨ その他
- 未回答

◆年齢別

年齢別にみると、20歳以上では「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が最も多くなっています。

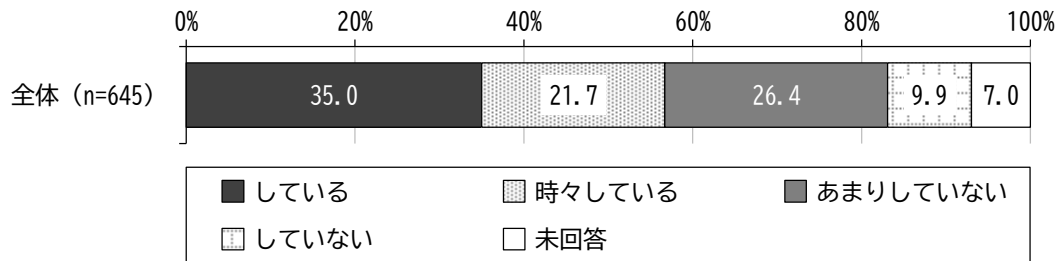


- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない
(時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う)
- ▨ まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方がわからない
(参加の仕方がわかれば参加したいし、出来ると思う)
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入っていくのが
難しい(地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う)
- ▨ まちづくりには興味がない(住民によるまちづくりは必要とは思いますが、
自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである)
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- ▨ その他
- 未回答

3 行動・意識について

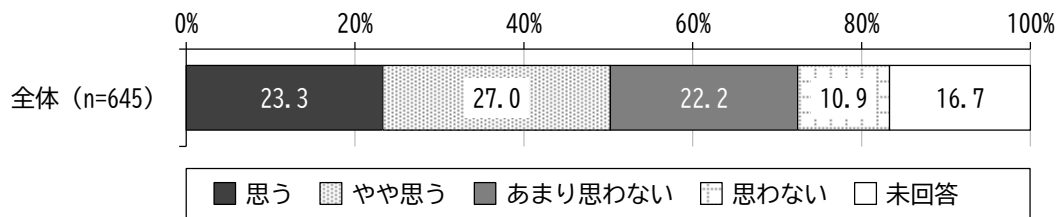
問9 町内での消費行動を意識していますか。(○は1つ)

「している」が35.0%と最も多く、次いで「あまりしていない」が26.4%、「時々している」が21.7%となっています。



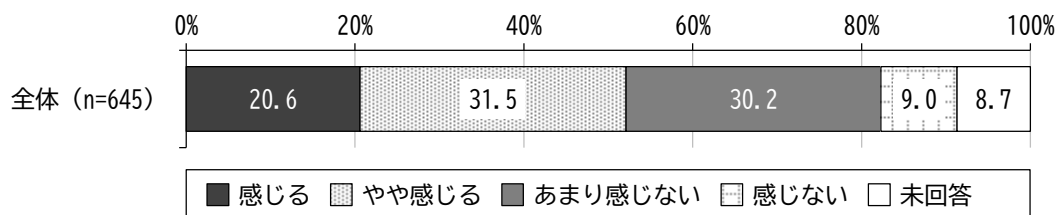
問10 この地域で子育てをしたいと思えますか。(○は1つ)

「やや思う」が27.0%と最も多く、次いで「思う」が23.3%、「あまり思わない」が22.2%となっています。



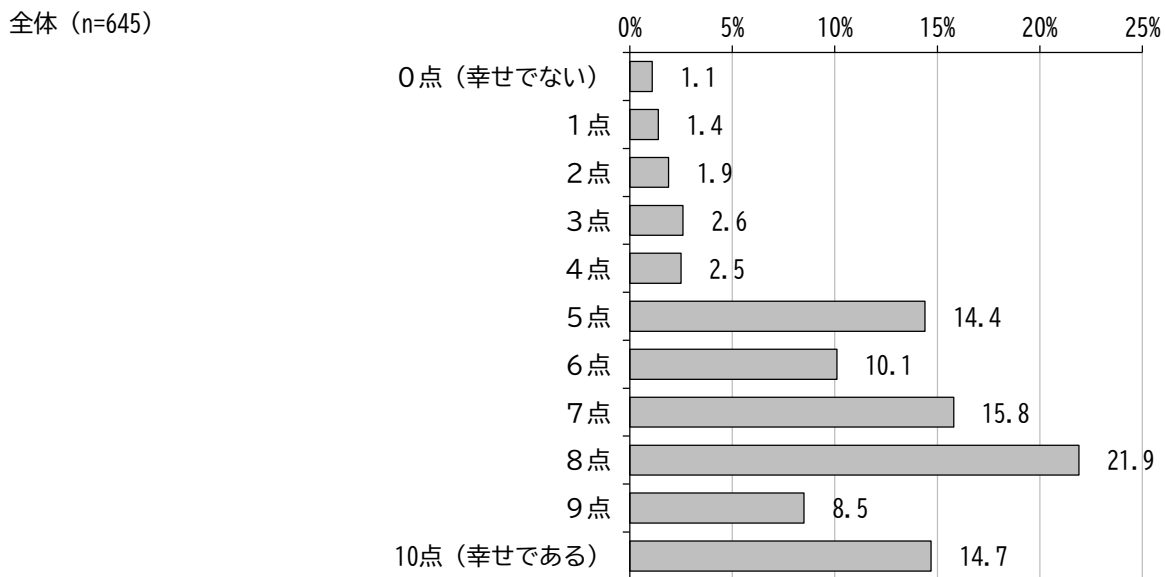
問11 生きがいを持って暮らせると感じますか。(○は1つ)

「やや感じる」が31.5%と最も多く、次いで「あまり感じない」が30.2%、「感じる」が20.6%となっています。



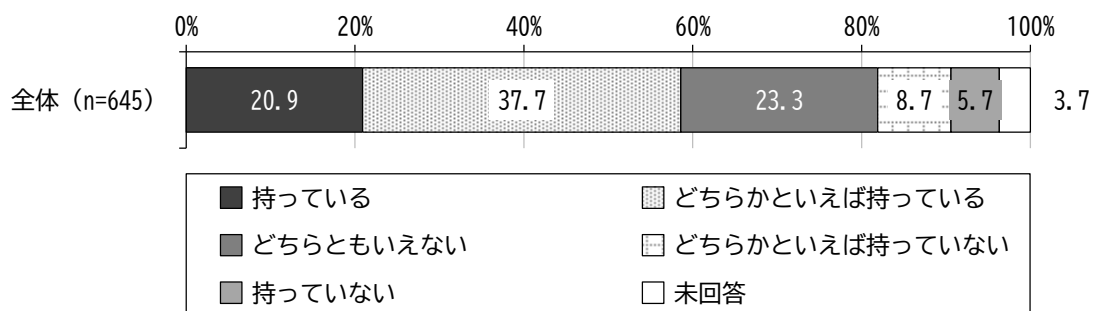
問 12 現在、幸せだと思いますか。(点数に○は1つ)

「8点」が21.9%と最も多く、次いで「7点」が15.8%、「10点(幸せである)」が14.7%となっています。平均点は、7.01点となっています。



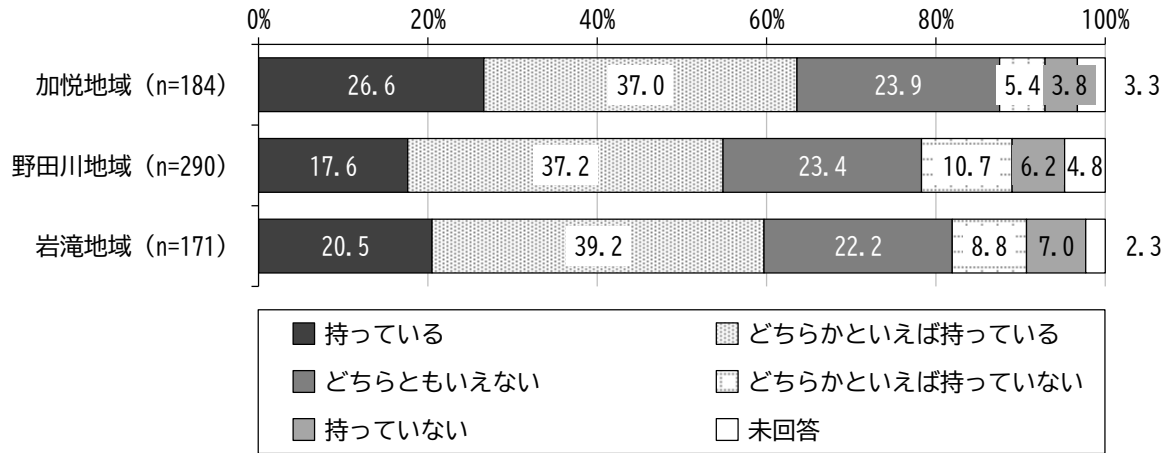
問 13 与謝野町に誇りや愛着を持っていますか。(○は1つ)

「どちらかといえば持っている」が37.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が23.3%、「持っている」が20.9%となっています。『持っている計(「持っている」と「どちらかといえば持っている」の合計)』は58.6%、『持っていない計(「持っていない」と「どちらかといえば持っていない」の合計)』は14.4%となっています。



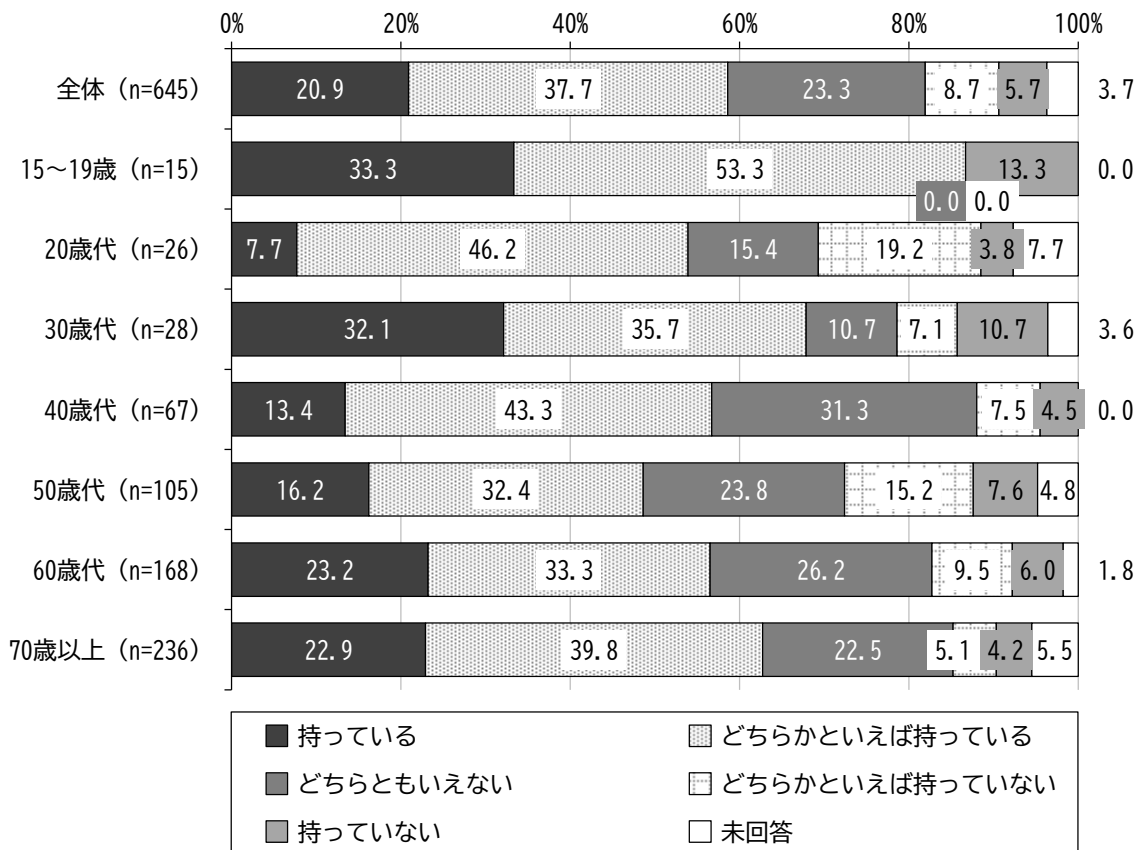
◆地域別

地域別にみると、『持っている』は〔加悦地域〕で63.6%、〔野田川地域〕で54.8%、〔岩滝地域〕で59.7%となっています。



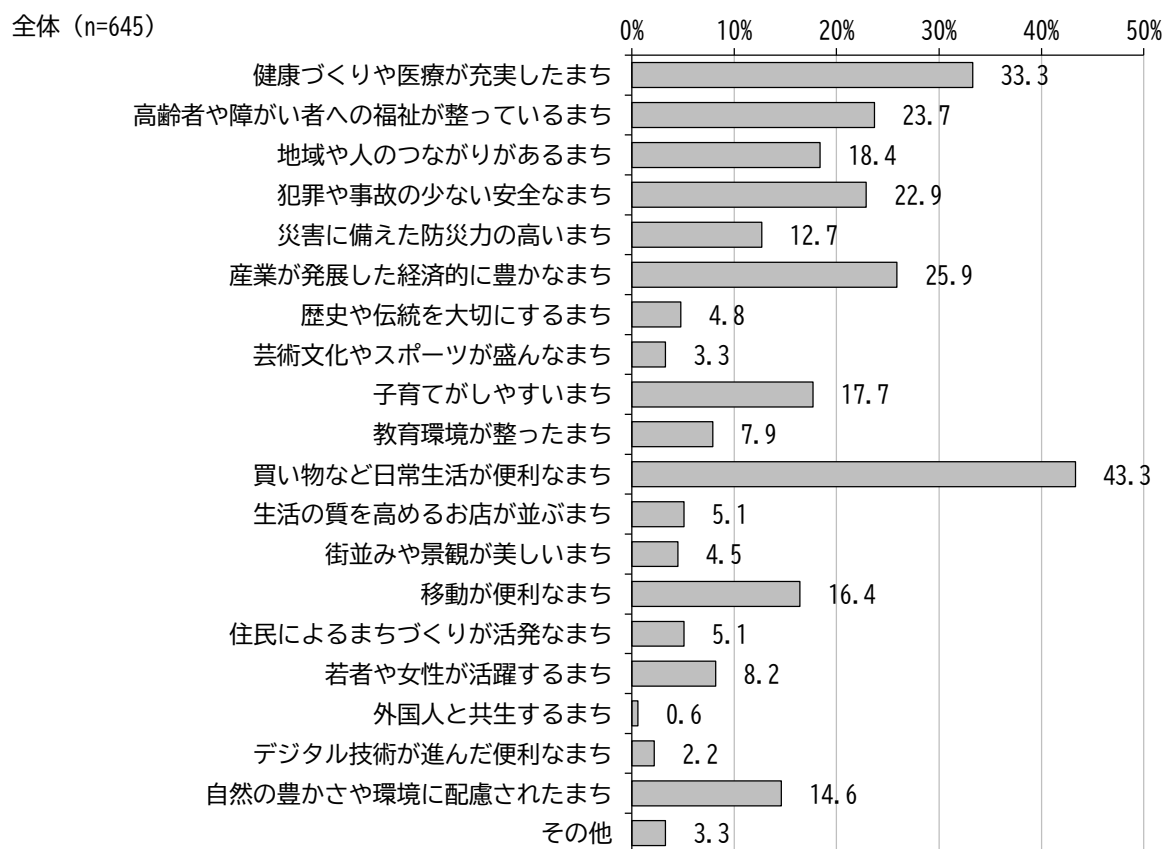
◆年齢別

年齢別にみると、『持っている計』は〔15～19歳〕では86.6%とその他の年齢と比べ高くなっています。



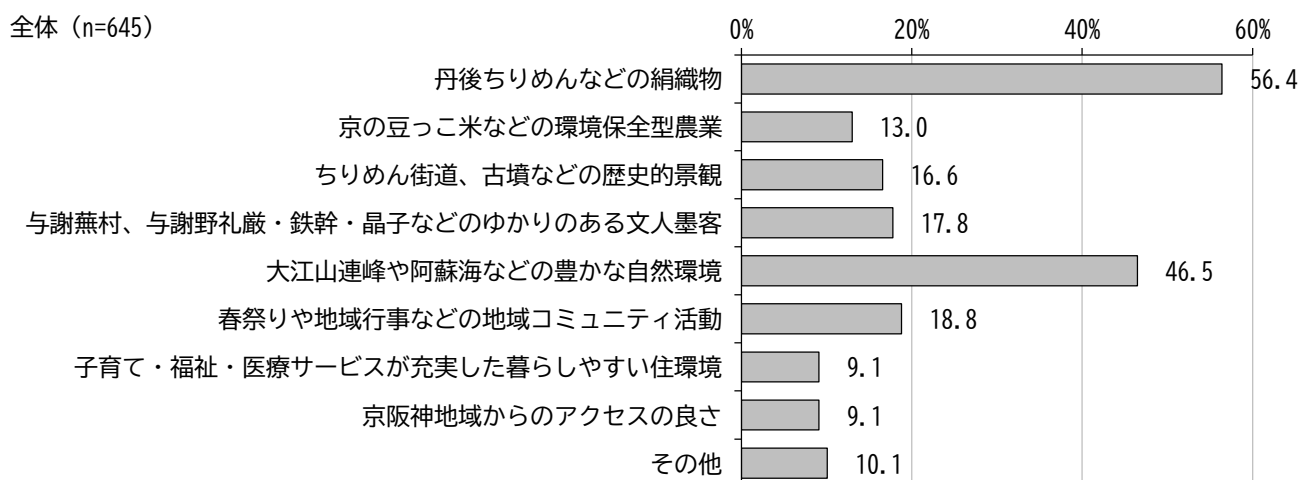
問 14 これからの与謝野町がどのような「まち」であってほしいと思いますか。(〇は3つまで)

「買い物など日常生活が便利なまち」が43.3%と最も多く、次いで「健康づくりや医療が充実したまち」が33.3%、「産業が発展した経済的に豊かなまち」が25.9%となっています。



問 15 与謝野町のことを紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、与謝野町を象徴するものは何だと思いますか。(〇は3つまで)

「丹後ちりめんなどの絹織物」が56.4%と最も多く、次いで「大江山連峰や阿蘇海などの豊かな自然環境」が46.5%、「春祭りや地域行事などの地域コミュニティ活動」が18.8%となっています。

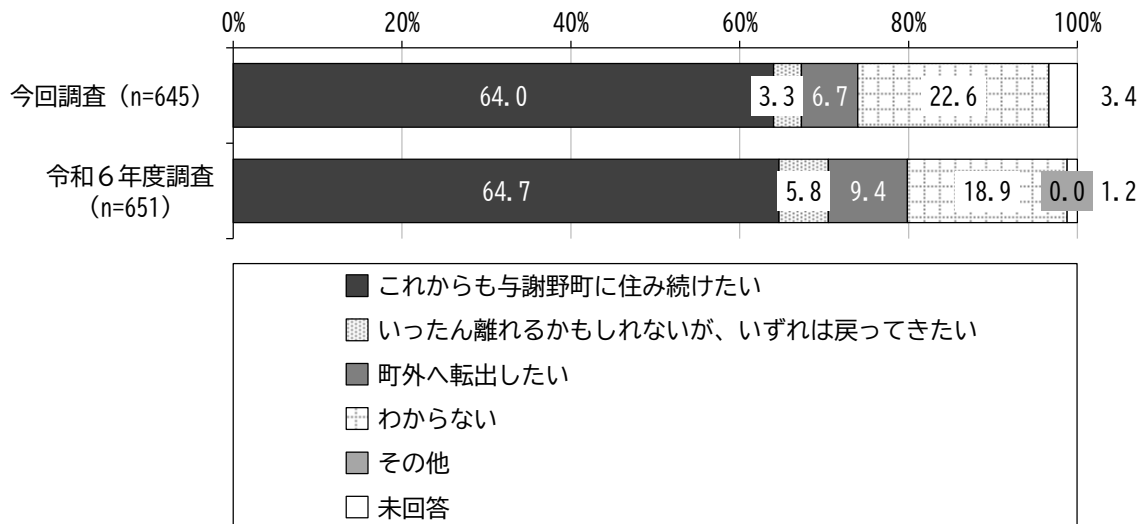


4 与謝野町の住み心地について

問 16 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。また、その理由は何ですか。(○は1つ)

「これからも与謝野町に住み続けたい」が64.0%と最も多く、次いで「わからない」が22.6%、「町外へ転出したい」が6.7%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな差はみられません。

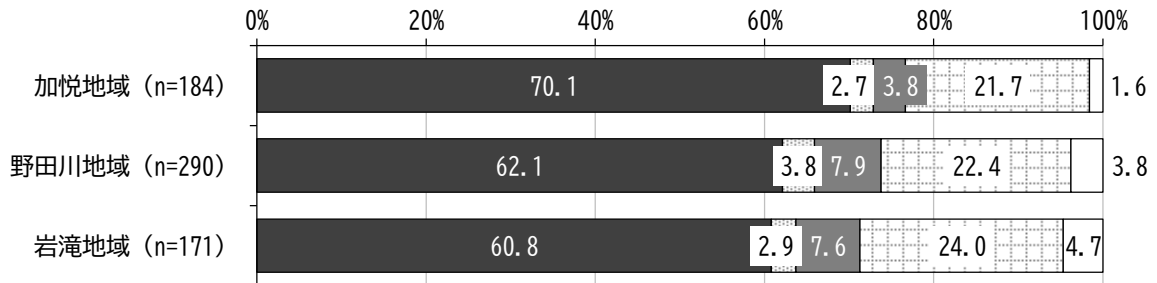


※「その他」は令和6年度調査のみの選択肢

◆地域別

地域別にみると、〔加悦地域〕では「これからも与謝野町に住み続けたい」がその他の地域と比べて高くなっています。また、令和5年度以降、〔野田川地域〕〔岩滝地域〕では「これからも与謝野町に住み続けたい」が減少傾向にあります。

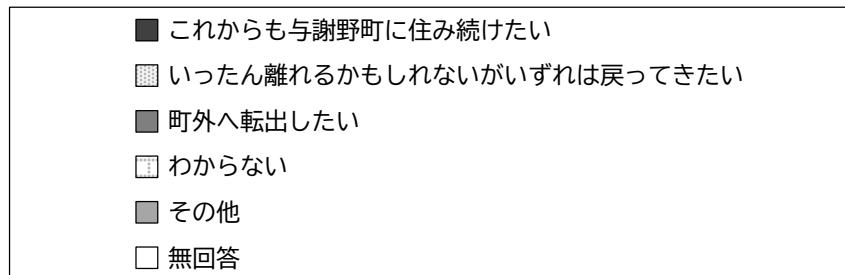
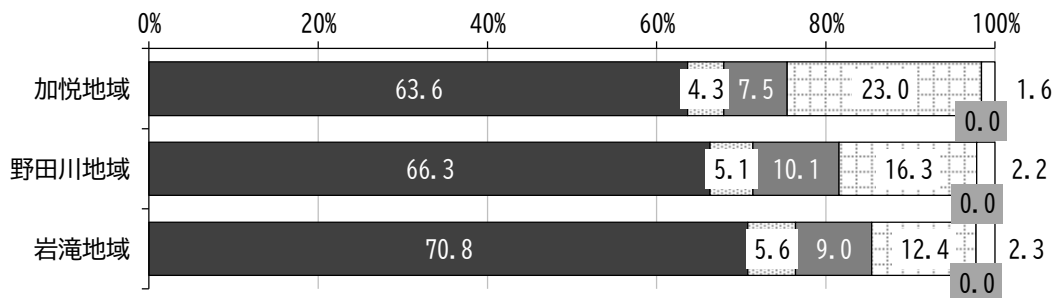
【今回調査】



【令和6年度調査】



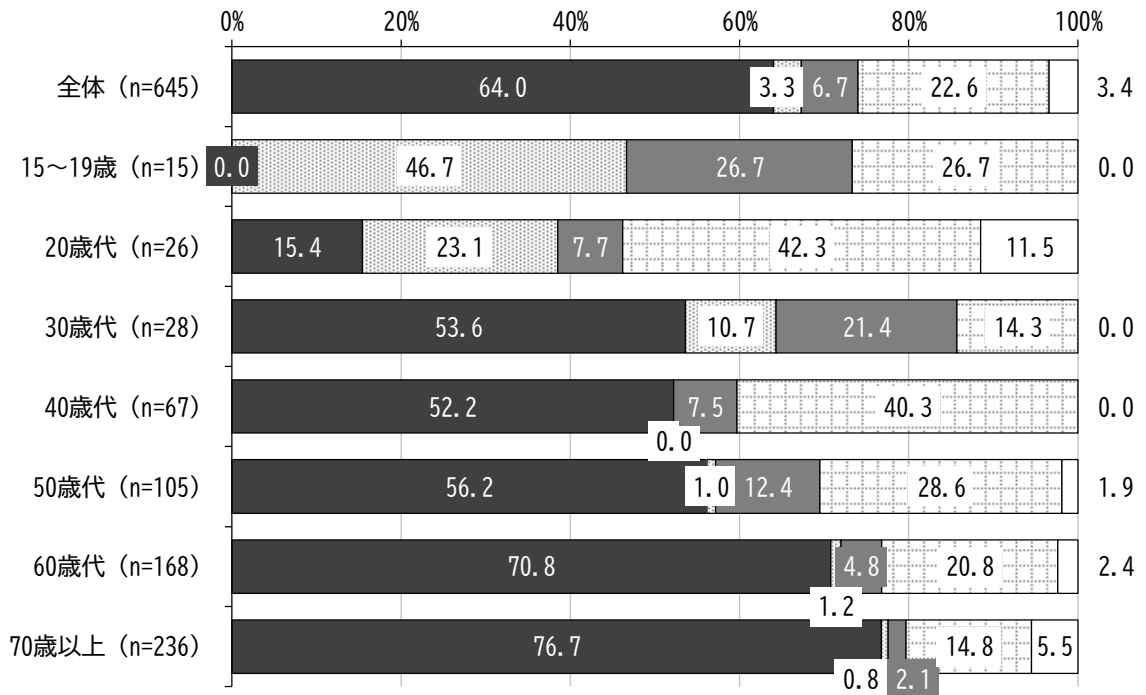
【令和5年度調査】



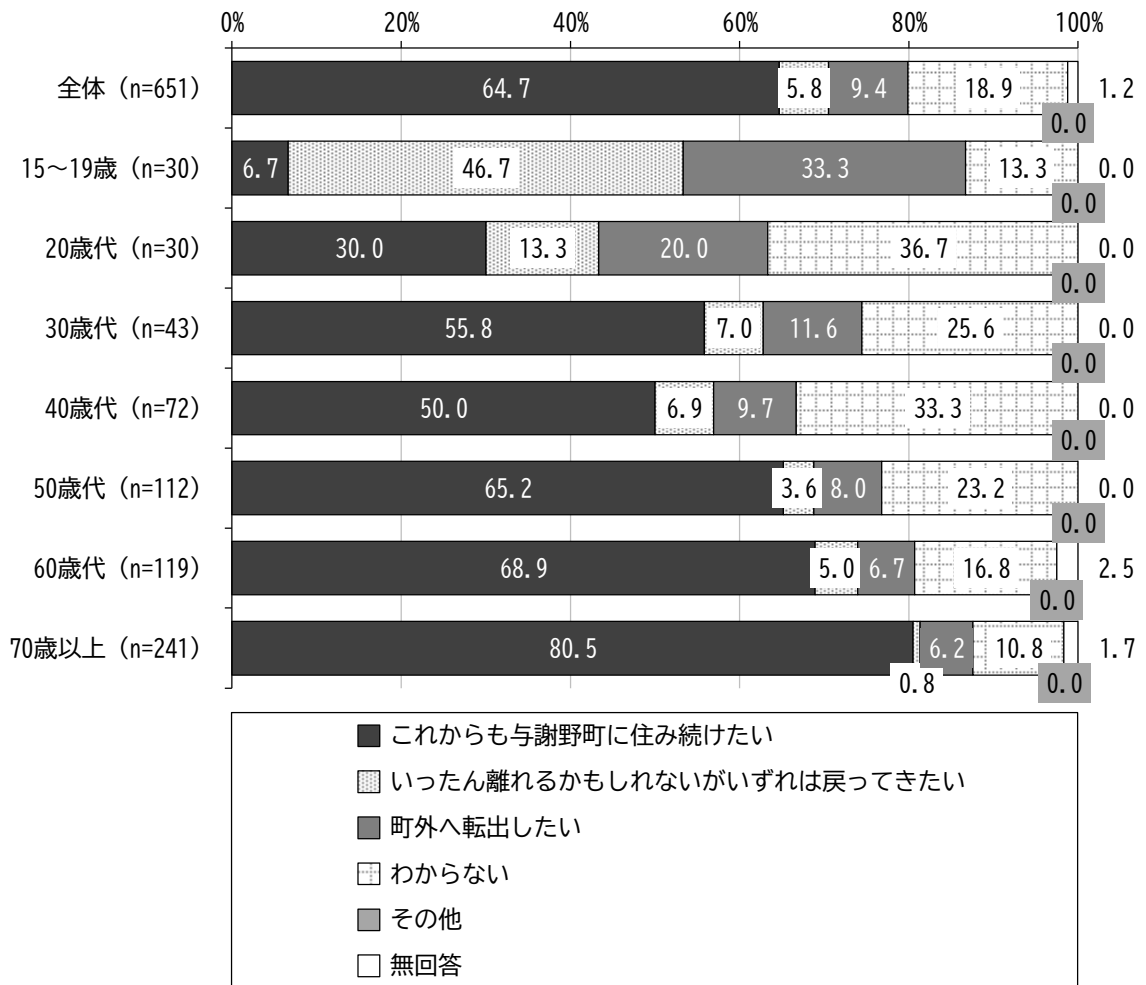
◆年齢別

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「これからも与謝野町に住み続けたい」が多くなっています。

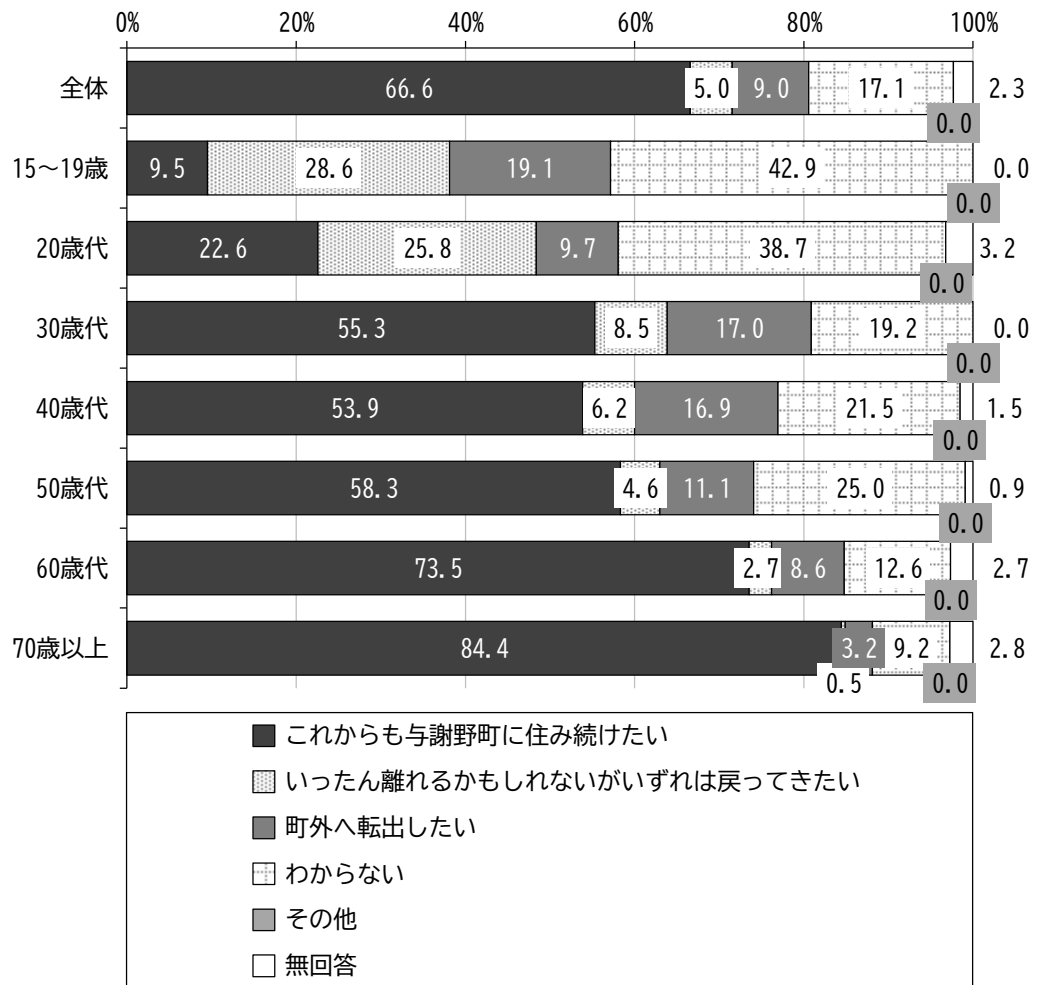
【今回調査】



【令和6年度調査】



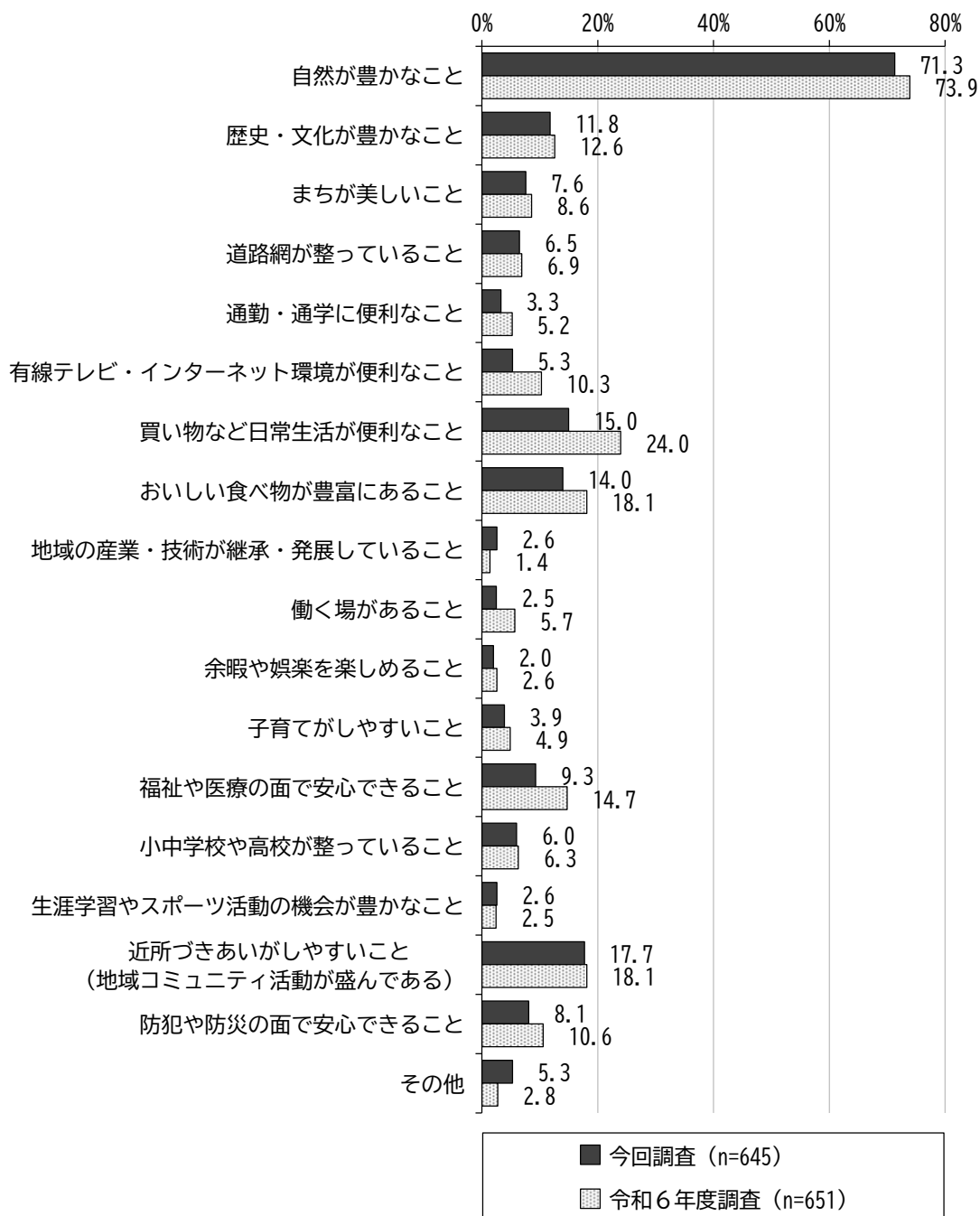
【令和5年度調査】



問 17 与謝野町の良いところは何ですか。(〇は3つまで)

「自然が豊かなこと」が71.3%と最も多く、次いで「近所づきあいがしやすいこと（地域コミュニティ活動が盛んである）」が17.7%、「買い物など日常生活が便利なこと」が15.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、「買い物など日常生活が便利なこと」が9.0ポイント、「福祉や医療の面で安心できること」が5.4ポイント減少しています。



※今回調査の「近所づきあいがしやすいこと（地域コミュニティ活動が盛んである）」は令和6年度調査では「近所づきあいがしやすいこと」

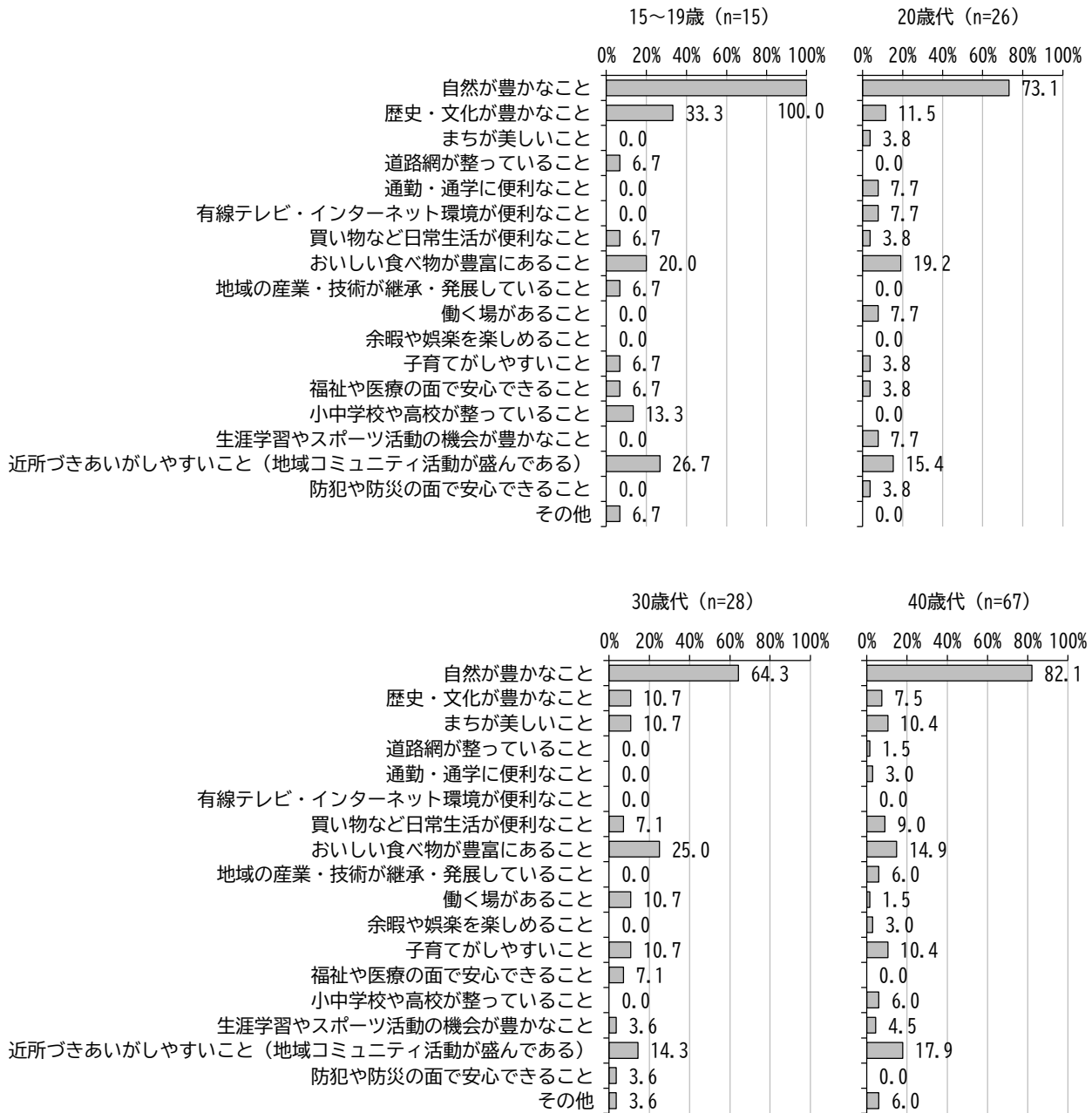
◆地域別

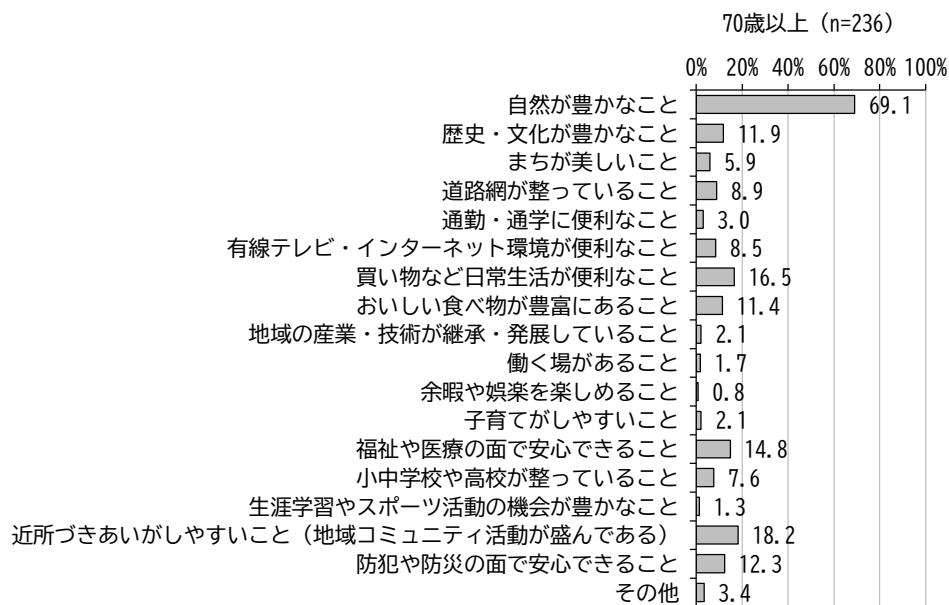
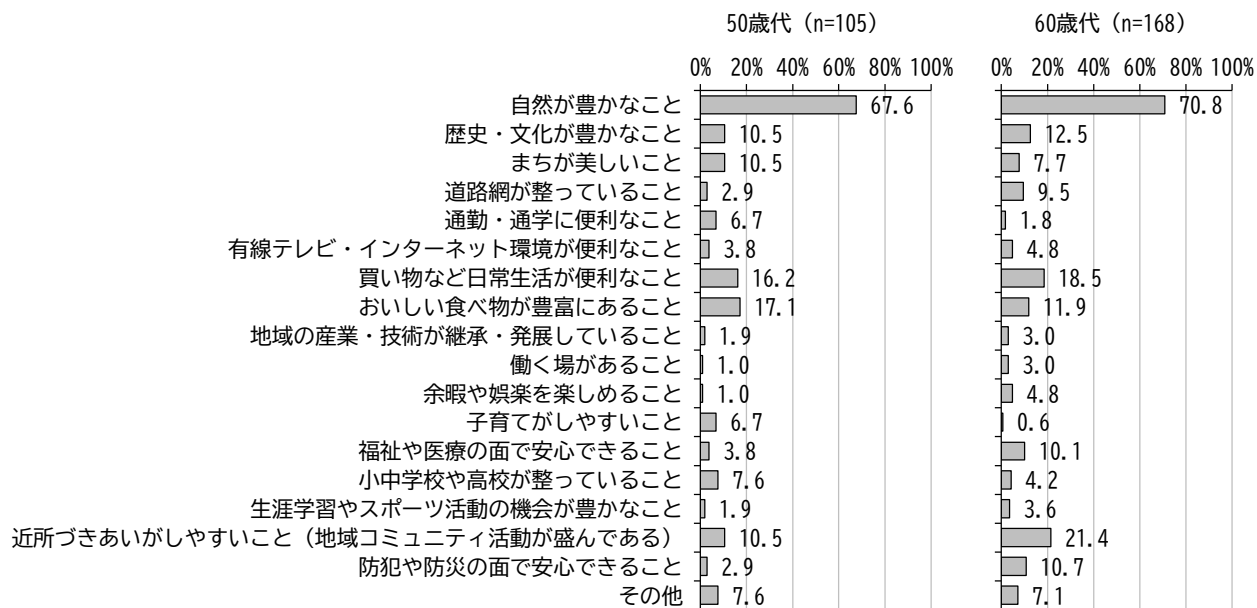
地域別にみると、いずれの地域も「自然が豊かなこと」が最も多くなっています。また、[加悦地域]では「買い物など日常生活が便利なこと」がその他の地域と比べて低くなっています。



◆年齢別

年齢別にみると、いずれの年齢も「自然が豊かなこと」が最も多くなっています。また、[15～19歳]では「歴史・文化が豊かなこと」がその他の年齢と比べて高くなっています。

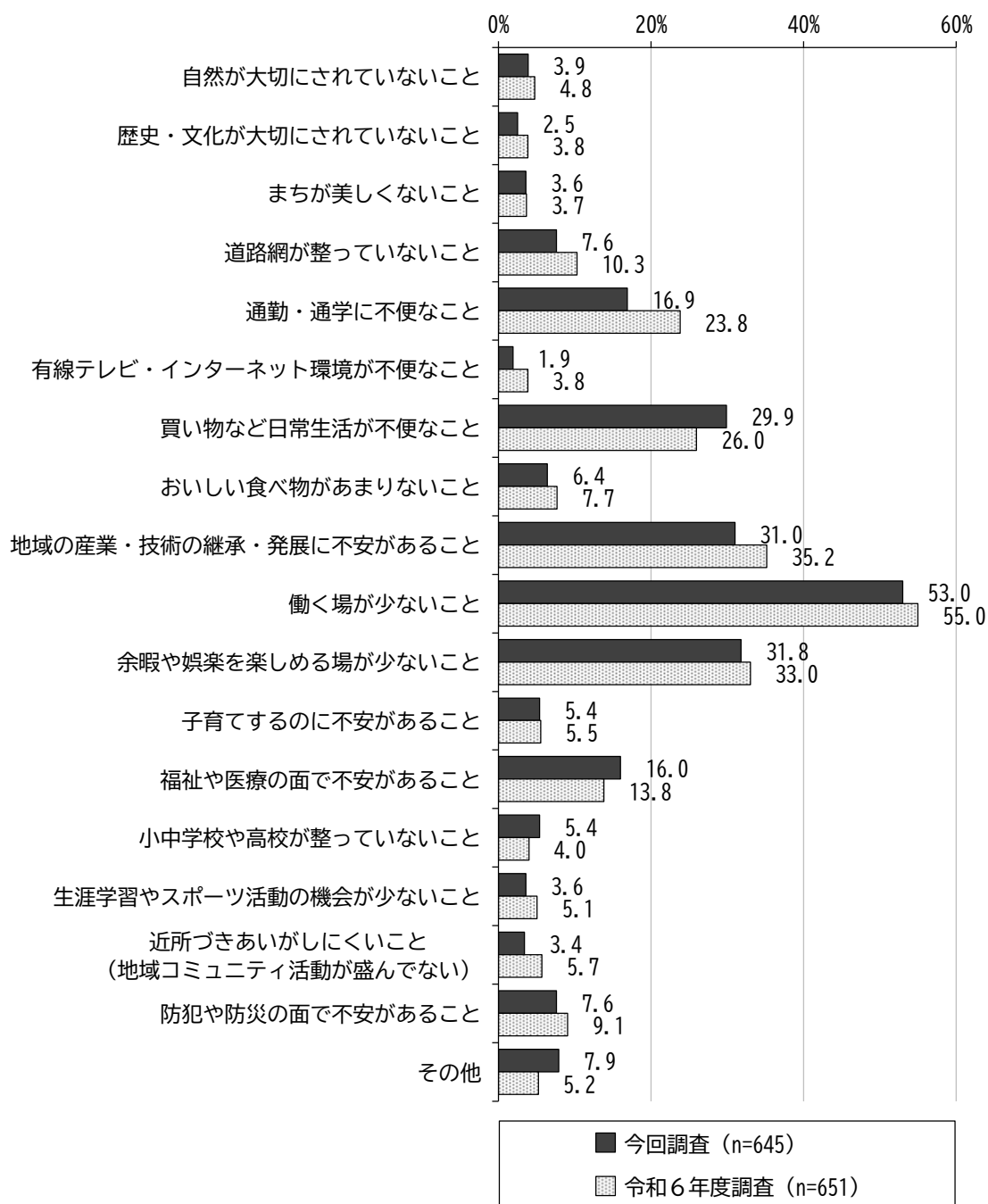




問 18 与謝野町の気になるところは何ですか。(〇は3つまで)

「働く場が少ないこと」が53.0%と最も多く、次いで「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」が31.8%、「地域の産業・技術の継承・発展に不安があること」が31.0%となっています。

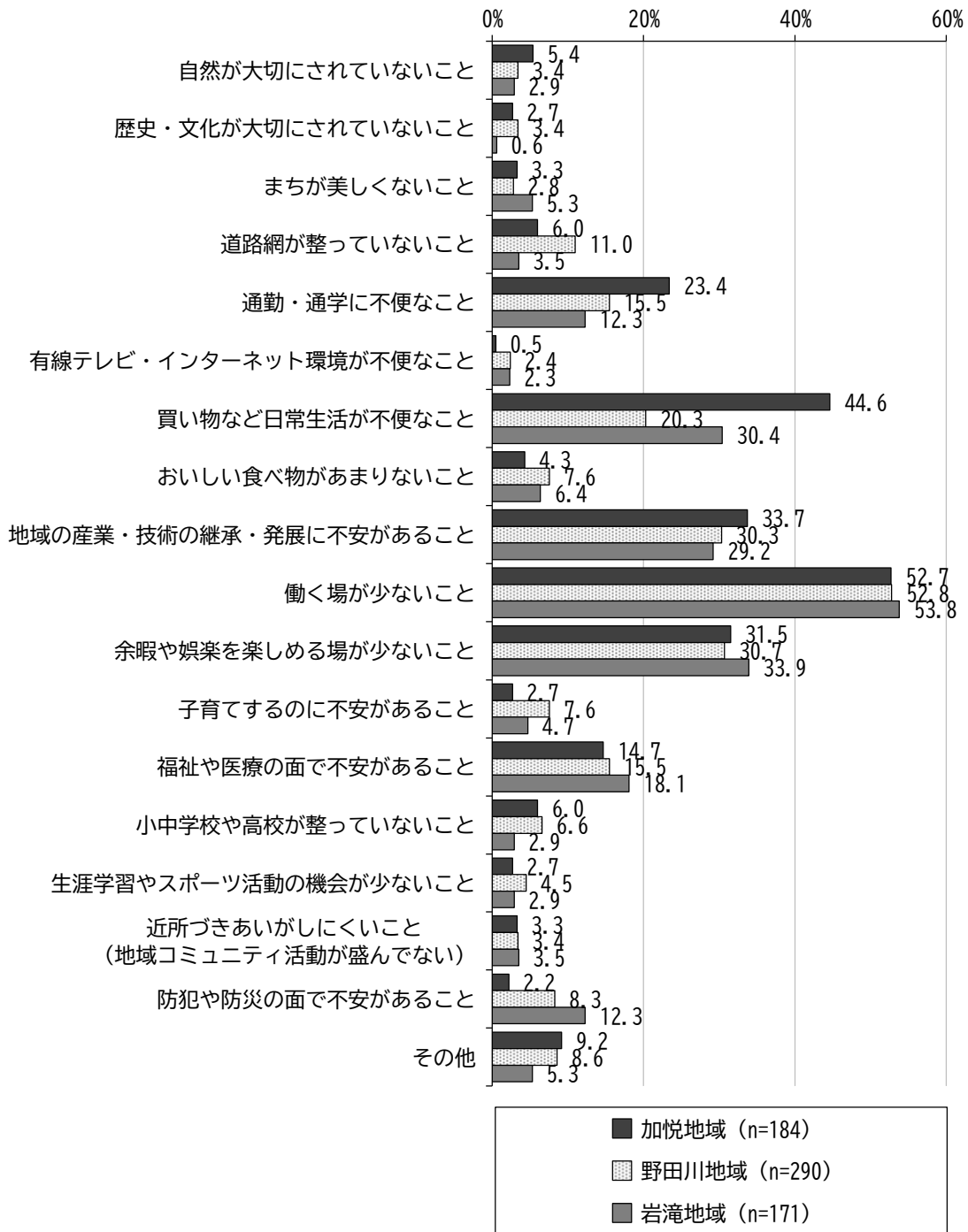
令和6年度調査と比較すると、「通勤・通学に不便なこと」が6.9ポイント減少しています。



※今回調査の「近所づきあいがしにくいこと (地域コミュニティ活動が盛んでない)」は令和6年度調査では「近所づきあいがしにくいこと」

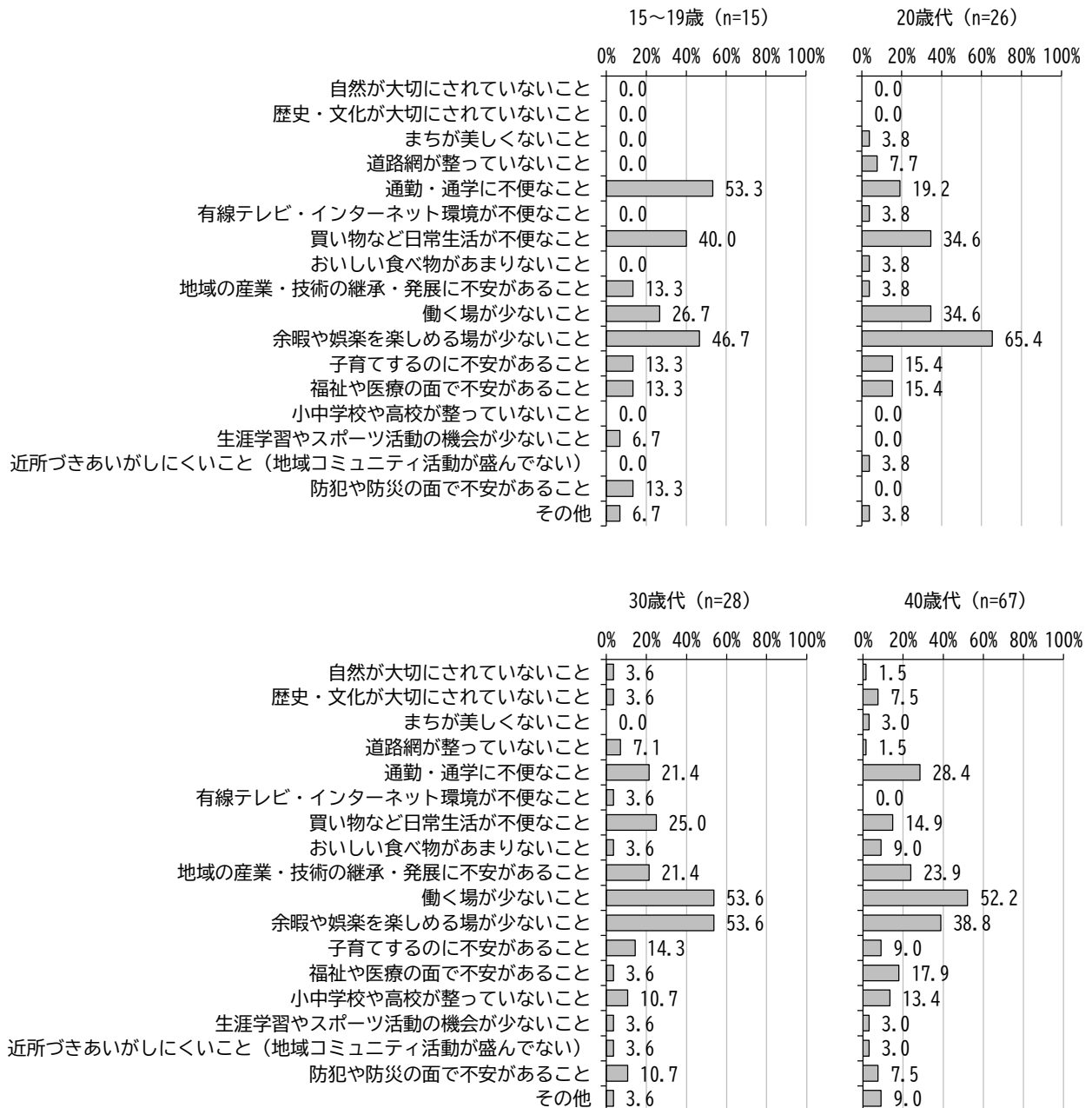
◆地域別

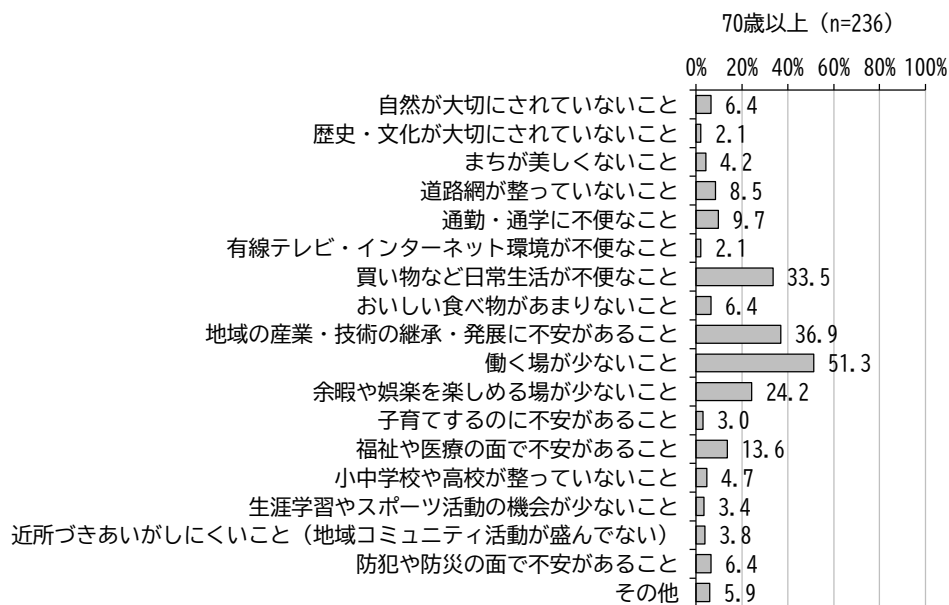
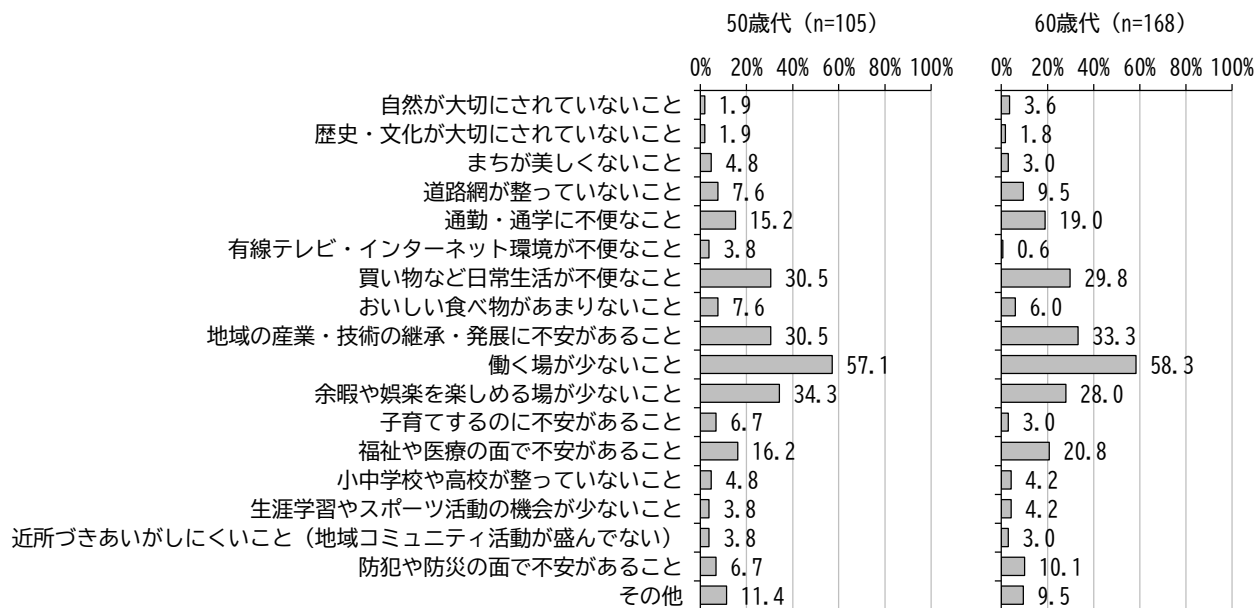
地域別にみると、いずれの地域も「働く場が少ないこと」が最も多くなっています。また、[加悦地域]では「買い物など日常生活が不便なこと」がその他の地域と比べて高くなっています。



◆年齢別

年齢別にみると、〔15～19歳〕では「通勤・通学に不便なこと」、〔20歳代〕では「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」、〔30歳代〕では「働く場が少ないこと」「余暇や娯楽を楽しめる場が少ないこと」、40歳以上では「働く場が少ないこと」が最も多くなっています。

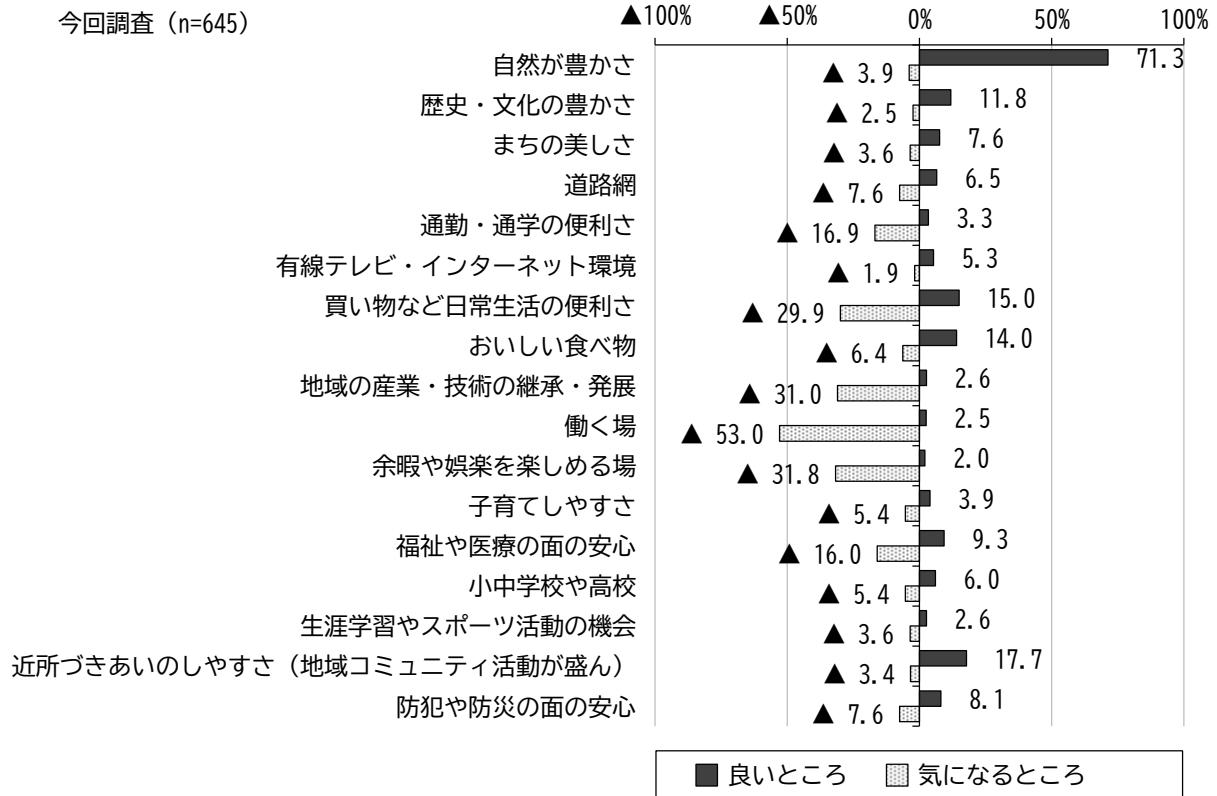




◆与謝野町の良いところと気になるところ

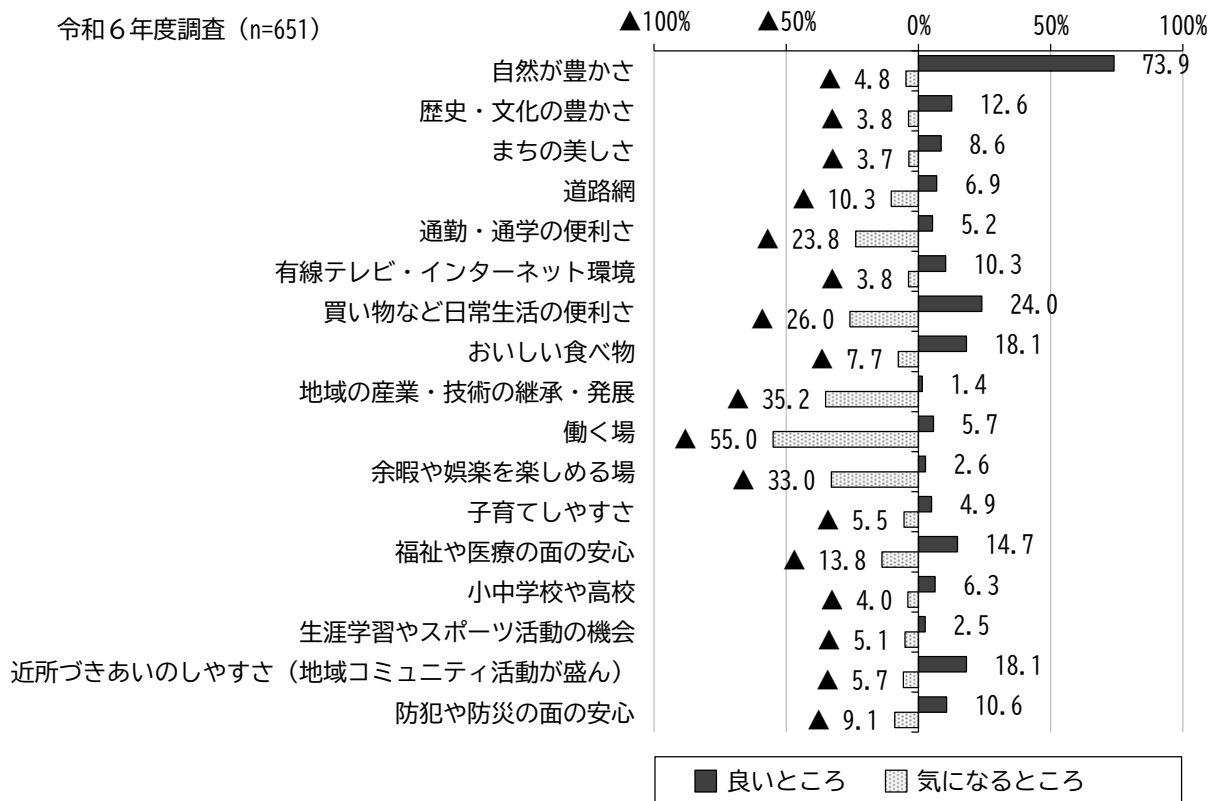
与謝野町の良いところと気になるところを1つのグラフにすると、次のとおりです。

【今回調査】



【令和6年度調査】

令和6年度調査 (n=651)



5 与謝野町のまちづくりについて

問 19 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。また、今後どのようなまちづくりが重要だと思いますか。(①～⑤すべての項目について、満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで○)

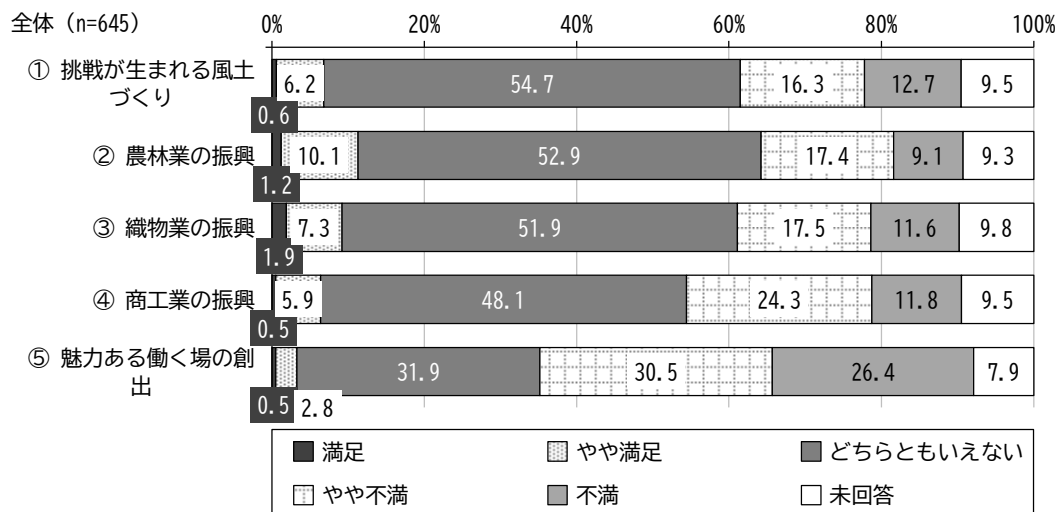
■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち)

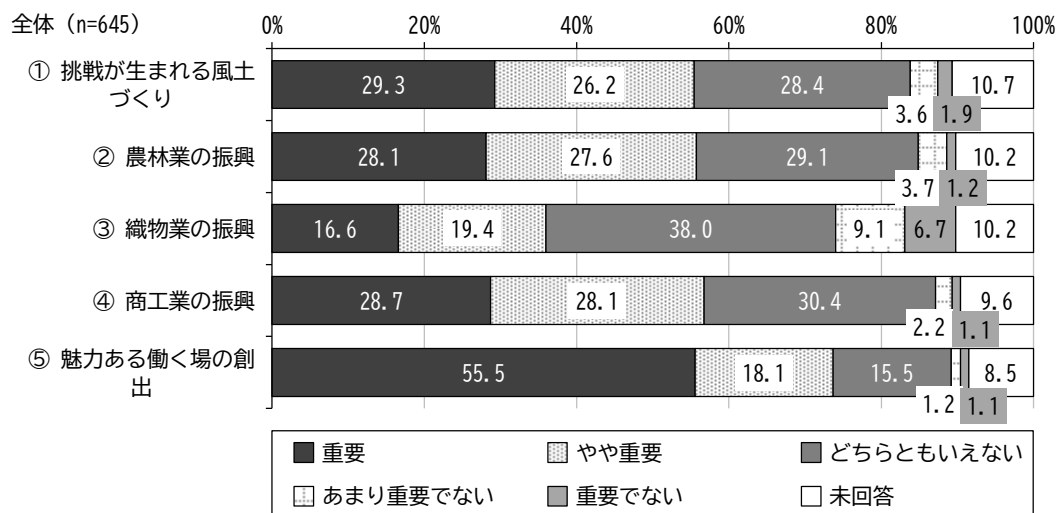
『満足計(「満足」と「やや満足」の合計)』は〔② 農林業の振興〕で11.3%、その他の項目で1割未満となっています。『不満計(「不満」と「やや不満」の合計)』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で56.9%、〔④ 商工業の振興〕で36.1%、〔③ 織物業の振興〕で29.1%となっています。

『重要計(「重要」と「やや重要」の合計)』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で73.6%、〔④ 商工業の振興〕で56.8%、〔② 農林業の振興〕で55.7%となっています。『重要でない計(「重要でない」と「あまり重要でない」の合計)』は〔③ 織物業の振興〕で15.8%、その他の項目で1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



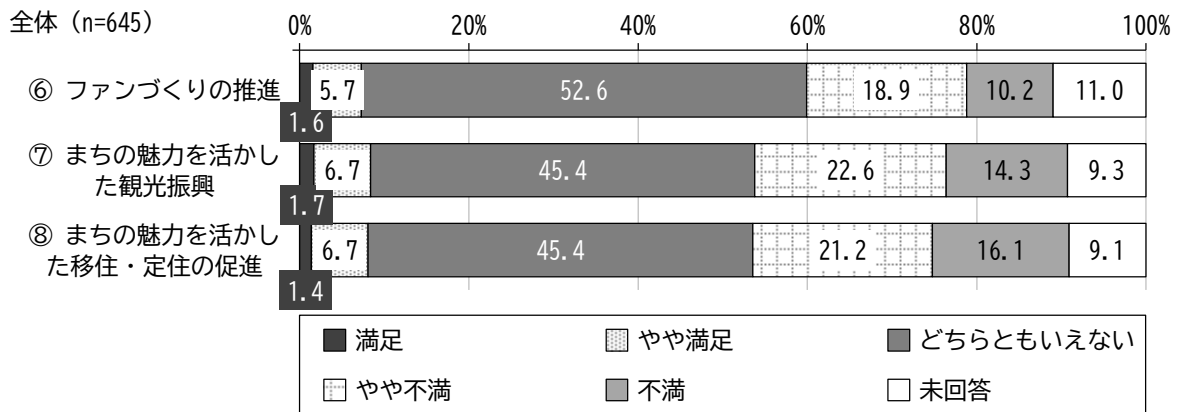
■観光・交流・移住定住

(地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

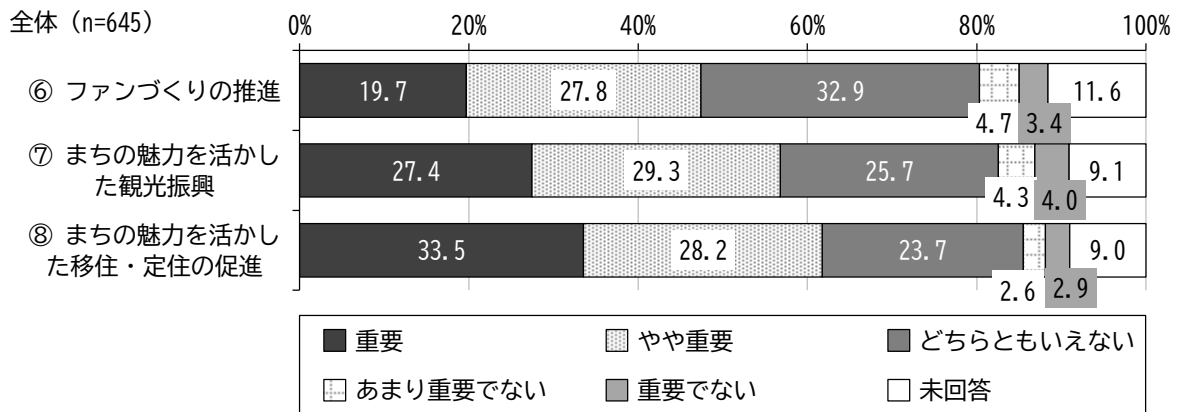
『満足計』はいずれの項目も1割未満となっています。『不満計』は〔⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進〕で37.3%、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕で36.9%、〔⑥ ファンづくりの推進〕で29.1%となっています。

『重要計』は〔⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進〕で61.7%、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕で56.7%、〔⑥ ファンづくりの推進〕で47.5%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



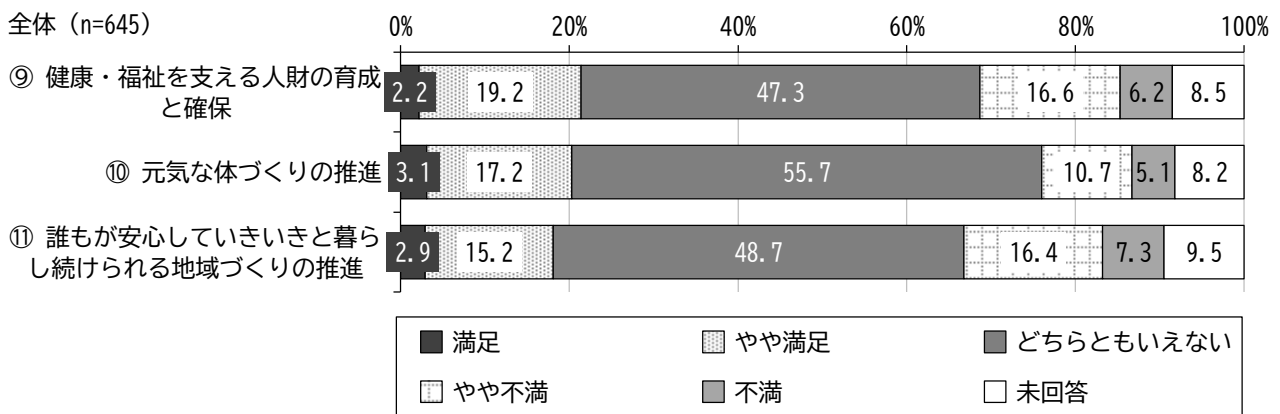
■健康・福祉

(みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

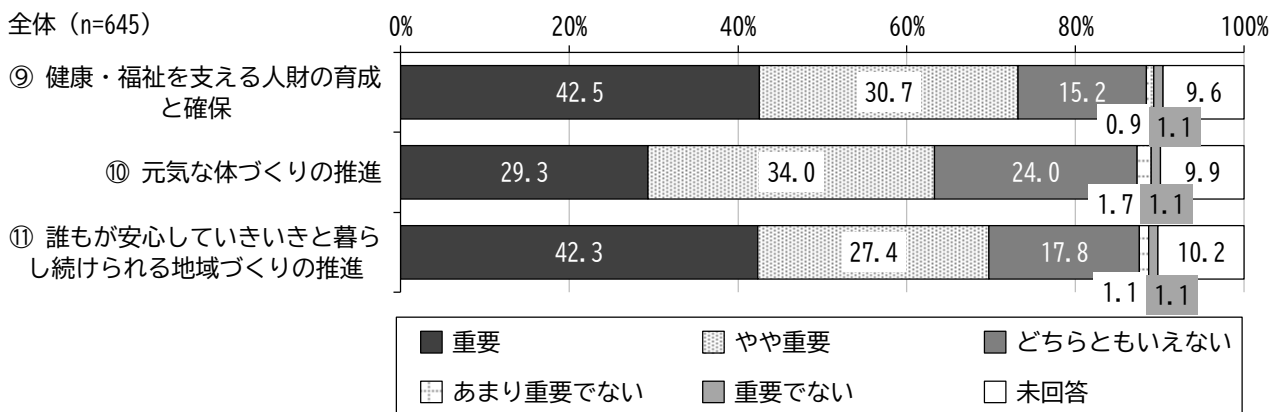
『満足計』は〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で21.4%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で20.3%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で18.1%となっています。『不満計』は〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で23.7%、〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で22.8%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で15.8%となっています。

『重要計』は〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で73.2%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で69.7%、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で63.3%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



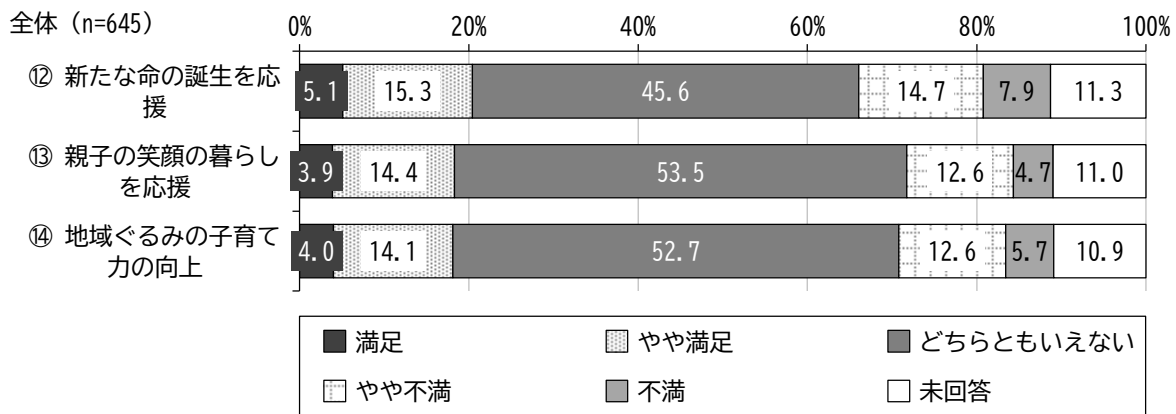
■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

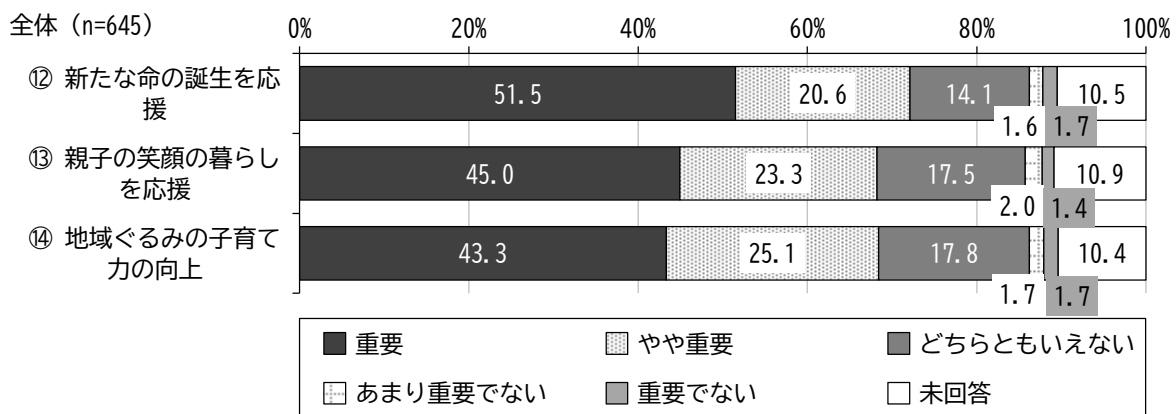
『満足計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で20.4%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で18.3%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で18.1%となっています。『不満計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で22.6%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で18.3%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で17.3%となっています。

『重要計』は〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で72.1%、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で68.4%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で68.3%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



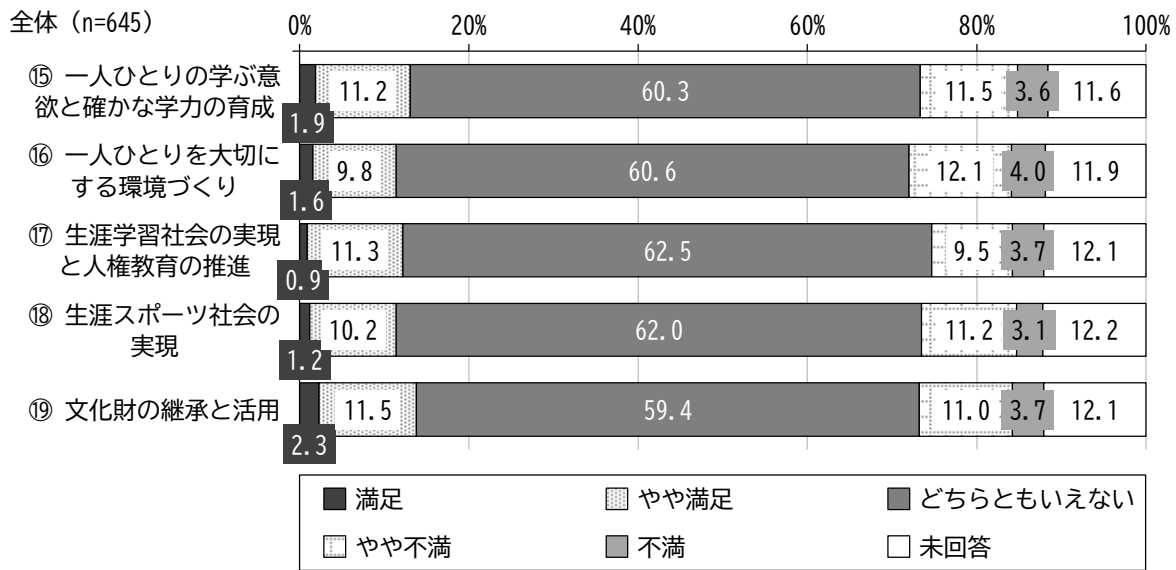
■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

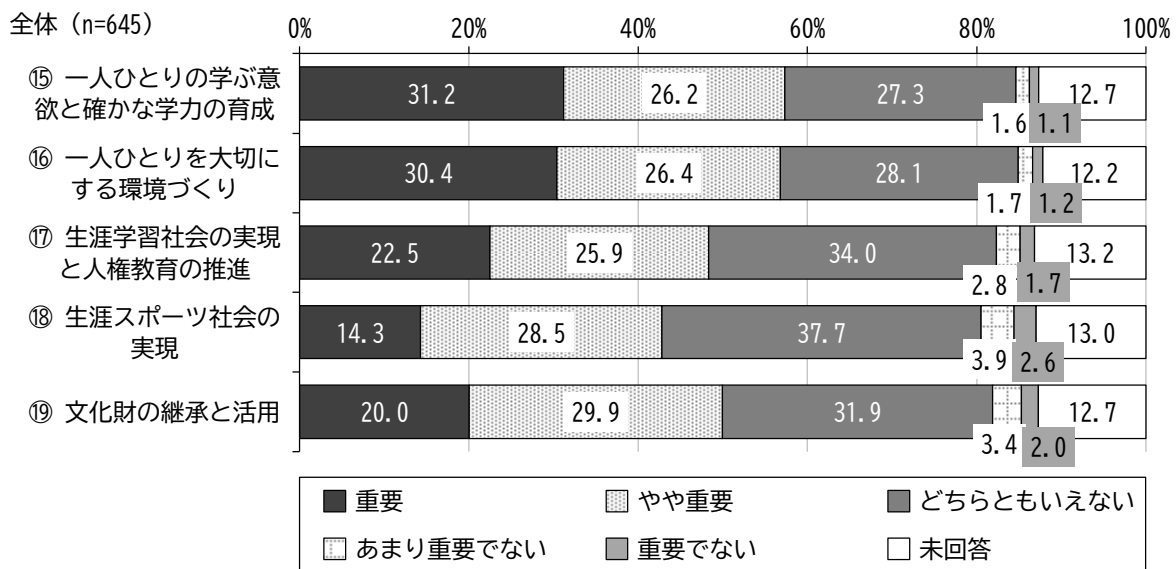
『満足計』は〔19 文化財の継承と活用〕で13.8%、〔15 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で13.1%、〔17 生涯学習社会の実現と人権教育の推進〕で12.2%となっています。『不満計』は〔16 一人ひとりを大切にする環境づくり〕で16.1%、〔15 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で15.1%、〔19 文化財の継承と活用〕で14.7%となっています。

『重要計』は〔15 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で57.4%、〔16 一人ひとりを大切にする環境づくり〕で56.8%、〔19 文化財の継承と活用〕で49.9%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



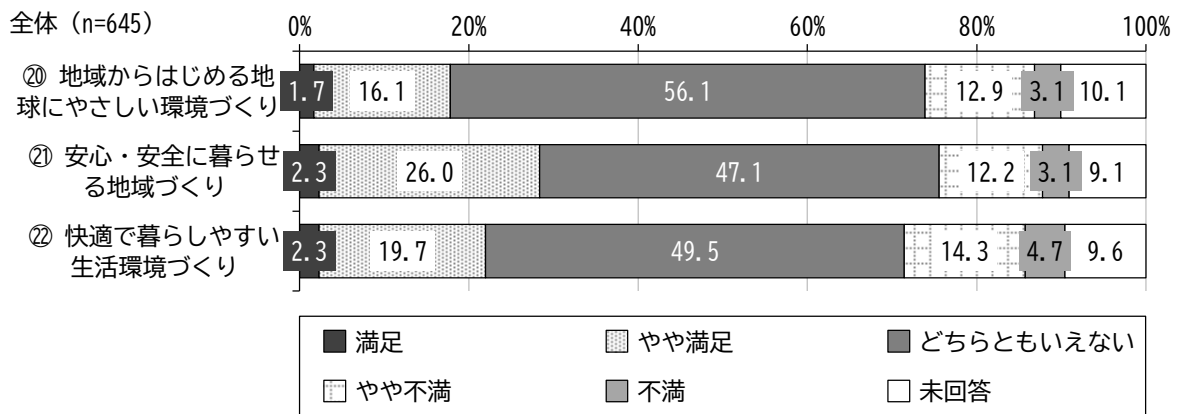
■環境・暮らし

(美しくて住みやすい安心安全なまち)

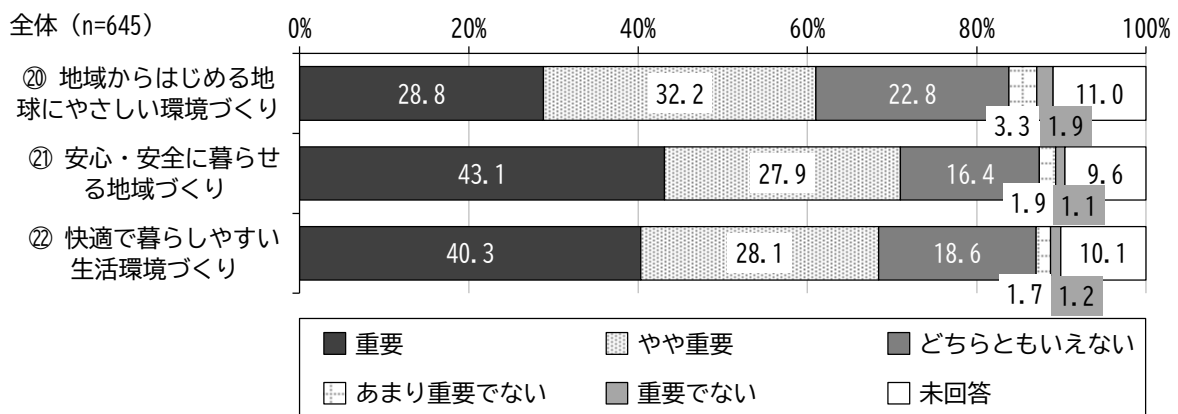
『満足計』は〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で28.3%、〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で22.0%、〔②⑩ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で17.8%となっています。『不満計』は〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で19.0%、〔②⑩ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で16.0%、〔① 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で15.3%となっています。

『重要計』は〔② 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で71.0%、〔② 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で68.4%、〔②⑩ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕で61.0%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



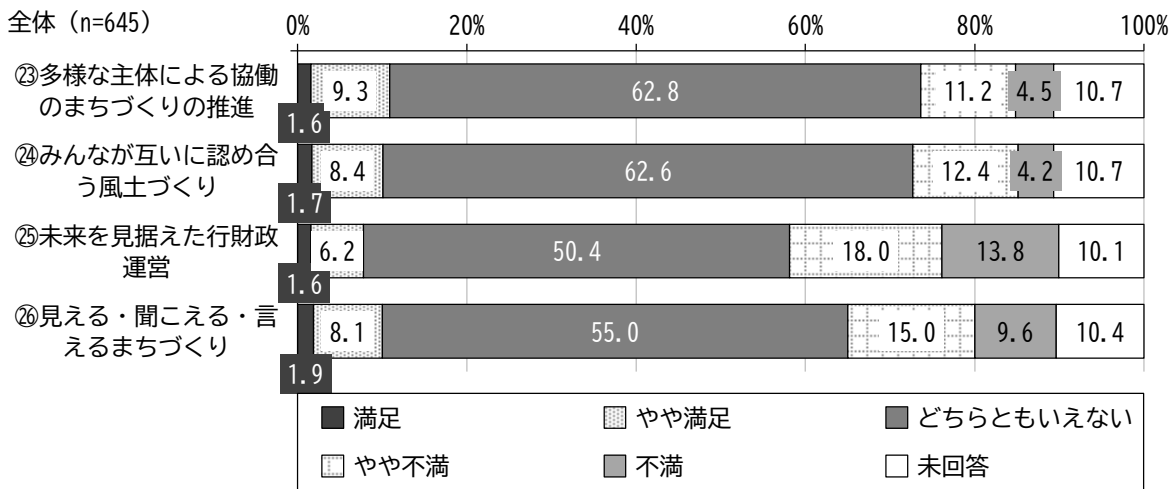
■地域協働・行財政運営

(住民が主人公となるまち)

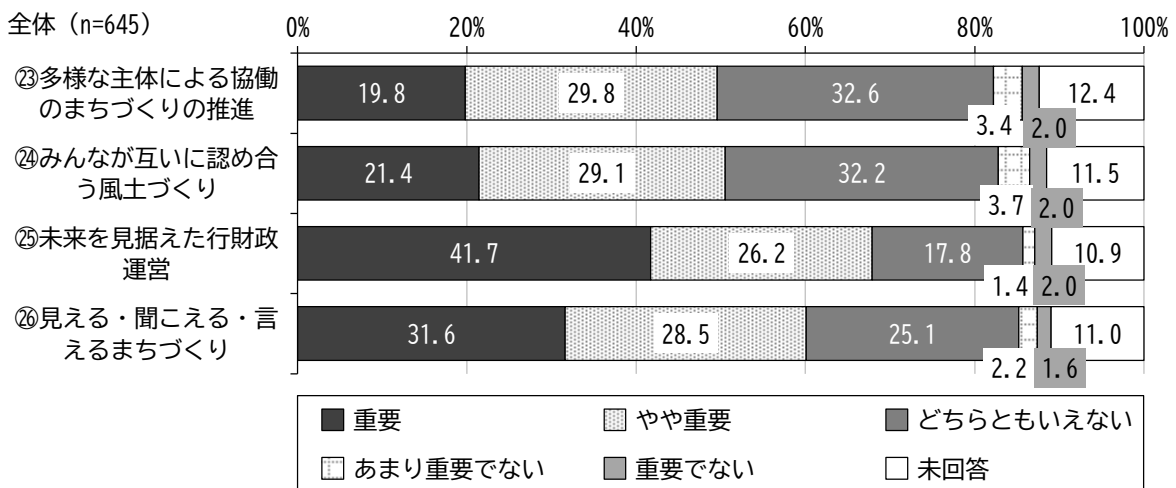
『満足計』は〔㉓多様な主体による協働のまちづくりの推進〕で10.9%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で10.1%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で10.0%となっています。『不満計』は〔㉕未来を見据えた行財政運営〕で31.8%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で24.6%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で16.6%となっています。

『重要計』は〔㉕未来を見据えた行財政運営〕で67.9%、〔㉖見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で60.1%、〔㉔みんなが互いに認め合う風土づくり〕で50.5%となっています。『重要でない計』はいずれの項目も1割未満となっています。

(1) 満足度



(2) 重要度



■各施策の加重平均

※施策の満足度、重要度の選択肢については5点満点で点数化した値を用いて分析。

◎満足度 = (「満足」の回答者数×5点+「やや満足」の回答者数×4点+「どちらともいえない」の回答者数×3点+「やや不満」の回答者数×2点+「不満」の回答者数×1点)

÷ (「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の各回答者数の合計)

◎重要度 = (「重要」の回答者数×5点+「やや重要」の回答者数×4点+「どちらともいえない」の回答者数×3点+「あまり重要でない」の回答者数×2点+「重要でない」の回答者数×1点)

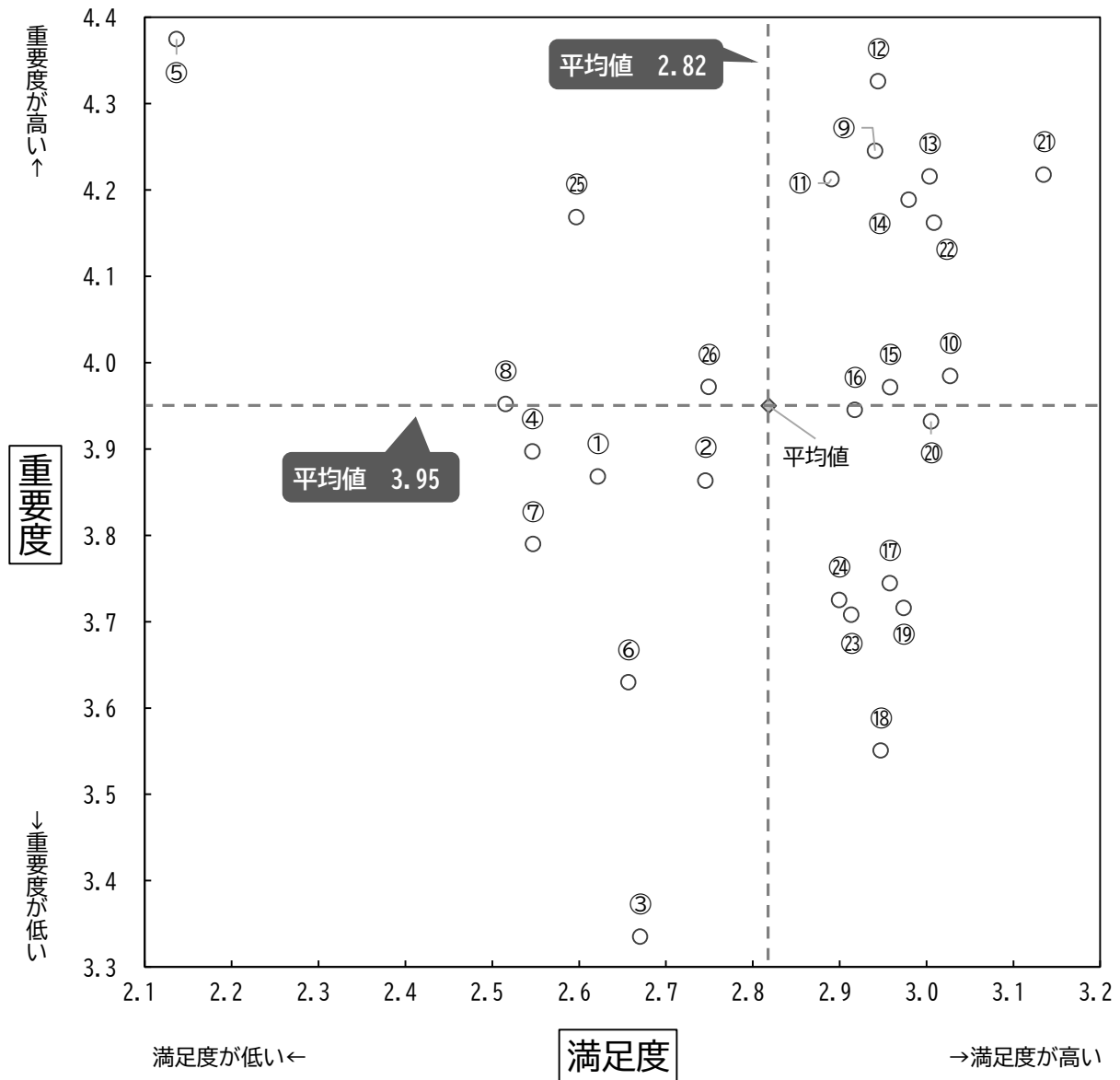
÷ (「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要でない」「重要でない」の各回答者数の合計)

		満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.62	21	3.87	17
	② 農林業の振興	2.75	17	3.86	18
	③ 織物業の振興	2.67	19	3.34	26
	④ 商工業の振興	2.55	23	3.90	16
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.14	26	4.37	1
観光・交流・移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.66	20	3.63	24
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.55	23	3.79	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.52	25	3.95	13
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	2.94	11	4.25	3
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.03	2	3.98	10
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進	2.89	16	4.21	6
子ども・子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	2.94	11	4.33	2
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	3.00	5	4.22	4
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	2.98	6	4.19	7
教育・スポーツ・文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	2.96	8	3.97	11
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	2.92	13	3.95	13
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	2.96	8	3.74	20
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	2.95	10	3.55	25
	⑲ 文化財の継承と活用	2.97	7	3.72	22
環境・暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	3.01	3	3.93	15
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.13	1	4.22	4
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	3.01	3	4.16	9
地域協働・行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	2.91	14	3.71	23
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	2.90	15	3.73	21
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.60	22	4.17	8
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.75	17	3.97	11

■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔12 新たな命の誕生を応援〕〔13 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔21 安心・安全に暮らせる地域づくり〕などの項目が上位にあがっています。

一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔5 魅力ある働く場の創出〕〔25 未来を見据えた行政運営〕〔26 見える・聞こえる・言えるまちづくり〕があがっています。

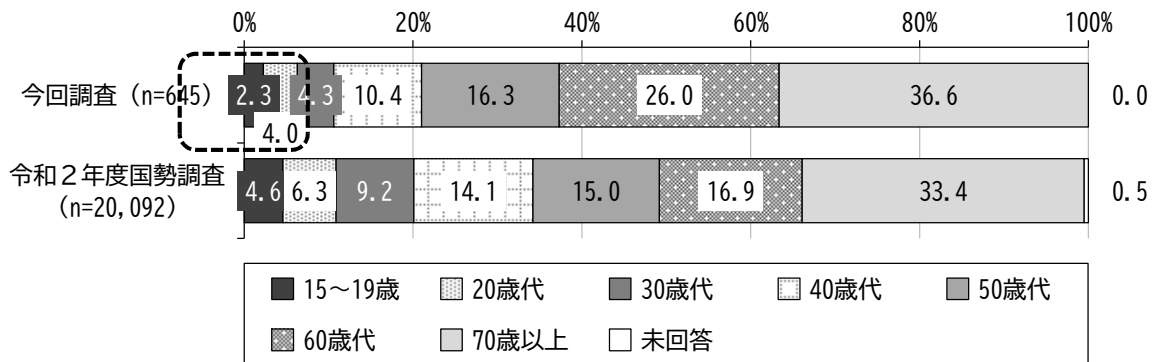


6 若者世代に見る 与謝野町のまちづくりについて

本アンケートは、15歳以上の町民から2,000人を無作為抽出し、645件の回答を得ましたが、実際の人口の年齢構成においては40歳以上が約80%を占めており、また回答者の年齢構成においても40歳以上が約90%となっています。

そこで10年先、20年先において本町のまちづくりを担う主力と想定される15～39歳の年齢層（若者世代）69件の回答傾向を把握するため、当該世代に絞ってアンケート結果をまとめました。

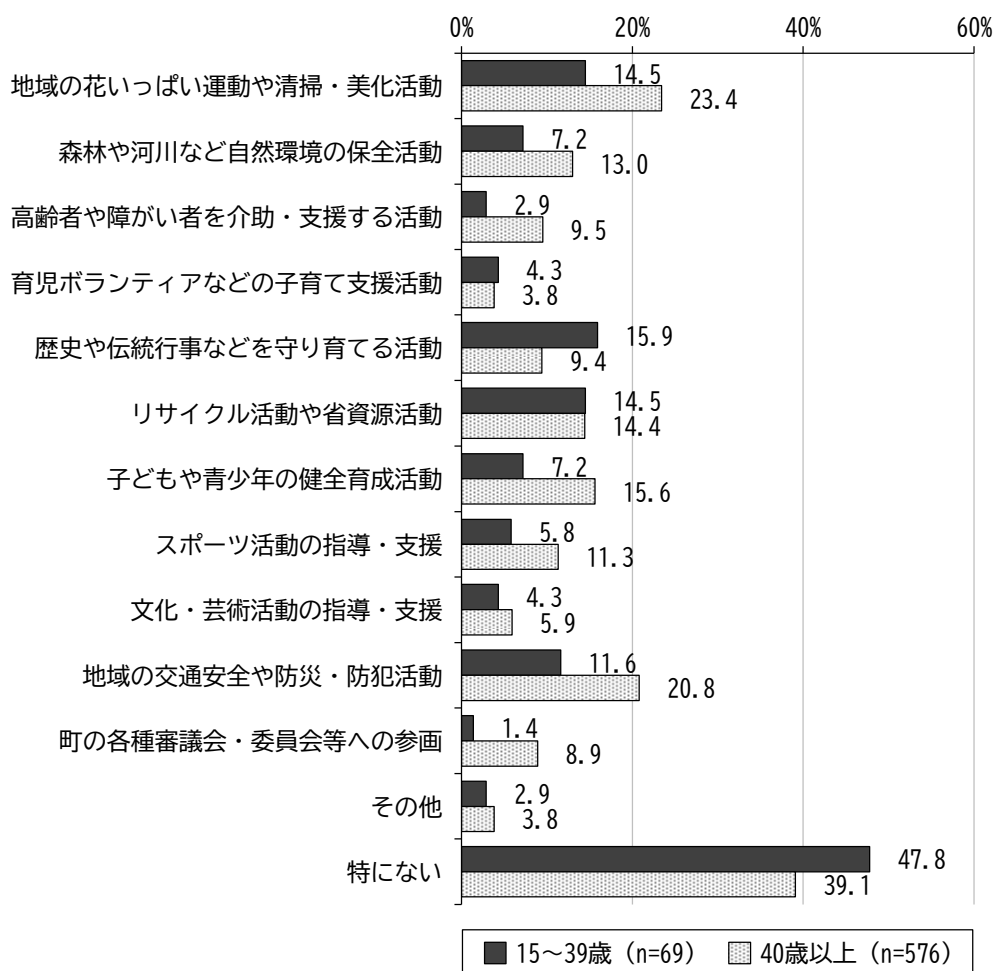
（再掲）問2 あなたの年齢はどれにあたりますか。（○は1つ）



問7 「与謝野町のまちづくり」において、これまでどのような活動に参加したことがありますか。
 (参加したことがあるものすべてに○)

若者世代では「特にない」が47.8%と最も多く、次いで「歴史や伝統行事などを守り育てる活動」が15.9%、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」「リサイクル活動や省資源活動」が14.5%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「歴史や伝統行事などを守り育てる活動」が6.5ポイント高くなっていますが、「地域の交通安全や防災・防犯活動」が9.2ポイント、「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が8.9ポイント低くなっています。

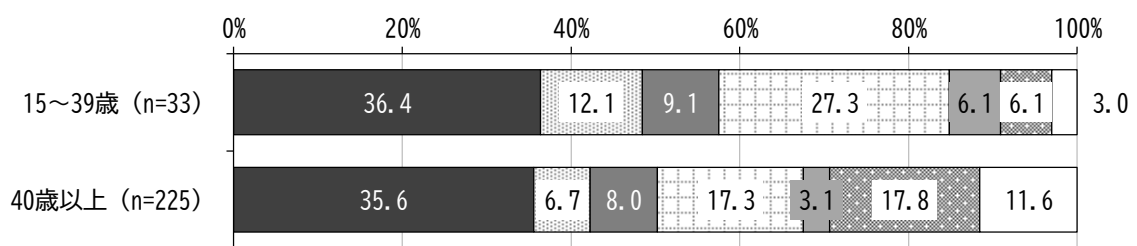


問7で「特にない」と回答された方

問8 あなたが参加しなかった（できなかった）理由は何ですか。（○は1つ）

若者世代では「まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）」が36.4%と最も多く、次いで「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思いますが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が27.3%、「まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない（参加の仕方がわかれば参加したいし、出来ると思う）」が12.1%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思いますが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）」が10.0ポイント高くなっています。

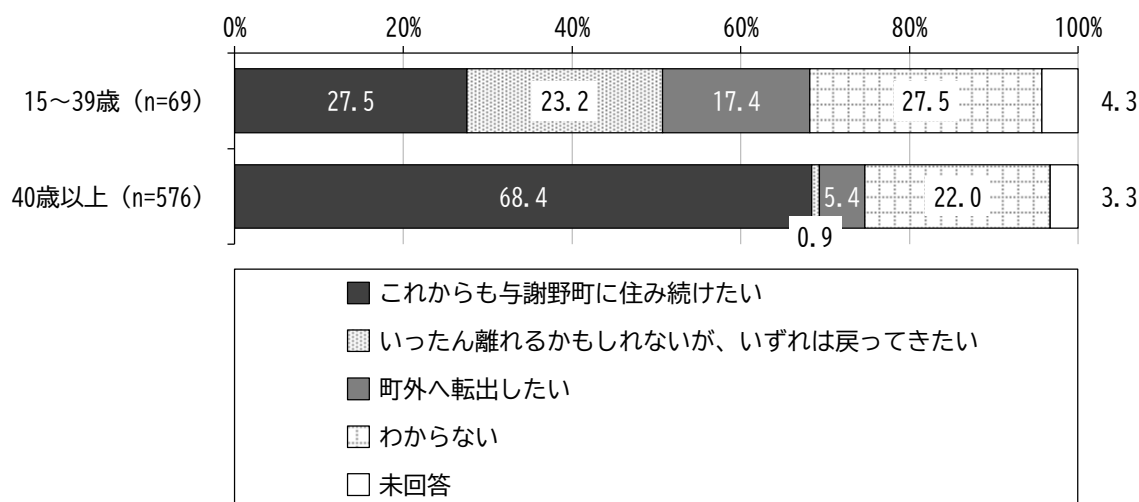


- まちづくりには興味があるが、日々の生活の中で時間がとれない（時間をとられない活動であれば参加したいし、出来ると思う）
- ▨ まちづくりには興味があり、比較的時間もあるが、参加の仕方がわからない（参加の仕方がわかれば参加したいし、出来ると思う）
- まちづくりには興味があり、比較的時間も参加の仕方もわかるが、地域の中に入っていくのが難しい（地域の中に溶け込むことが出来れば参加したいし、出来ると思う）
- ▨ まちづくりには興味がない（住民によるまちづくりは必要とは思いますが、自分以外のだれかが参加し進めていけば良いことである）
- 税金を納めているのだから、まちづくりは公務員がすればよい
- ▨ その他
- 未回答

問 16 これからも与謝野町に住み続けたいと思いますか。また、その理由は何ですか。(○は1つ)

若者世代では「これからも与謝野町に住み続けたい」「わからない」が27.5%と最も多く、次いで「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が23.2%となっています。

40歳以上と比較すると、若者世代では「これからも与謝野町に住み続けたい」が40.9ポイント低く、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が22.3ポイント、「町外へ転出したい」が12.0ポイント高くなっています。



問 19 与謝野町がこれまで進めてきたまちづくりについて、どのくらい満足していますか。また、今後どのようなまちづくりが重要だと思いますか。(①～⑳すべての項目について、満足度、重要度それぞれ1つずつ選んで○)

若者世代では『満足計』は〔⑳ 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で43.5%、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で39.1%、〔⑲ 文化財の継承と活用〕で37.7%、〔② 農林業の振興〕で36.2%、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり〕〔㉑ 快適で暮らしやすい生活環境づくり〕で31.9%となっています。『不満計』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で37.7%、〔⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進〕で31.8%、〔㉒ 未来を見据えた行財政運営〕で27.5%、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕〔㉓ 見える・聞こえる・言えるまちづくり〕で23.1%となっています。

『重要計』は〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で86.9%、〔⑫ 新たな命の誕生を応援〕で85.5%、〔⑳ 安心・安全に暮らせる地域づくり〕で84.0%、〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕で82.6%となっています。『重要でない計』は〔③ 織物業の振興〕〔⑥ ファンづくりの推進〕で13.0%、〔⑱ 生涯スポーツ社会の実現〕で10.1%、その他の項目で1割未満となっています。

『満足計』について40歳以上と比較すると、若者世代では〔② 農林業の振興〕で27.9ポイント、〔⑲ 文化財の継承と活用〕で26.7ポイント、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕で23.5ポイント、〔⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で19.5ポイント、〔⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進〕で18.7ポイント高くなっています。『不満計』は〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕で21.5ポイント、〔④ 商工業の振興〕で17.7ポイント、〔② 農林業の振興〕で16.7ポイント、〔⑦ まちの魅力を活かした観光振興〕で15.5ポイント、〔① 挑戦が生まれる風土づくり〕で14.6ポイント低くなっています。

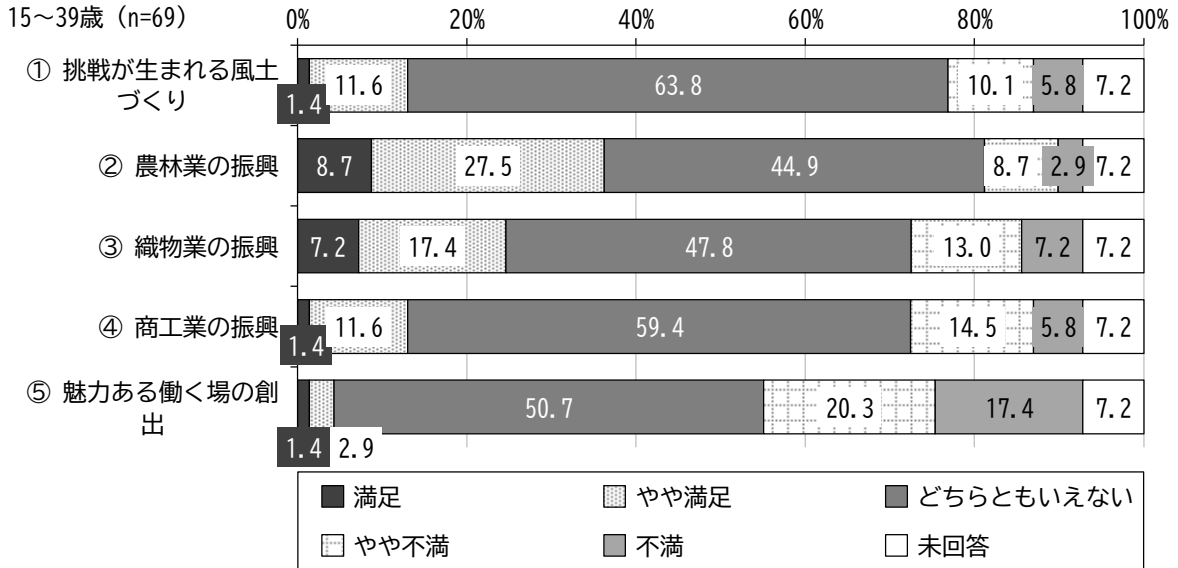
『重要計』について40歳以上と比較すると、若者世代では〔⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり〕で22.5ポイント、〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕で21.0ポイント、〔⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上〕で20.8ポイント、〔⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成〕で18.5ポイント、〔⑩ 元気な体づくりの推進〕で16.9ポイント高くなっています。『重要でない計』はいずれの項目も差は1割未満となっています。

【15～39歳】

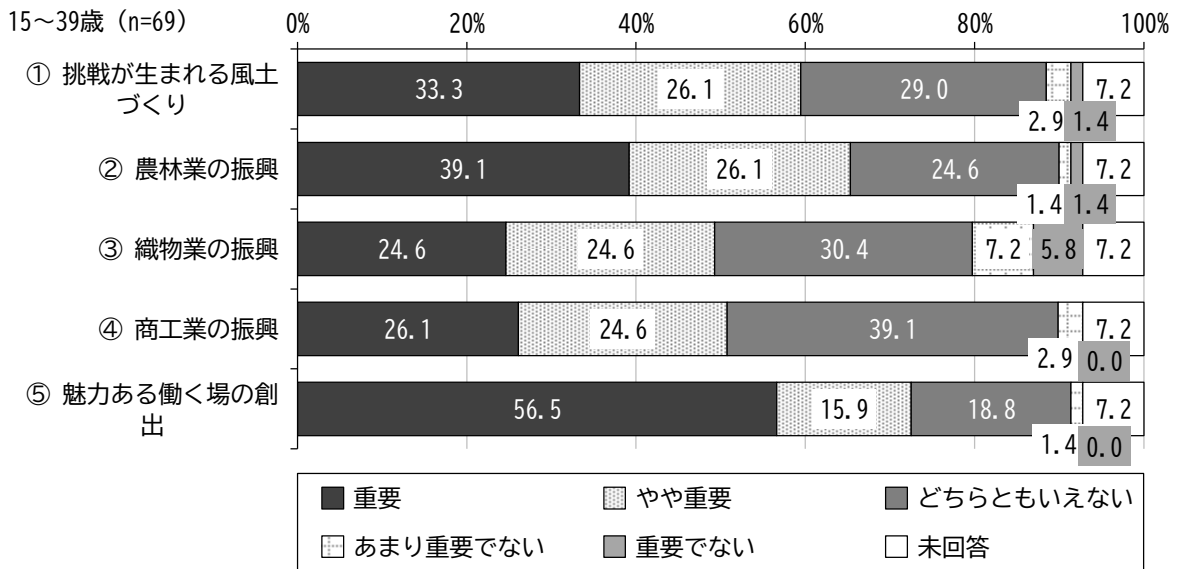
■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

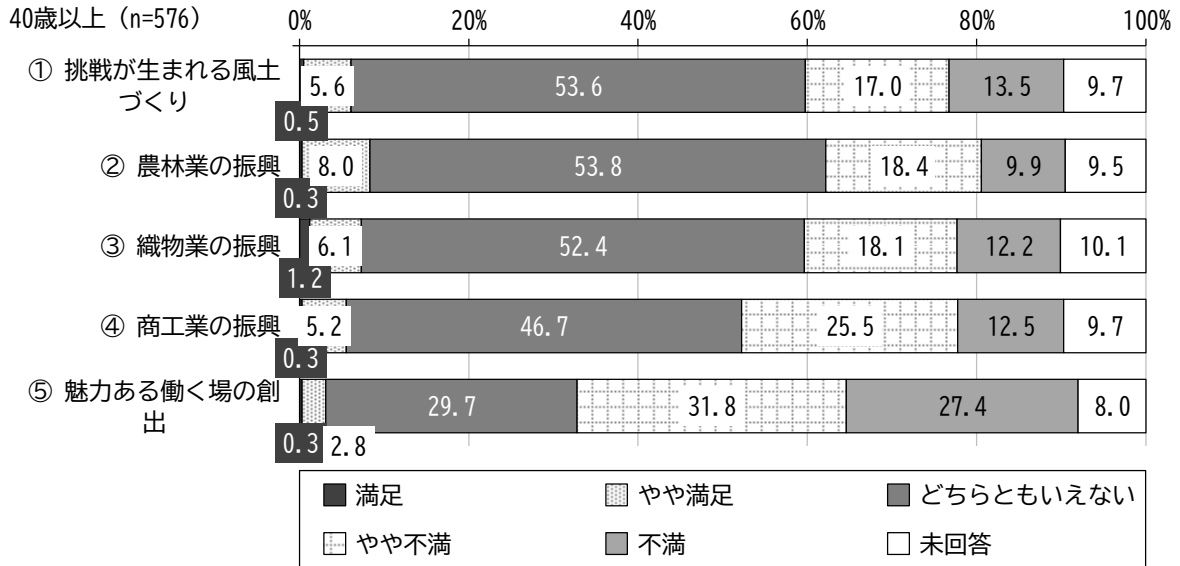


【40歳以上】

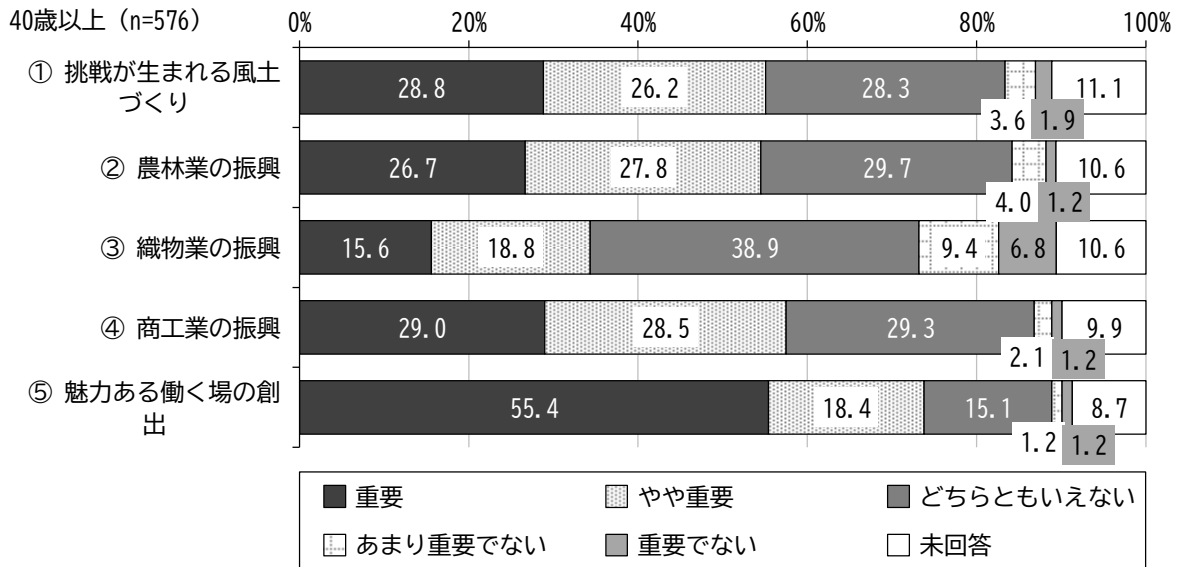
■産業・仕事

(一人ひとりが個性を活かして安心して働けるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

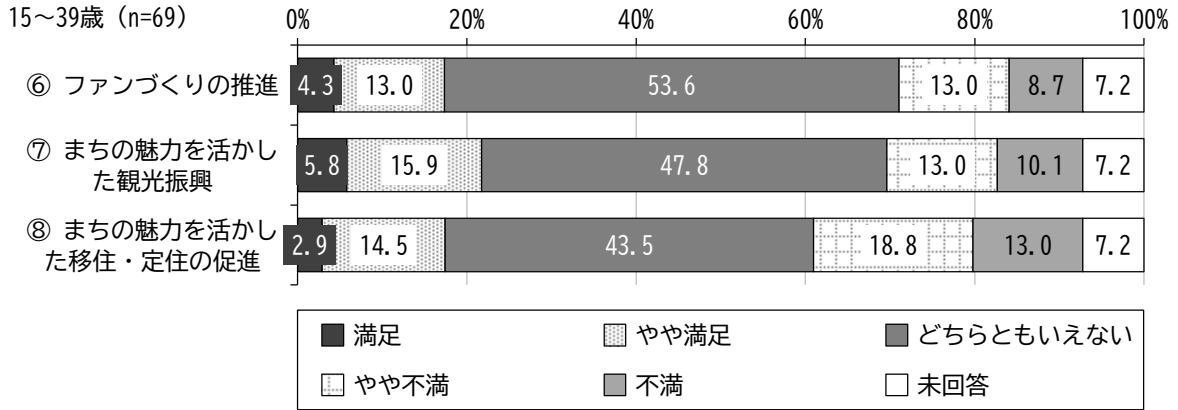


【15～39歳】

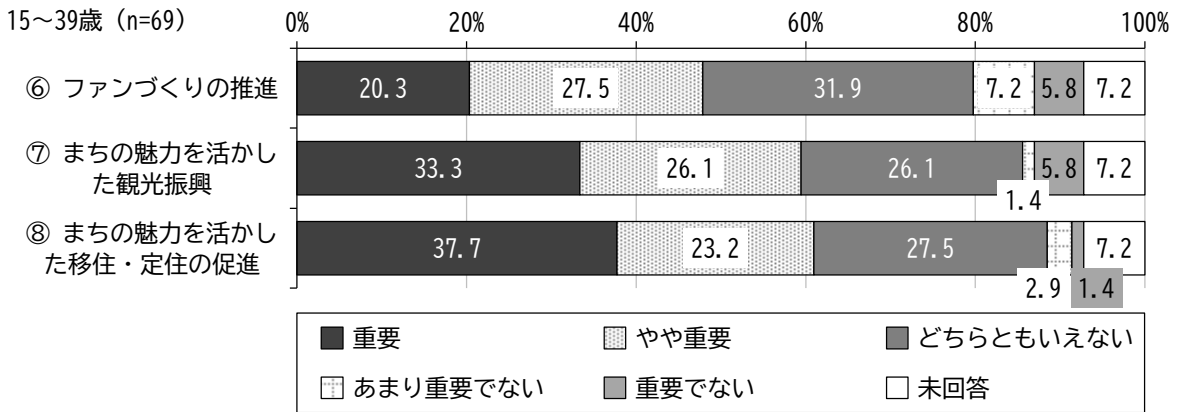
■観光・交流・移住定住

(地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

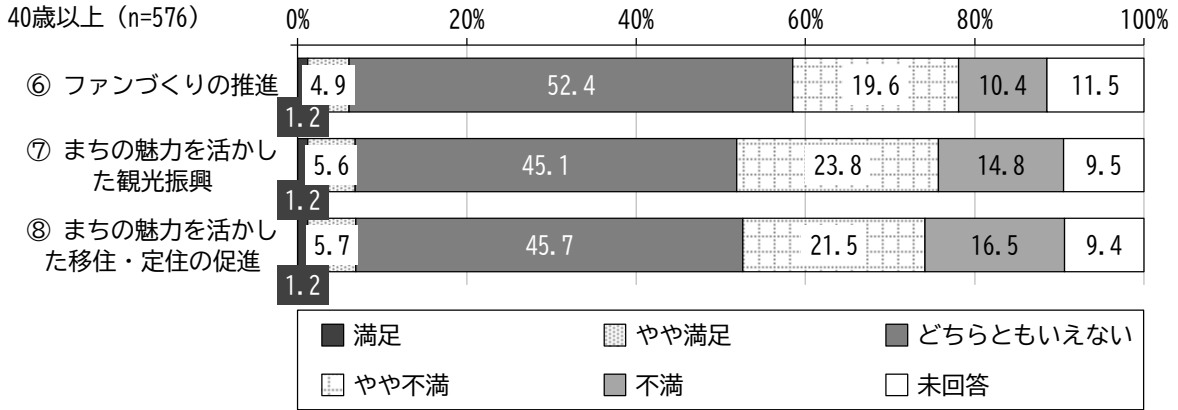


【40歳以上】

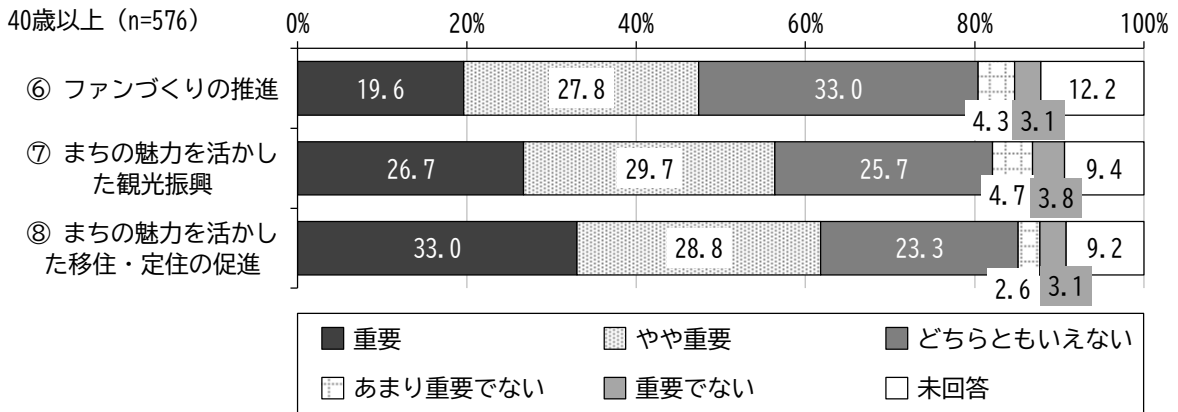
■観光・交流・移住定住

(地元を誇りに想い人の流れを生むまち)

(1) 満足度



(2) 重要度



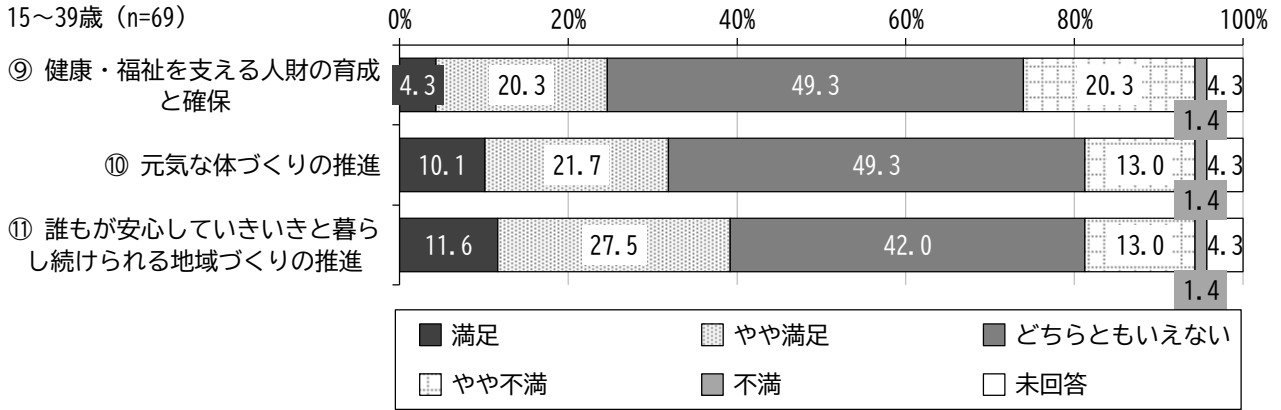
【15～39歳】

■健康・福祉

(みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

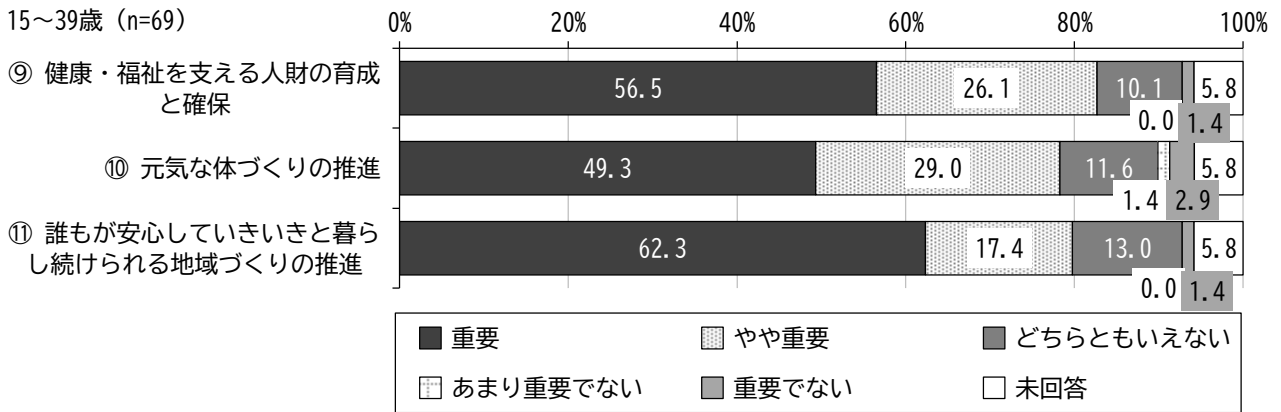
(1) 満足度

15～39歳 (n=69)



(2) 重要度

15～39歳 (n=69)

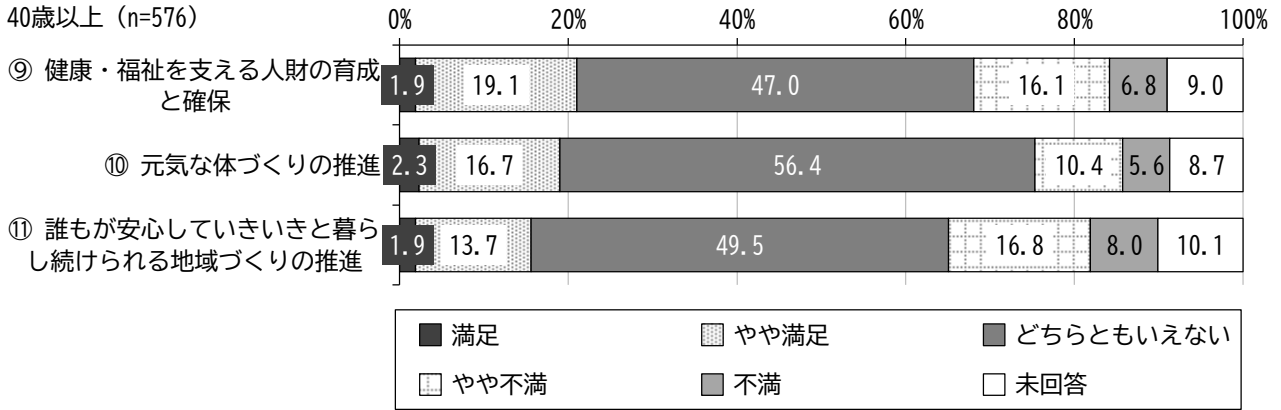


【40歳以上】

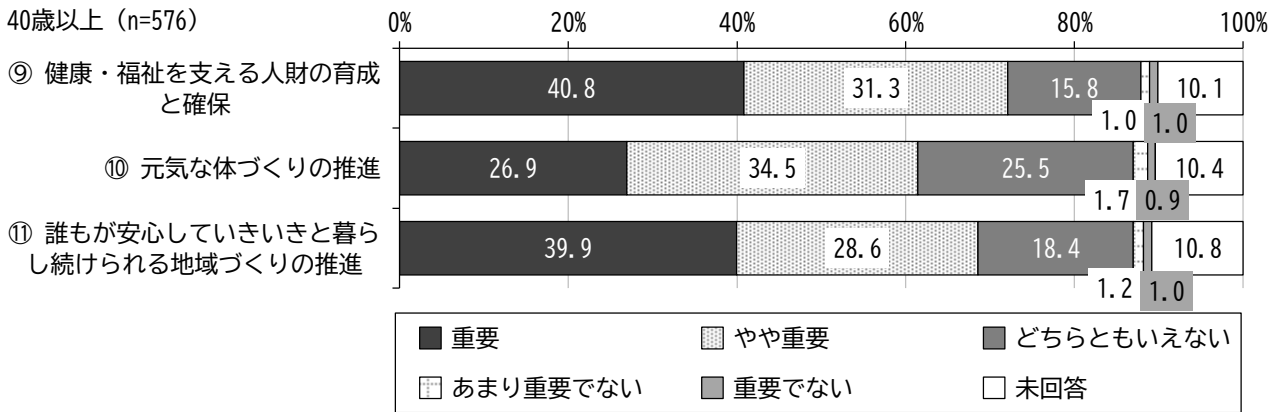
■健康・福祉

(みんなが自分らしく幸せに生きるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

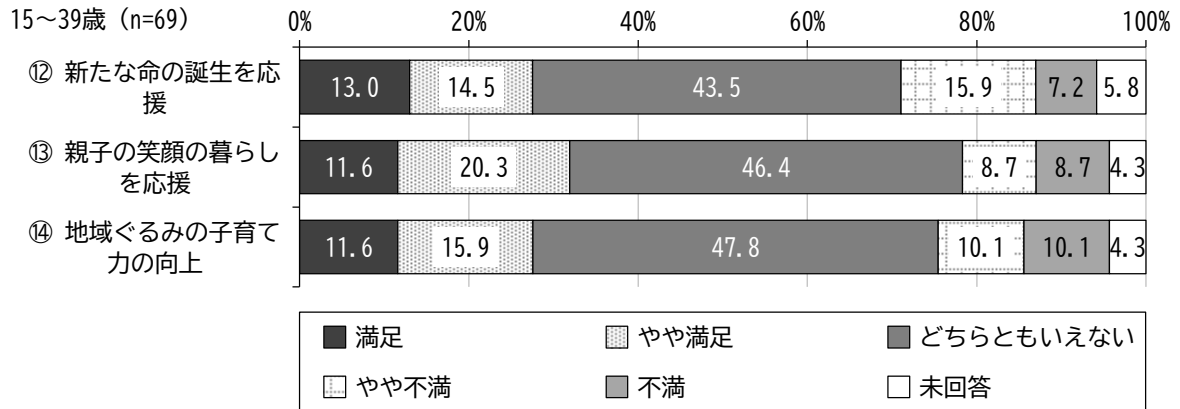


【15～19歳】

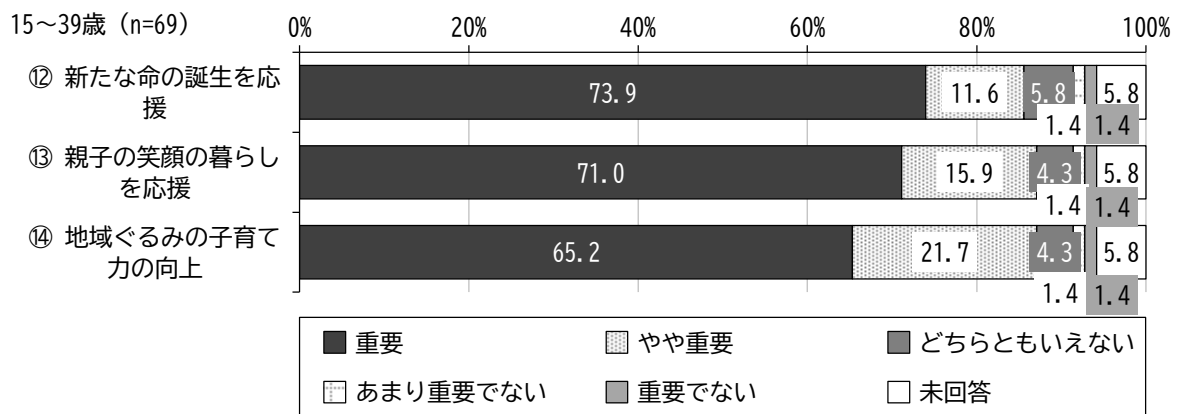
■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

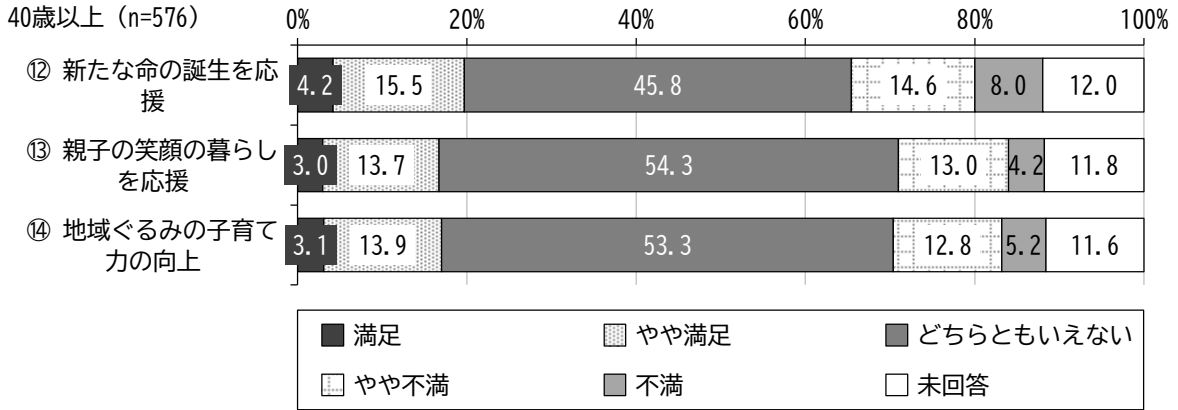


【40歳以上】

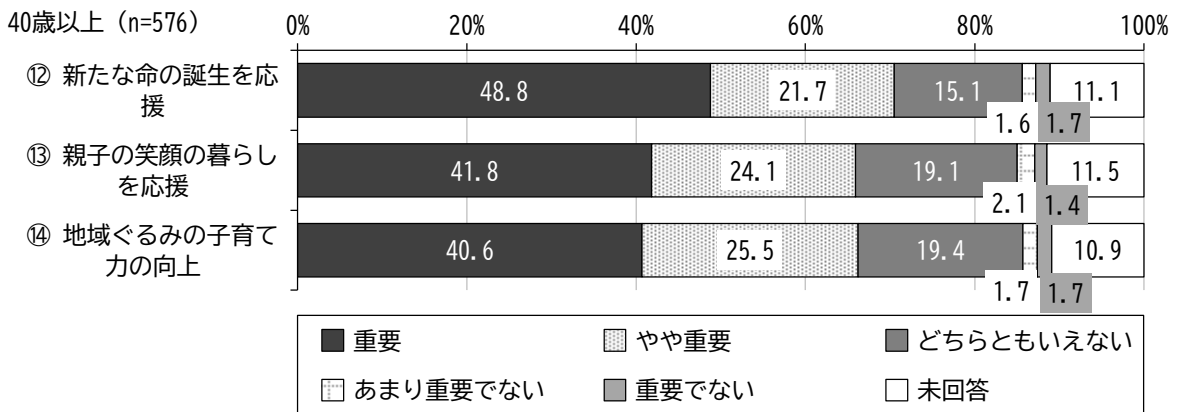
■子ども・子育て

(つながりで笑顔を未来につむぐまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

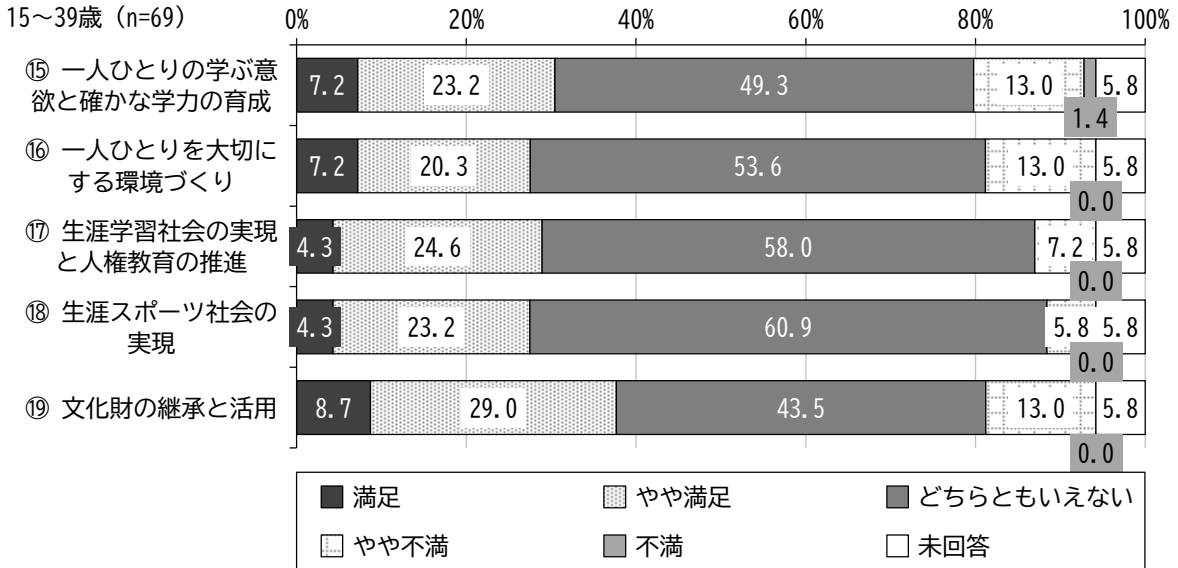


【15～19歳】

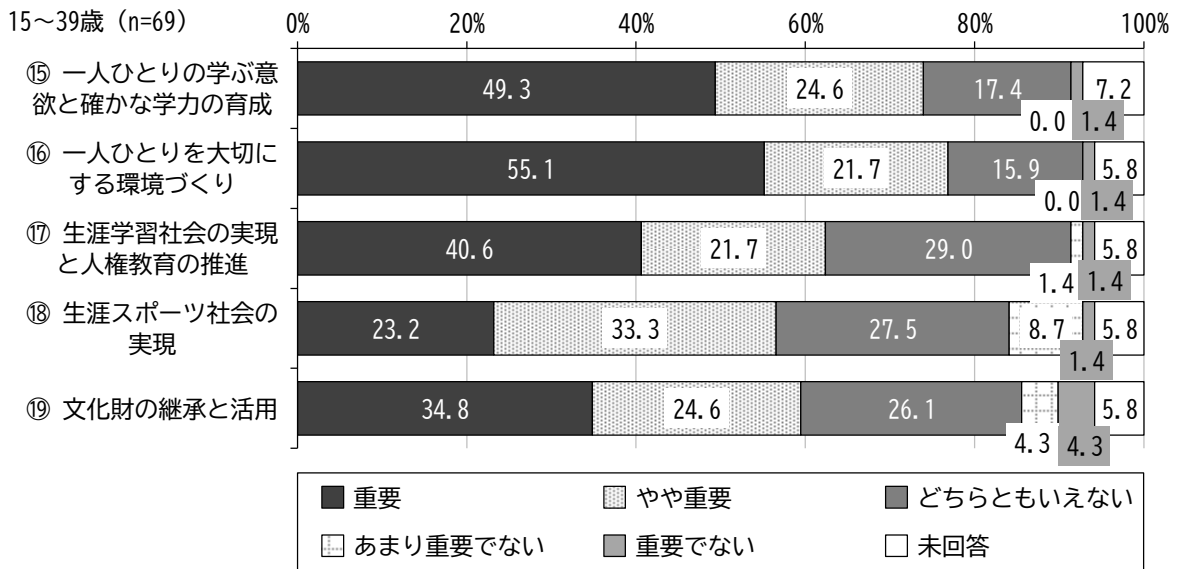
■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

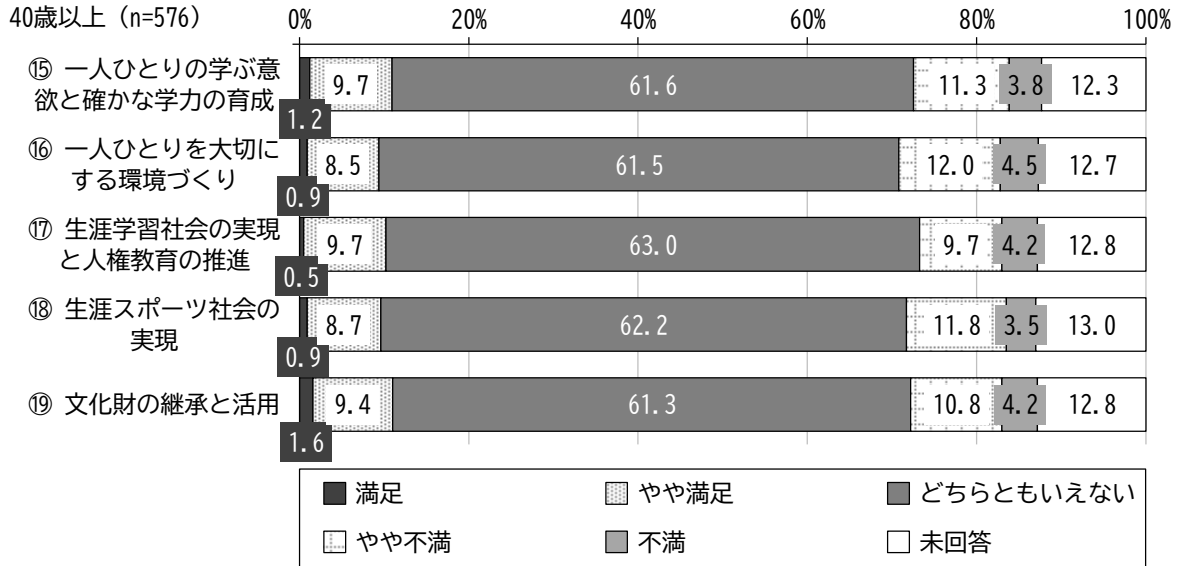


【40歳以上】

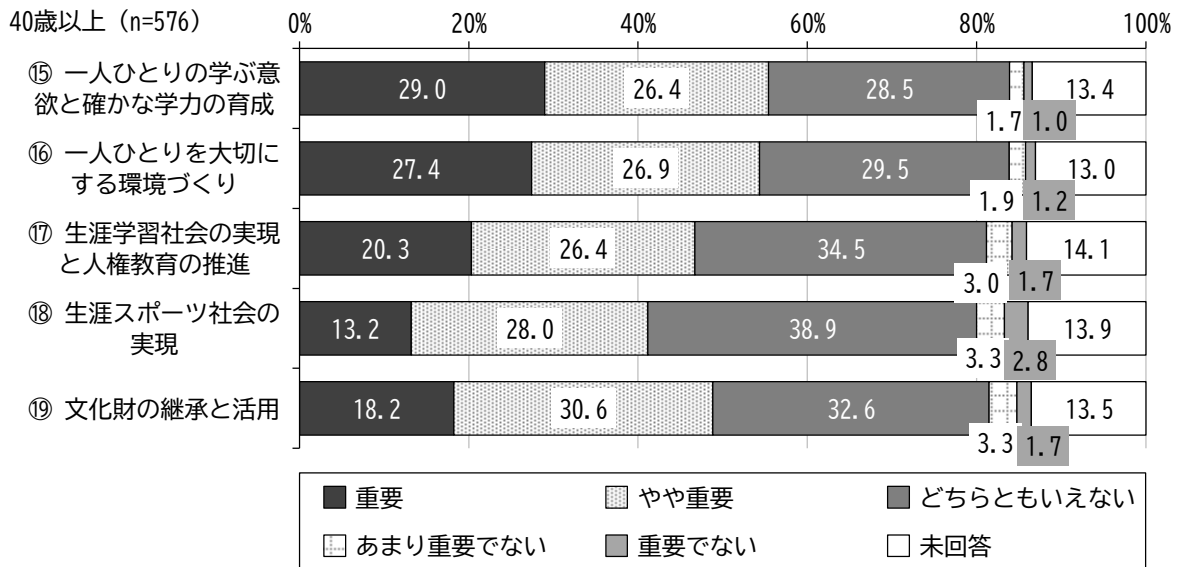
■教育・スポーツ・文化

(魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

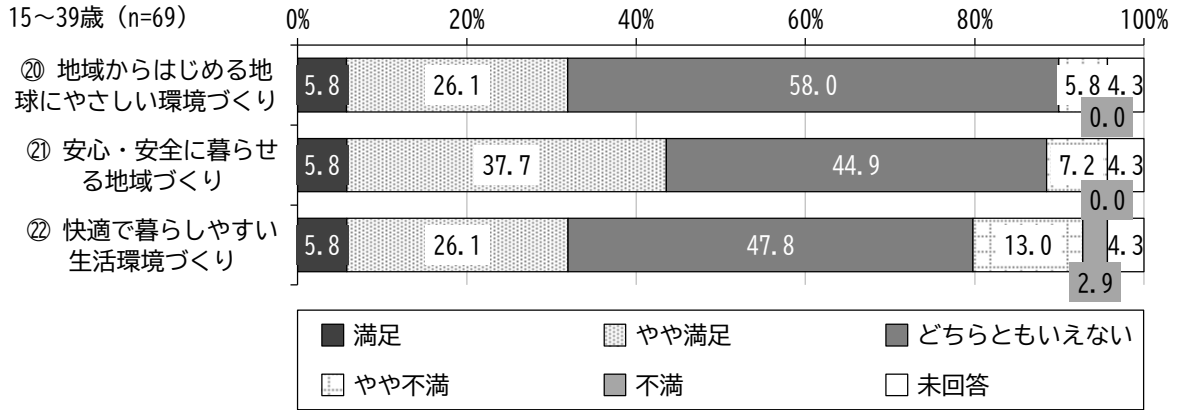


【15～19歳】

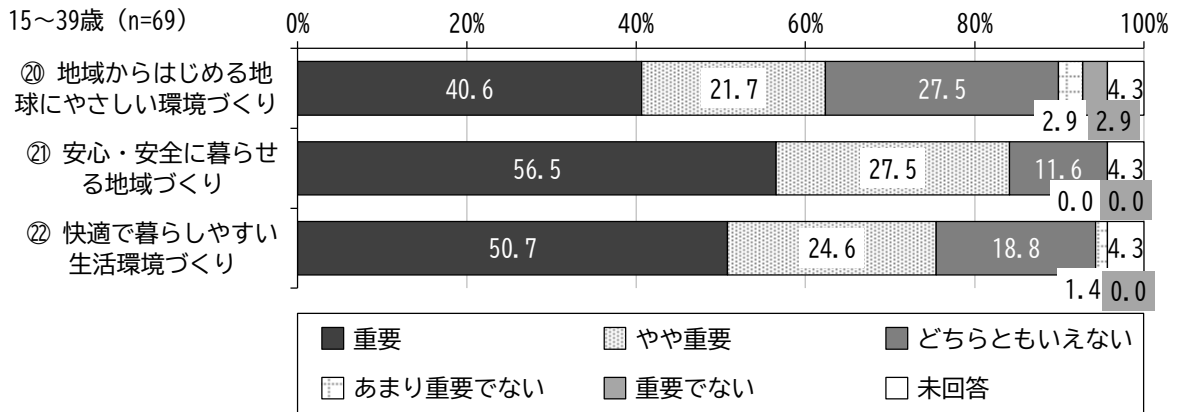
■環境・暮らし

(美しくて住みやすい安心安全なまち)

(1) 満足度



(2) 重要度

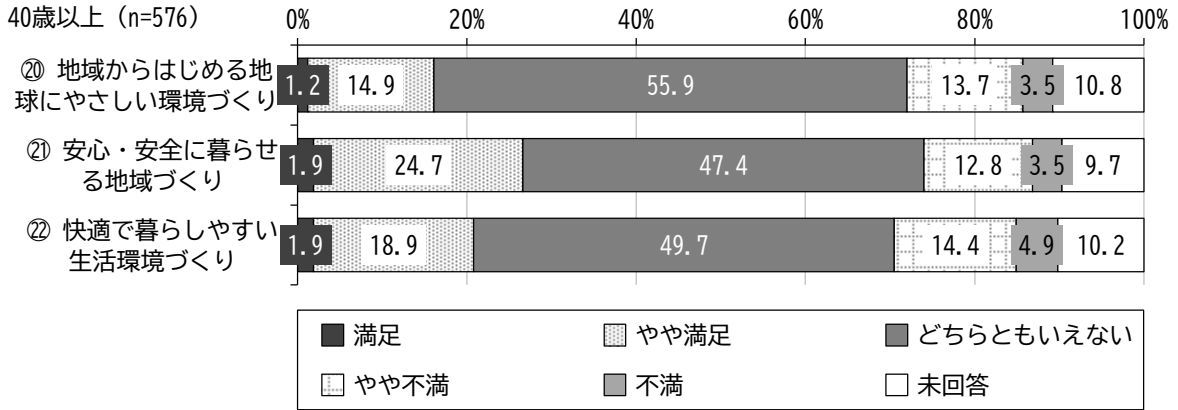


【40歳以上】

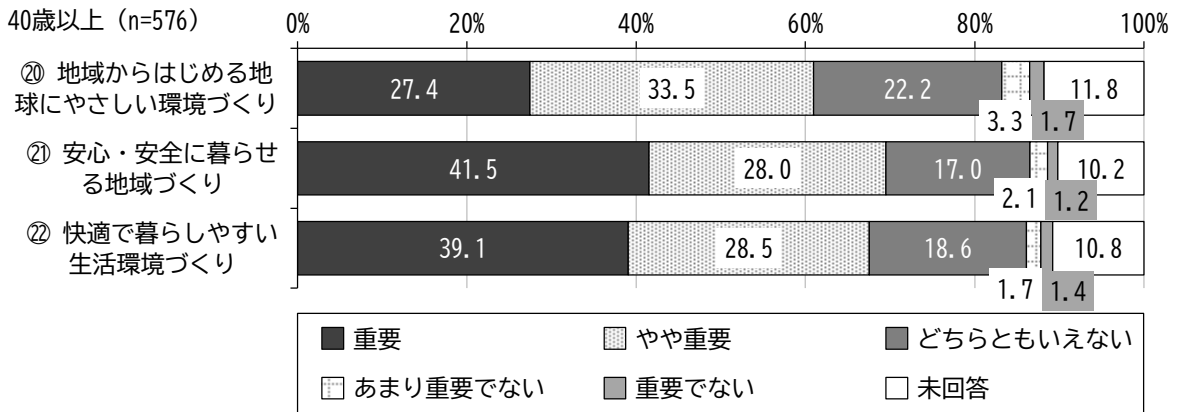
■環境・暮らし

(美しくて住みやすい安心安全なまち)

(1) 満足度



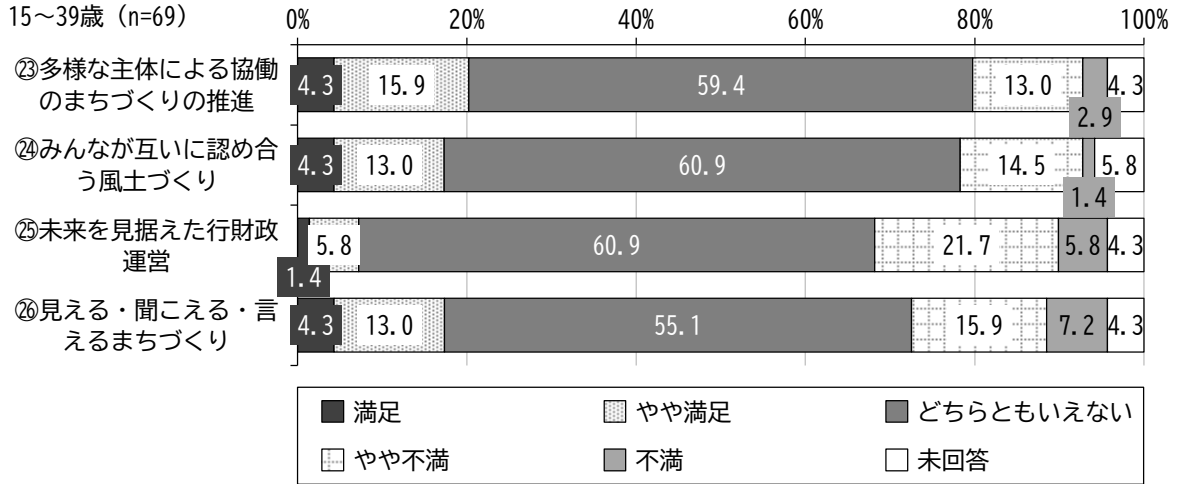
(2) 重要度



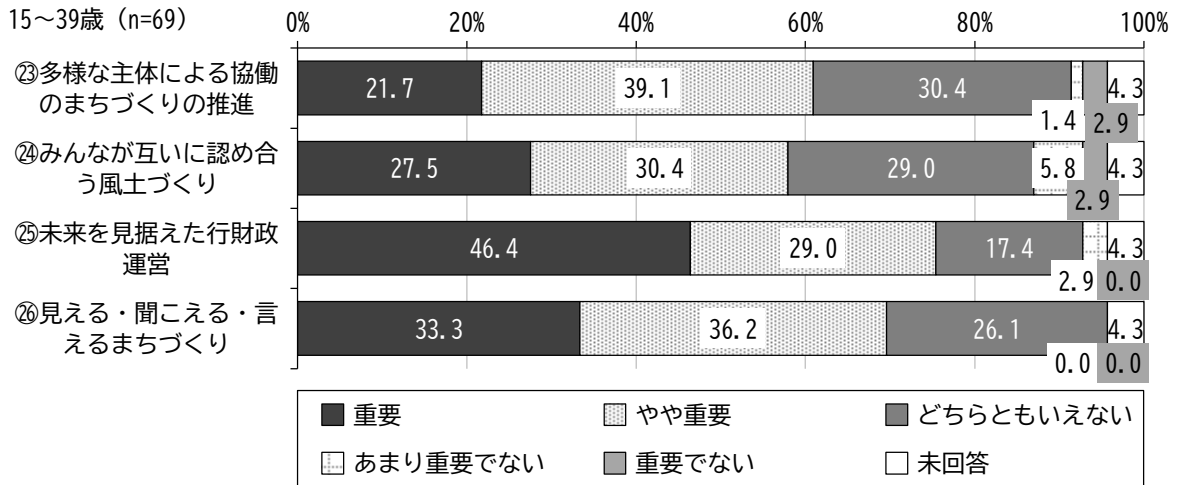
【15～19歳】

■地域協働・行財政運営
(住民が主人公となるまち)

(1) 満足度



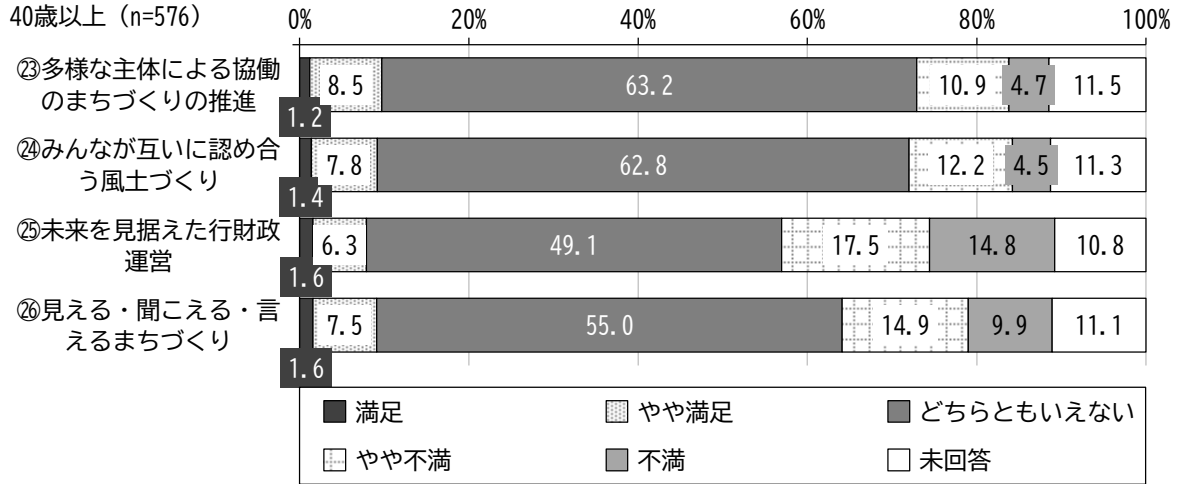
(2) 重要度



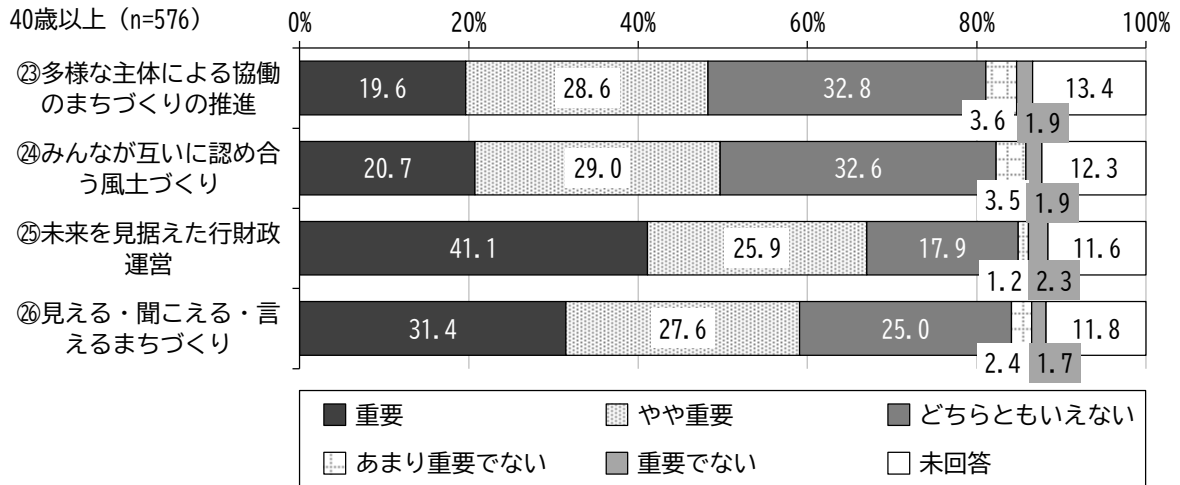
【40歳以上】

■地域協働・行財政運営
(住民が主人公となるまち)

(1) 満足度



(2) 重要度



【15～39歳】

■各施策の加重平均

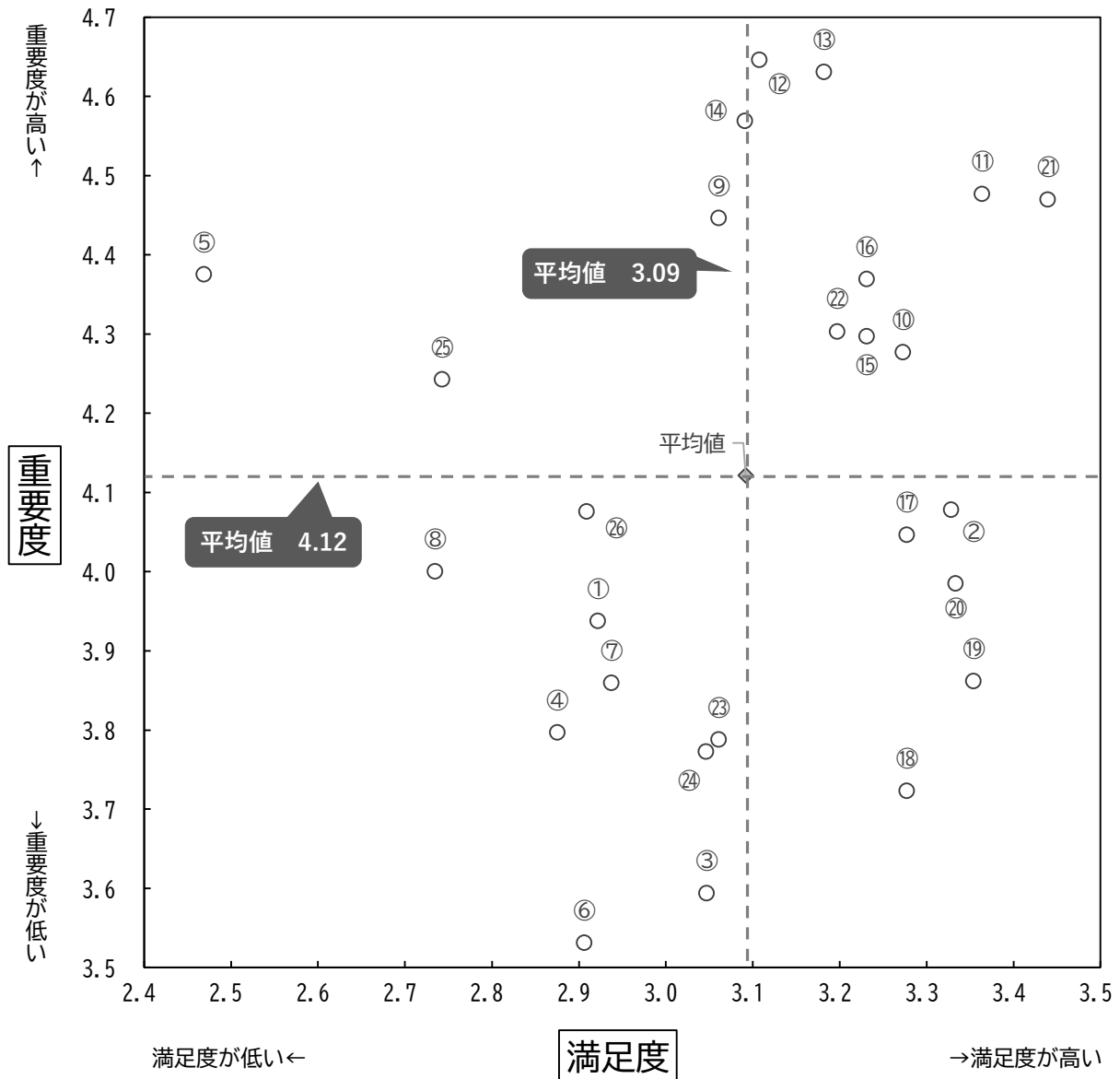
		満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.92	20	3.94	18
	② 農林業の振興	3.33	4	4.08	13
	③ 織物業の振興	3.05	17	3.59	25
	④ 商工業の振興	2.88	23	3.80	21
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.47	26	4.38	7
観光・ 交流・ 移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.91	21	3.53	26
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.94	19	3.86	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.73	25	4.00	16
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	3.06	15	4.45	6
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.27	8	4.28	11
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる 地域づくりの推進	3.36	2	4.48	4
子ども・ 子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	3.11	13	4.65	1
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	3.18	12	4.63	2
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	3.09	14	4.57	3
教育・ スポーツ・ 文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	3.23	9	4.30	9
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	3.23	9	4.37	8
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	3.28	6	4.05	15
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	3.28	6	3.72	24
	⑲ 文化財の継承と活用	3.35	3	3.86	19
環境・ 暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	3.33	4	3.98	17
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.44	1	4.47	5
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	3.20	11	4.30	9
地域協働・ 行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	3.06	15	3.79	22
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	3.05	17	3.77	23
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.74	24	4.24	12
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.91	21	4.08	13

【15～19歳】

■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進〕〔⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔⑫ 安心・安全に暮らせる地域づくり〕などの項目が上位にあがっています。

一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔⑤ 魅力ある働く場の創出〕〔⑫ 未来を見据えた行政運営〕〔⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保〕などがあがっています。



【40歳以上】

■各施策の加重平均

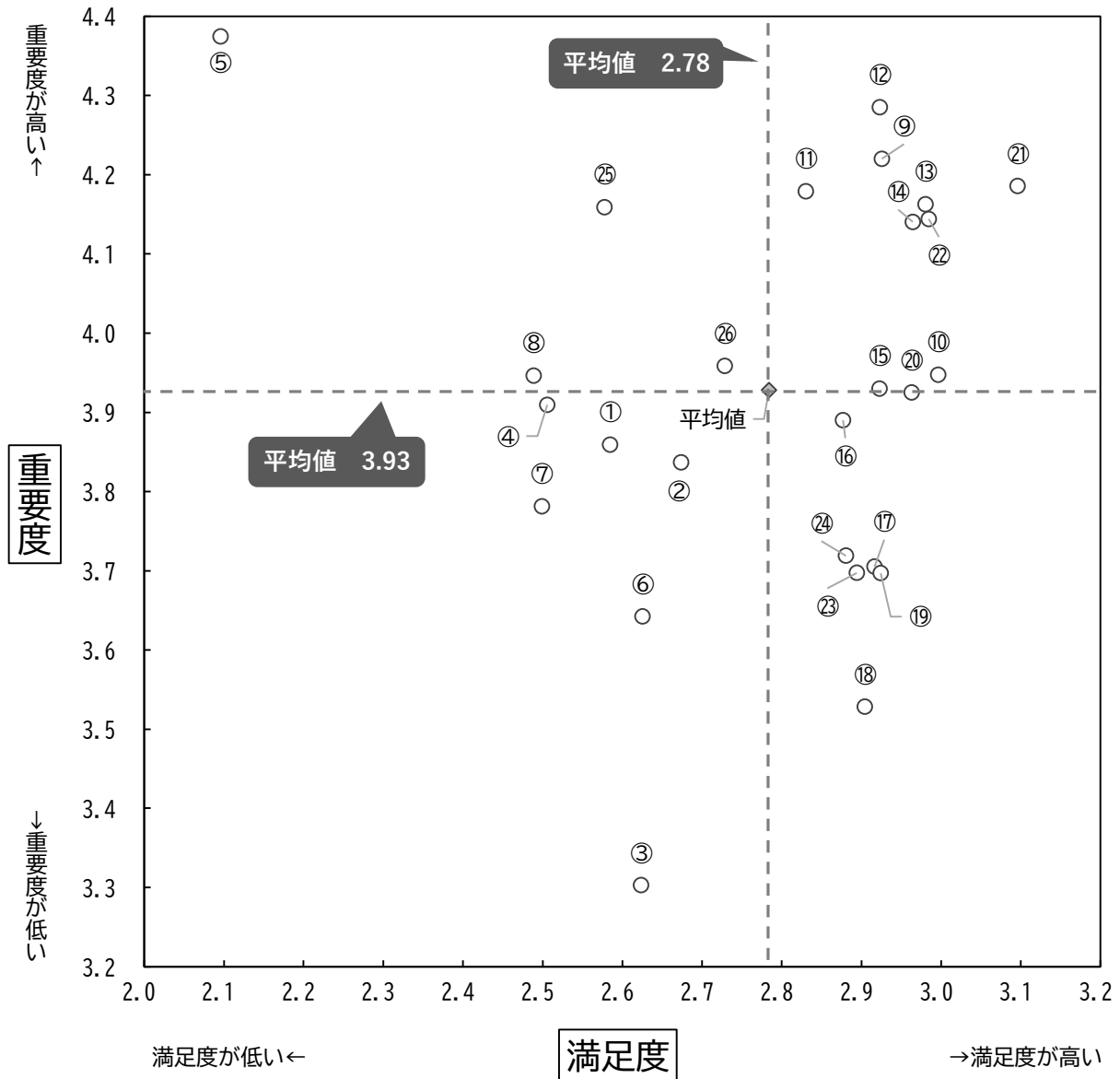
		満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
産業・仕事	① 挑戦が生まれる風土づくり	2.58	21	3.86	17
	② 農林業の振興	2.67	18	3.84	18
	③ 織物業の振興	2.62	20	3.30	26
	④ 商工業の振興	2.51	23	3.91	15
	⑤ 魅力ある働く場の創出	2.10	26	4.37	1
観光・交流・移住定住	⑥ ファンづくりの推進	2.63	19	3.64	24
	⑦ まちの魅力を活かした観光振興	2.50	24	3.78	19
	⑧ まちの魅力を活かした移住・定住の促進	2.49	25	3.95	11
健康・福祉	⑨ 健康・福祉を支える人財の育成と確保	2.93	7	4.22	3
	⑩ 元気な体づくりの推進	3.00	2	3.95	11
	⑪ 誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域づくりの推進	2.83	16	4.18	5
子ども・子育て	⑫ 新たな命の誕生を応援	2.92	8	4.29	2
	⑬ 親子の笑顔の暮らしを応援	2.98	3	4.16	6
	⑭ 地域ぐるみの子育て力の向上	2.96	5	4.14	8
教育・スポーツ・文化	⑮ 一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	2.92	8	3.93	13
	⑯ 一人ひとりを大切にする環境づくり	2.88	14	3.89	16
	⑰ 生涯学習社会の実現と人権教育の推進	2.92	8	3.71	21
	⑱ 生涯スポーツ社会の実現	2.90	12	3.53	25
	⑲ 文化財の継承と活用	2.92	8	3.70	22
環境・暮らし	⑳ 地域からはじめる地球にやさしい環境づくり	2.96	5	3.93	13
	㉑ 安心・安全に暮らせる地域づくり	3.10	1	4.19	4
	㉒ 快適で暮らしやすい生活環境づくり	2.98	3	4.14	8
地域協働・行財政運営	㉓ 多様な主体による協働のまちづくりの推進	2.89	13	3.70	22
	㉔ みんなが互いに認め合う風土づくり	2.88	14	3.72	20
	㉕ 未来を見据えた行財政運営	2.58	21	4.16	6
	㉖ 見える・聞こえる・言えるまちづくり	2.73	17	3.96	10

【40歳以上】

■満足度と重要度の関係

満足度が高く、重要度も高い施策では、〔12 新たな命の誕生を応援〕〔13 親子の笑顔の暮らしを応援〕〔21 安心・安全に暮らせる地域づくり〕などの項目が上位にあがっています。

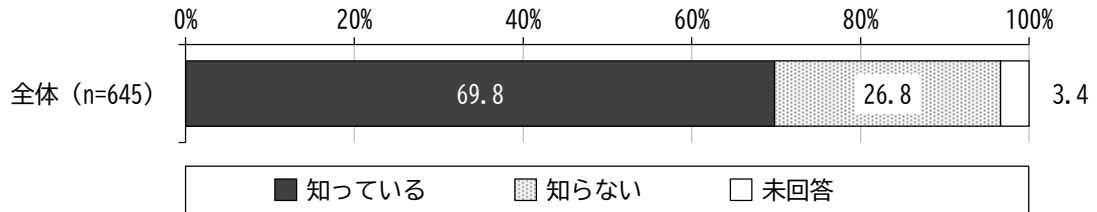
一方、満足度が低く、重要度が高い施策では、〔5 魅力ある働く場の創出〕〔25 未来を見据えた行財政運営〕〔8 まちの魅力を活かした移住・定住の促進〕があがっています。



7 与謝野町のデジタル化等の取り組みについて

問 20 マイナンバーカードを利用して、コンビニ等で住民票の写しや印鑑登録証明書が発行できること（コンビニ交付サービス）を知っていますか。（○は1つ）

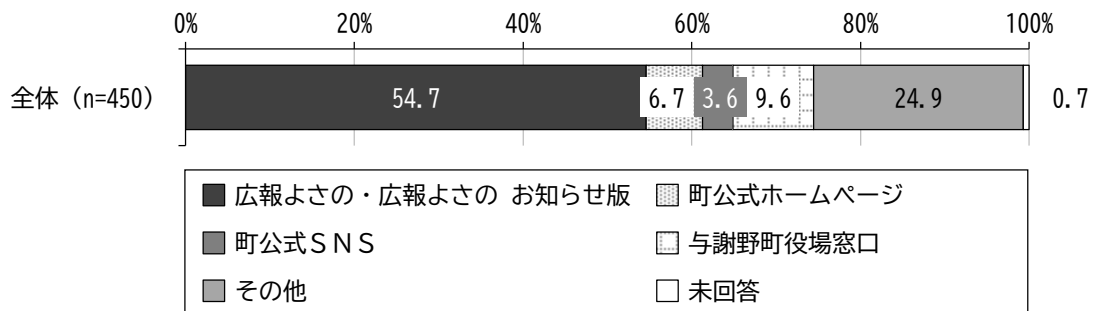
「知っている」が69.8%、「知らない」が26.8%となっています。



問 20 で「知っている」と回答された方

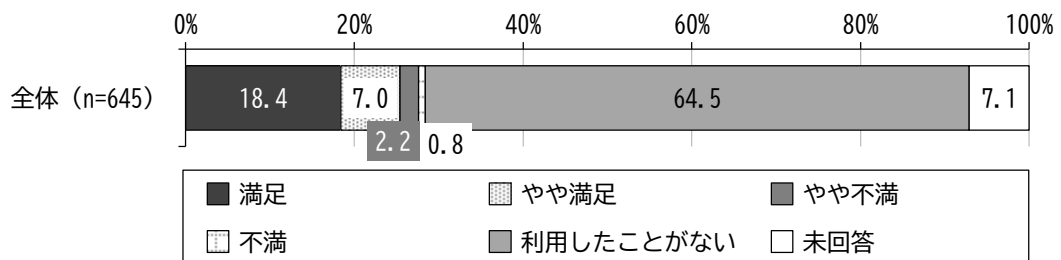
問 21 サービスをどのようにして知りましたか。（○は1つ）

「広報よさの・広報よさの お知らせ版」が54.7%と最も多く、次いで「与謝野町役場窓口」が9.6%、「町公式ホームページ」が6.7%となっています。



問 22 コンビニ交付サービスの満足度を教えてください。（○は1つ）

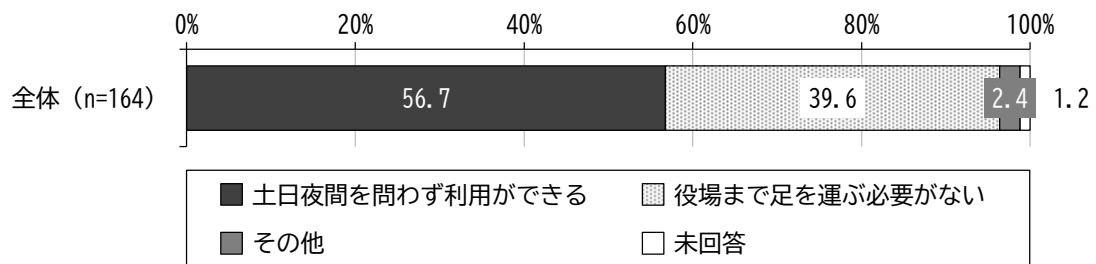
「利用したことがない」が64.5%と最も多く、次いで「満足」が18.4%、「やや満足」が7.0%となっています。



問 22 で「満足」「やや満足」と回答された方

問 23 その理由は何ですか。(○は1つ)

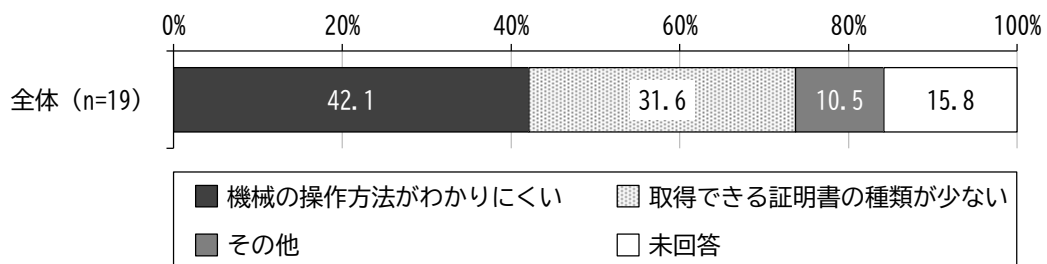
「土日夜間を問わず利用できる」が 56.7%と最も多く、次いで「役場まで足を運ぶ必要がない」が 39.6%となっています。



問 22 で「やや不満」「不満」と回答された方

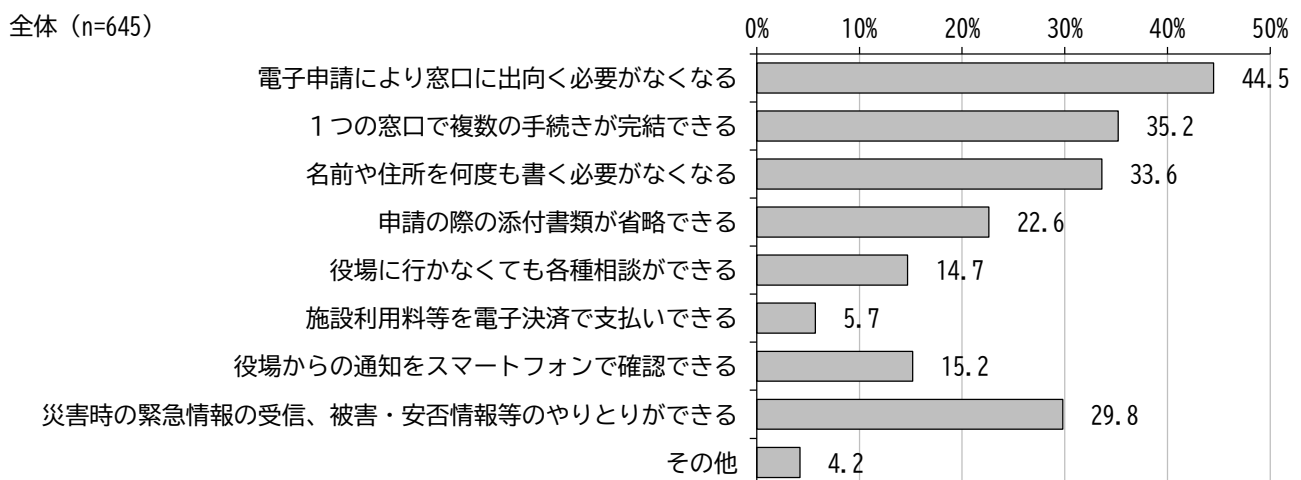
問 24 その理由は何ですか。(○は1つ)

「機械の操作方法がわかりにくい」が 42.1%と最も多く、次いで「取得できる証明書の種類が少ない」が 31.6%となっています。



問 25 行政サービスのデジタル化に期待することを教えてください。(○は3つまで)

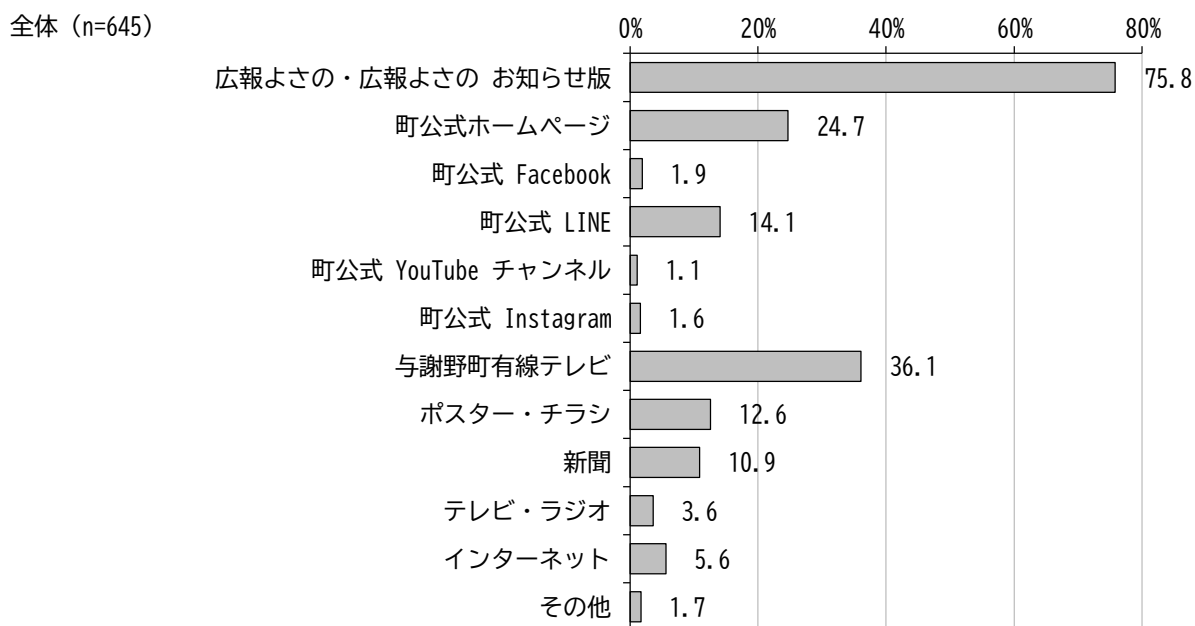
「電子申請により窓口に出向く必要がなくなる」が 44.5%と最も多く、次いで「1つの窓口で複数の手続きが完結できる」が 35.2%、「名前や住所を何度も書く必要がなくなる」が 33.6%となっています。



問 26 与謝野町の行政情報を入手する手段として、どのような方法を利用していますか。

(あてはまるものすべてに○)

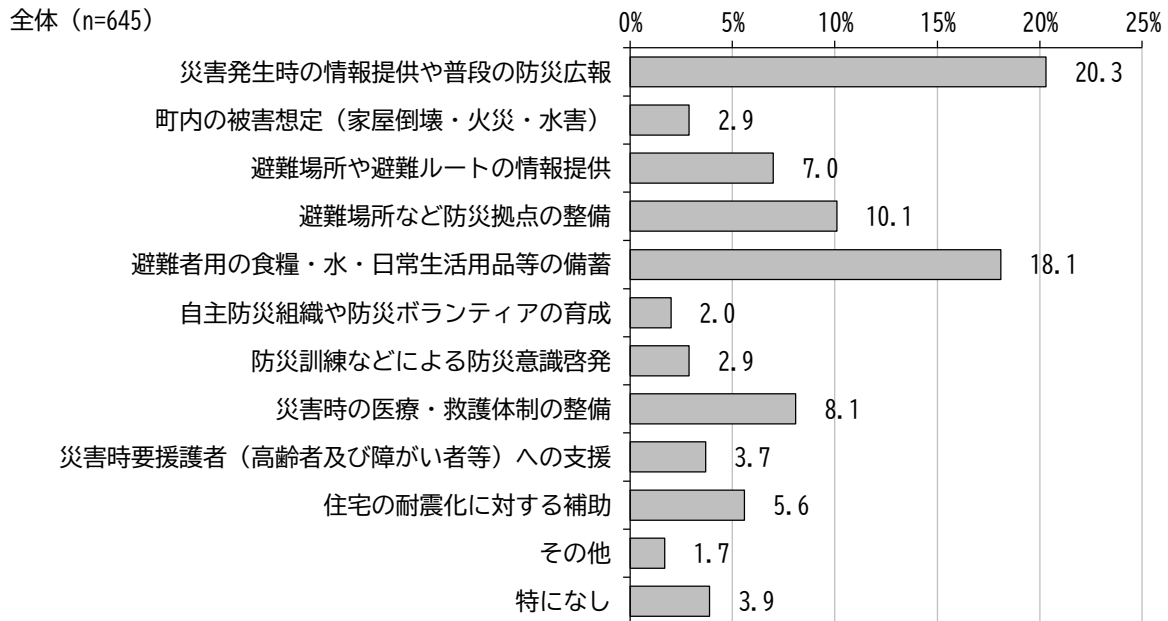
「広報よさの・広報よさの お知らせ版」が 75.8%と最も多く、次いで「与謝野町有線テレビ」が 36.1%、「町公式ホームページ」が 24.7%となっています。



8 与謝野町の災害対策の取り組みについて

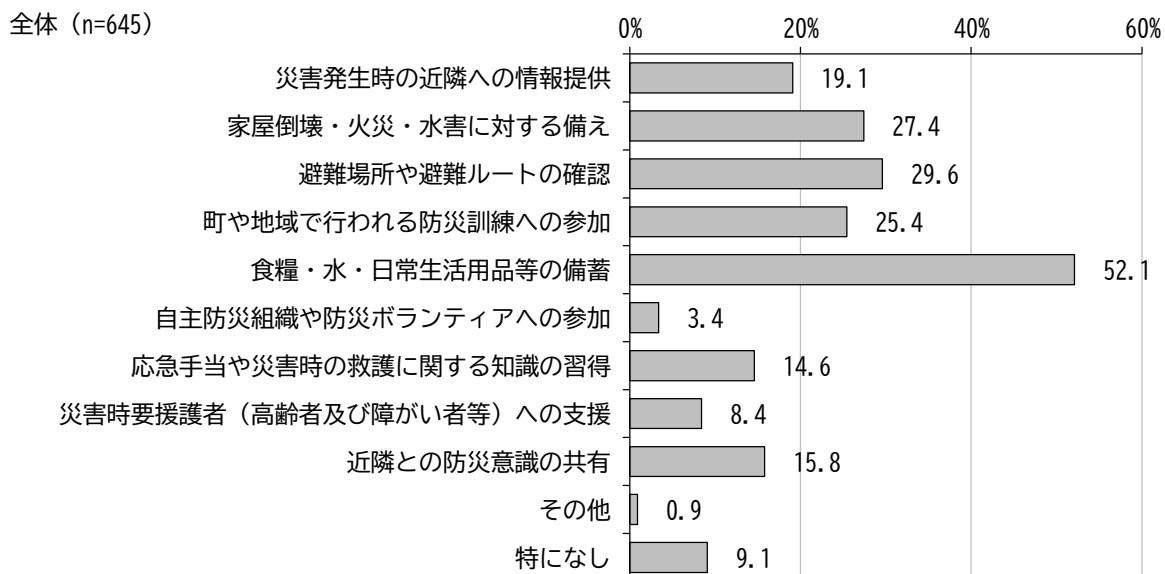
問 27 災害対策として、行政にどのようなことを期待していますか。(〇は1つ)

「災害発生時の情報提供や普段の防災広報」が20.3%と最も多く、次いで「避難者用の食糧・水・日常生活用品等の備蓄」が18.1%、「避難場所など防災拠点の整備」が10.1%となっています。



問 28 災害対策として現在取り組んでいること、または今後取り組みたいことは何ですか。(〇は3つまで)

「食糧・水・日常生活用品等の備蓄」が52.1%と最も多く、次いで「避難場所や避難ルートの確認」が29.6%、「家屋倒壊・火災・水害に対する備え」が27.4%となっています。



「第3次与謝野町総合計画」策定に関する
住民アンケート調査
結果報告書

発行：与謝野町 企画財政課
TEL：0772-43-9015（直通）

発行年月：令和7年10月

令和 7 年度 総合計画審議会 今後のスケジュール（予定）

令和 7 年

- 8 月 2 5 日（月） 第 1 回総合計画審議会【済】
○委員委嘱、会長・副会長互選
○諮問
○第 3 次計画策定方針について

- 1 0 月 2 9 日（水） 第 2 回総合計画審議会【今回】
○令和 7 年度住民アンケート調査結果について
○第 2 次計画の評価検証について（1） など

- 1 2 月 2 2 日（月） 第 3 回総合計画審議会
○よさのみらい会議等の開催結果について
○第 2 次計画の評価検証について（2）
○第 3 次計画の構成等について
○第 3 次計画の将来像及び基本理念について（1） など

令和 8 年

- 1 月 2 8 日（水） 第 4 回総合計画審議会
○よさのみらい会議からの提案書等について
○第 3 次計画の将来像及び基本理念について（2） など

- 2 月下旬 第 5 回総合計画審議会
○第 3 次計画の骨子（案）について など

【参考】

令和 7 年

- 9 月 1 4 日（日） ○第 1 回よさのみらい会議【済】
1 0 月 1 2 日（日） ○中高生よさのみらい会議【済】
1 0 月 1 3 日（祝） ○第 2 回よさのみらい会議【済】
1 1 月 9 日（日） ○第 3 回よさのみらい会議
1 2 月 7 日（日） ○第 4 回よさのみらい会議